

舞鶴高専年報

－ 2017年度の教育・研究活動 －



独立行政法人国立高等専門学校機構
舞鶴工業高等専門学校

第15号 2018年4月

舞 鶴 高 専 年 報

— 2017年度の教育・研究活動—



独立行政法人国立高等専門学校機構
舞鶴工業高等専門学校

第 15 号 2018 年 4 月

は じ め に

2017年度、高専における創造的な活動の代名詞とも言える高専ロボコンが、30周年を迎えました。NHKが特別番組を編成するなど記念大会は大きな盛り上がりを見せました。この節目となる年のロボコン近畿地区大会は、舞鶴で開催されました。大型台風の襲来と重なり、開催も危ぶまれる状況でしたが、無事に実施することができたのは、学生、教職員の尽力によるものでした。本校参加チームも、昨年度に引き続き、全国大会に駒を進めることができ、有明コロシアムで開催された特別な大会に参加したことは、貴重な経験になったと思います。プロコンにおける企業賞の受賞、デザコンにおける企業賞の受賞、建築甲子園準優秀、アジアペタンク選手権出場など、学生の活躍が目立った年でありました。英語プレゼンテーションコンテストでも、近畿地区大会で優勝した学生がシングル部門に出場し見事な英語力を披露してくれました。俳句や作文のコンクールでの受賞など人文系の分野でも総合的な力を発揮してくれました。

本校が独立行政法人国立高等専門学校機構の一部として生まれ変わってから、14年目となりました。独立行政法人は、国が定める中期目標に基づいて中期計画を策定し、これに従って業務が進められています。現在は、平成26年度から平成30年度までの第3期中期目標期間にありますが、次期に当たる第4期中期目標期間に向けて、「“KOSEN（高専）4.0” イニシアティブ」と銘打たれた施策がスタートしました。この事業では、すべての高専がある程度は備えている三つの方向性、「新産業を牽引する人材育成」、「地域への貢献」、「国際化の加速・推進」を踏まえた新たな事業展開が期待されており、それぞれの高専の独自性を発揮しながら、より特色ある高度化を図っていくことが求められています。本校では、社会基盤メンテナンス教育センターの活動を高専教育に展開させる事業「社会基盤を支えるメンテナンス技術者養成による地域創生への貢献」が採択されています。本校の歴史と特長を踏まえながら、特色ある発展を目指していきたいと思います。

教育面では、高専機構が教育の質保証を目指し整備を進めてきたモデルコアカリキュラム（MCC）が完成し、本校においてもMCCの本格実施に向けたカリキュラム改革が進められています。また、Webシラバスへの移行、コンピュータによる試験実施手法（CBT）の試行などが行われており、教育におけるICTの導入も進められています。

最終年度を迎えたCOC事業では、教育、研究、社会貢献の三分野での取組の総仕上げの年となり、地域志向教育の更なる充実、出前授業・公開講座の拡充が図られており、地方創生への貢献の取組は、COC+事業へと引き継がれています。

舞鶴高専の活動内容も年々広がりを見せていますが、本年報が本校の活動内容の理解の一助となれば幸いです。

前 校 長

齋 藤 福 栄

総 目 次

はじめに	2
総目次	3
学校運営	
目次	5
運営報告	6
学科・部門別教員一覧	7 1
教職員数	8 6
学校行事日程	8 7
教育活動	
目次	8 9
学生数	9 0
入試状況	9 3
就職状況（本科）	9 4
就職状況（専攻科）	9 5
進学状況（本科）	9 6
進学状況（専攻科）	9 6
進路先一覧（本科）	9 7
進路先一覧（専攻科）	9 8
卒業研究題目	9 9
専攻科特別研究題目	1 0 3
インターンシップ受入先（本科）	1 0 4
インターンシップ受入先（専攻科）	1 0 5
課外活動成績	1 0 6
課外活動に対する教員の活動状況	1 0 8
研究活動	
目次	1 1 1
研究業績	1 1 2
外部研究費受入	1 3 5
学協会委員及び学会・研究会等の開催協力	1 3 9
教職員の活動状況	1 4 1
地域・社会活動	
目次	1 4 3
地域・社会業績	1 4 4
地域共同テクノセンター技術相談	1 5 5
地域委員	1 5 8
報道記事	
目次	1 6 1
報道記事一覧	1 6 2
編集後記	1 6 6

学 校 運 営

運営報告	6
教務委員会	6
学生委員会	1 5
学寮委員会	1 7
専攻科	2 0
人文科学部門	2 5
自然科学部門	2 8
機械工学科	3 0
電気情報工学科	3 2
電子制御工学科	3 4
建設システム工学科	3 6
図書館	3 8
情報科学センター	4 1
教育研究支援センター	4 3
地域共同テクノセンター	4 5
社会基盤メンテナンス教育センター（iMe c）	4 7
国際交流センター	4 9
留学生部会	5 0
知的財産委員会	5 1
情報セキュリティ推進委員会	5 2
企画室	5 3
評価委員会	5 5
FD・ICT部会	5 6
広報委員会	5 8
教育プログラム（MDE）委員会	5 9
進路指導委員会	6 1
学生相談室	6 3
入試広報部会	6 4
教育改善委員会	6 6
交通対策検討委員会	6 7
安全衛生委員会	6 8
人権侵害・ハラスメント防止委員会	6 9
緊急連絡／安否確認システムワーキンググループ	7 0
 学科・部門別教員一覧	 7 1
教職員数	8 6
学校行事日程	8 7

教 務 委 員 会

教務主事 高谷 富也

1. 平成29年度教務委員会の役割分担について

役 割 名 等	担 当 委 員 名	備 考
総括	高谷	
委員長代行	教務主事補	
教務制度・教務規程・教育環境の見直し・整備等	高谷、教務主事補	追試験受験願 第1合併教室
原級留置率の改善 (成績評価の情報交換・共有、学力補充期間の設置 等)	高谷、○児玉、奥村昌、 川田、加登	早期実施
モデル・コア・カリキュラムとルーブリック評価の対応	○三輪、背戸柳、中川	H30実施
Webシラバス、ポートフォリオによる学修評価 (教育改革推進本部との連携：教育の質保証)	○内海、西山、三輪	H30実施
アクティブ・ラーニングと教材開発 等 (KOREDA:教材・研修)	○奥村昌、児玉、小林、内海	H30実施
定期試験・試験返却等到達度確認期間・時間割編成	○加登、児玉	
学年暦編成	○川田、中川、伊藤	
英語教育の充実・強化、海外研修旅行	○伊藤、荒川	
学習支援（特別支援教育）	○西山、荒川	
学習到達度試験、CBT到達度試験トライアル	○背戸柳、奥村昌	
インターンシップ、キャリア教育	高谷	
電子化による成績評価資料の保存体制の構築 【機関別認証評価（H31年度）対応】	高谷	
緊急連絡／安否確認システム作業部会	高谷	
教務関係・自殺予防に関する講演会	高谷	
その他教務上の問題対応	全委員（随時）	

敬称略、○チーフ責任者

2. 追試験に関する規程の一部改正について

(1) 追試験に関する規程改正

今年度、原級留置率の改善策として、教員会議において追試験の早期実施について教員に依頼を行ったため、以下に示す追試験実施結果となった。

- ・過年度未修得科目に対する追試験状況（平成29年9月19日現在）
128件中 追試験実施伺提出99件（77.3%）、追試験実施報告書提出年配当単位数81件（63.3%）
- ・前期末修得科目に対する追試験状況（平成30年2月5日現在）
136件中 追試験実施伺提出111件（81.6%）、追試験実施報告書提出年配当単位数96件（70.6%）

このため、以下の規程改正を実施した。

- ・平成30年度より、紙シラバスに代わりWebシラバスに変更されるため、これまで紙シラバスに記載されていた「追試験を実施しない科目名」を別表として追試験に関する規程に記述した。
- ・過年度の未修得科目にかかる追試験については、7月末日までに追試験を実施し、当該年度の前期末修得科目にかかる追試験については、1月末日までに追試験を実施するように修正した。
- ・「追試験の評価については、事前課題の成果を40%、追試験の成績を60%として総合的に評価することを標準とし、60点以上をもって当該科目の評価を合格とする。」は追試験実施要項として記述することとした。

(2) 追試験受験辞退願

原級留置率の改善対策における試行的な取り組みとして、後期より「追試験受験願」の代わりに「追試験受験辞退願」の提出を行うこととした。

これまで、過年度未修得科目の追試験を受験する場合には4月末までに、前期未修得科目については10月末までに「追試験受験願」を教務係に提出することになっていたが、提出期限を守らない学生や未提出の学生が多く見受けられ、不利益を被った学生も見られた。このため、対象科目の追試験を受けなくても進級や卒業が可能である場合には、「追試験受験辞退願」を教務係に提出することとした。この書類を提出しなくても、追試験は自動的に受験することができ、学生にとって何ら不利益を被るものではないためである。これにより、学生による書類提出の負担や教務係での業務負担軽減ができ、教員による速やかな追試験の実施に繋がる。

(3) 追試験手続図の変更について

追試験受験辞退願の提出を受けて、これまでの追試験に関する手続図の修正を行った。また、各種手続書類の最終提出先として教務委員会を追加した。また、追試験の実施は、過年度未修得科目は4月より、前期未修得科目については10月より行うことができる記述を追加した。

3. モデルコアカリキュラム対応について

平成30年度1年生より、高専機構が平成29年度に決定したモデルコアカリキュラムへの対応を行った。平成30年度1年生に対する一般科目および単独学科である機械工学科のカリキュラムにおいて、モデルコアカリキュラムの100%対応を行うために、新しい科目の増設や科目内容の変更などを行った。また、融合複合学科である電気情報工学科、電子制御工学科および建設システム工学科のカリキュラムについても、融合複合学科としてのモデルコアカリキュラムの到達目標を設定し、これを満たすための新しい科目の増設や科目内容の変更などを行った。さらに、4年と5年次に開講していた専門共通選択科目群を廃止し、一般科目と専門科目の単位数の見直しや進級条件の簡素化に着手するとともに、学修単位の導入も併せて行った。

なお、平成30年度2年生以上については、選択科目の存在等によりモデルコアカリキュラムを満たすことはできていない。

4. 4年・5年次専門共通選択科目の学修単位化について

平成30年度1年生のカリキュラムについては、年次進行を踏まえて4年・5年次における一般科目において14単位以上および専門科目については20単位以上の学修単位科目の導入を行った。また、年次進行を待たずに、平成30年度2年生以上についても学科部門の意向を踏まえて、早期に学修単位科目の導入を検討し、平成30年度の学則別表の作成を行った。

5. Webシラバスについて

高専機構が進めている平成30年度からの紙シラバスからWebシラバスへの切り替えに対応するため、平成29年6月より、毎月1回の頻度で舞鶴高専のWebシラバスチェックシート（入力管理表）を東京高専に提出した。また、11月より、モデルコアカリキュラムへの対応を踏まえた平成30年度Webシラバスの整合性を確認するためのチェックシート（入力管理表）を提出することとなった。このため、平成29年11月27日と12月1日には、モデルコアカリキュラムの紐づけに関連するWebシラバスの修正に関する教員向けの講習会を実施した。平成30年2月末にはモデルコアカリキュラムに対応したWebシラバスの修正が終了し、4月の学生への公開を待つのみとなった。

6. 警報発令に伴う授業等措置要領の改正について

気象庁による「大雨警報」が安全側を見越して頻繁に発令され、「大雨警報」のみで休講措置を取らなければならない、予め設置している特別授業の内容を変更するなどの代替措置を取ってきた現状や近畿地区高専の情報を収集して検討した結果、警報発令に伴う授業等措置要領より「大雨警報」を除く改正を行った。これにより、「大雨警報」のみの発令では休講や帰校とせず、学校に来れない学生については「公欠扱い」とすることとなった。なお、非常勤講師を含め、教員が出校できない場合には、代替措置を取ることにした。

7. 平成31年度新カリキュラムの学年配当単位数について

平成31年度から実施する新カリキュラムの学年配当単位数に関する考え方を以下に示す。

- (1) モデルコアカリキュラムに対応する。
- (2) 学生の勉強時間、学生指導時間の確保のために時間割に余裕を持たせる。
- (3) 低学年（1～3年生）では余剰単位を少なくする。進級認定が分かりやすくなり、追試験も少なくなる。
- (4) 高学年では学修単位科目を導入し、時間割に余裕を持たせ、創造演習・設計製図系の課題に取り組む時間を時間割の中に組み入れる。

そこで、上記の学年配当単位数を踏まえた具体的な単位数を以下に示す。

- (1) 一般科目の開設単位数は83単位とする。
- (2) 専門科目の開設単位数は88単位（現状に対応）を標準とし、学科ごとに84～91単位の間で設定する。
- (3) 3年生までに一般65単位、専門31単位の必修単位を置く。「工学基礎」、「情報リテラシー」は混合学級ではなく、学科ごとで受講する。
- (4) 4、5年生での必要修得単位数は、167（設置基準）-96（3年までの必修）=71単位となる。専攻科62単位と合わせて124単位以上の条件を満足する。また、卒業研究は10単位とし、学修単位（一般科目14単位、専門科目20単位）を導入する。
- (5) 学年修了（進級判定）について、1～3年生は変更しない。4年生については、5年生の開設単位数をすべて修得して167単位に届くように設定する。標準の場合、167-34=133単位となる。

8. 定期試験実施要領の改訂（フロア巡回者）について

教員の負担軽減対策の一つとして、後期中間試験（平成29年11月28日～12月1日）より、3年生の試験監督者を2名から1名に減らすとともに、3年生以上のクラスのフロアに1名のフロア巡回者（教員、携帯電話を所持、クラス内巡回も可）を配置することとした。これまで、4年生と5年生については1名の試験監督者しかおらず、学年共通科目の試験時のカンニング対策が不十分であることに対応したものである。なお、1年生および2年生のクラスにおいては、クラス担任や一般科目教員からの要望もあり、従来通り2名の試験監督者としている。

9. 進級・卒業の確認システム（可視化）について

学生にとって、学生便覧や学則別表などに記載している進級や卒業に関する要件が分かりづらく、教務係が作成する担任向けのクラス学生の成績一覧表には過年度未修得科目の追試験結果などが分らないものになっている。このため、各学科と学年に対応した平成29年度版の進級・卒業修得単位数確認表（Excelファイル）を作成して、moodle上に置いて学生に利用してもらうこととした。特に、科目群必修単位や実験実習科目などの進級条件が複雑であるため、2年生や3年生には進級・卒業修得単位数確認表を利用することで進級が容易に判定されるものとなっている。また、4年生や5年生に対しては進級・卒業修得単位数確認表の利用を増やして、自分の単位修得状況を把握するとともに、今後の履修科目の計画を立てる場合や進級・卒業を考えた修得単位数の確認ができるものとなっている。

10. 学力補充期間の試行的実施について

原級留置率の改善対策として、前期科目未修得に比べて後期科目未修得による留年者数が7割も占めている現状を踏まえて、後期期末試験の試験返却後の1週間を学力補充期間として設置し、留年する可能性を有する学生に対して、学力補充を行うものである。なお、学力補充に参加したからと言って、単位修得を保証するものではないことやすべての科目担当教員が学力補充を実施することを確約するものではないことを、予め学生とその保護者に通知した。

特に、学科部門や教員会議などを通じて頂いた質問、意見やコメントなどに対するQ&Aを作成するとともに、以下に示す資料も添えて、教員の支援と協力のもと、学力補充期間を実施した。

- ・学力補充期間に関するQ&A
- ・学力補充期間に向けての作業内容について
- ・学力補充期間作業フロー図
- ・平成28年度の成績に基づく追試験・学力補充対象者数の見通しについて
- ・【表1】平成28年度原級留置者未修得単位

また、学寮委員会の協議を踏まえて、学力補充期間における学寮の開寮（宿泊）については給湯や風呂の利用を可能とするが、食事は提供しないこととした。

11. 進路変更対応マニュアルについて

1年生および2年生のクラス担任向けに、学生の年次途中における各種の進路変更に対応できるマニュアルを作成した。また、進路変更対応マニュアルについては、随時、加筆修正を行うとともに、参考資料等（単位制高校に関する情報や過去の進路変更事例など）を追加していく方向で、今年度より使用することとした。

12. 海外研修旅行・英語デー

(1) 海外研修旅行

平成29年11月14日（火）～18日（土）の4泊5日の海外研修旅行を実施した。

機械工学科：ベトナム、国立ハノイ交通通信大学、企業はエンケイベトナム

電気情報工学科：台湾、国立聯合大学、企業は台湾デンソー

電子制御工学科：台湾、国立高雄第一科技大学、企業はアルバック

建設システム工学科：ベトナム、国立ハノイ建設大学、ニャンタン大橋と歴史的建造物

舞鶴高専と協定を結んでいる大学を訪問し学生間の交流を行い、現地企業や建築物を見学することにより、技術者としての国際的視点を育成した。また、訪問国の文化に直接触れることで異文化理解の一助となった。

(2) 英語デー

平成29年10月24日（火）に「英語デー」を実施し、4年生と専攻科1年生はTOEICの試験を受けた。昨年度より、本科4年生と専攻科1年生は全員TOEICを受験することとし、他の学生は希望者のみ受験できるものとした。経費については、本科4年生と専攻科1年生は後援会費で、他の学生は後援会費及び受験者負担で実施することとなった。希望により受験した学生数は61名であった。

13. インターンシップ・キャリア教育について

進路指導委員会の協力を得て、平成29年7月19日（水）にインターンシップ説明会を開催した。原則として夏季休業中に学生を希望する企業等へ派遣し、インターンシップを実施した。機械工学科で46名、電気情報工学科で27名、電子制御工学科で37名、建設システム工学科で33名、専攻科で12名（MSコース1名、ESコース10名、CAコース1名）の実施があった。実施機関による評価、インターンシップ報告書における評価およびインターンシップ報告会による評価を総合的に勘案し、教務委員会の議を経て単位認定を行った。

14. 学生の出欠確認について

今年度、高専機構からの「学生に係る事故発生状況について」の通知を受けて、前期期末試験期間（8/1～8/8）、前期期末試験の答案返却到達度確認期間（9/20～9/22）、後期中間試験期間（11/27～12/1）および後期期末試験期間（2/13～2/22）において、学生の出欠確認を実施した。特に、学生の出欠確認の作業に従事するクラス担任や教務係職員等の負担軽減を考慮して、後期中間試験と期末試験期間については、その日の必修科目1科目を対象として出欠確認を行った。

また、今年度、Office365を使用した学生の出欠確認システムを構築して試行的な実施を行ったが、参加教員の協力が得られていない状況となったため、引き続き平成30年度も積極的な運用を依頼することとした。

15. 教務委員会の開催と協議内容について

○第1回教務委員会：平成29年4月3日（月）・4日（火）

1. 平成29年度教務委員会の基本方針（案）について
2. 平成29年度教務委員会年間スケジュールについて
3. 平成29年度教務委員会の役割分担について
4. その他

○第2回教務委員会：平成29年5月10日（水）

1. 履修科目追試験辞退願について
2. 平成29年度転科生・留学生・編入学生に対する補講措置等について
3. 科目再履修免除の科目リスト

4. 学生の公欠扱いについて（準学士課程）の申し合わせについて
5. 学生表彰について
6. 平成29年度制御技術教育キャンプ参加学生のインターンシップについて
7. 定期試験の問題用紙サイズについて
8. 追試験スケジュールについて
9. 非常勤講師の任用について
10. 並列開講・専門共通選択科目変更願（案）について
11. 各役割担当における協議内容について
12. その他

○第3回教務委員会：平成29年6月6日（火）

1. 自然科学部門における学修単位科目について
2. 4年・5年次専門共通選択科目の学修単位化について
3. 特別支援教育に関する規程について
4. 近畿地区高専教務主事会議における協議事項・承合事項について
5. 編入学試験問題のチェックリストについて
6. 各役割担当における協議内容について
7. その他

○第4回教務委員会：平成29年6月27日（火）

1. 自然科学部門における学修単位科目について
2. 原級留置率の改善策について
3. 新カリキュラムの学年開設単位数について
4. モデルコアカリキュラム「情報リテラシー&分野横断的能力」について
5. 紙シラバスの廃止に伴う学生へのシラバス説明について
6. クラブ活動等の公式試合による公欠について
7. 各役割担当における協議内容について
8. その他

○第1回臨時教務委員会：平成29年7月4日（火）

1. 警報による休講の代替措置について
2. その他

○第5回教務委員会：平成29年7月11日（火）

1. 平成31年度新カリキュラムの学年配当単位数（案）について
2. 定期試験実施要領の改訂（案）について
3. モデルコアカリキュラムへの対応について
4. Webシラバス入力管理表（7月分）について
5. 公欠認定について
6. 第1合併教室の改修計画について
7. 各役割担当における協議内容について
8. その他

○第2回臨時教務委員会：平成29年8月8日（火）

1. 警報による定期試験休講の代替措置について
2. その他

○第6回教務委員会：平成29年9月22日（金）

1. 平成31年度年次進行の新カリキュラムの学則別表について
2. 平成30年度開始の学修単位科目について
3. Webシラバスについて
4. モデルコアカリキュラムへの対応
5. 原級留置率の改善対策の実施について
6. 試験監督（フロア巡回者を2名とする案）について
7. 後期における学生の出欠システムについて
8. 進級・卒業の確認システム（可視化）について
9. 警報発令に伴う授業等取扱要領の改正について

10. 北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る臨時休業の取り扱いについて
 11. その他
- 第3回臨時教務委員会：平成29年10月23日（月）
1. 警報による定期試験休講の代替措置について
 2. その他
- 第7回教務委員会：平成29年10月26日（木）
1. 平成31年度年次進行の新カリキュラムの学則別表について
 2. 前期期末成績について
 3. インターンシップ成績評価について
 4. Webシラバスについて
 5. 公欠願について
 6. 平成30年度学年暦（案）について
 7. 定期試験の試験監督（フロア巡回者）について
 8. 平成30年度校務分担における委員数削減について
 9. その他
- 第8回教務委員会：平成29年11月7日（火）
1. 平成30年度モデルコアカリキュラム対応について
 2. 学力補充期間の設定について
 3. 定期試験の試験監督業務について
 4. 前期期末成績について
 5. 学生の公欠について
 6. その他
- 第9回教務委員会：平成29年11月29日（水）
1. 平成30年度1年生用学則別表について
 2. 平成30年度における学則改正について
 3. 学年末に向けた学生の事件・事故防止のための具体的取組について
 4. 学力補充期間の試行的実施について
 5. 進路変更マニュアルについて
 6. 平成31年度新カリキュラムについて
 7. インターンシップ成績認定について
 8. その他
- 第10回教務委員会：平成29年12月6日（水）
1. 平成30年度学則別表について
 2. 学力補充期間の試行的実施について
 3. 進路変更マニュアルについて
 4. 平成31年度新カリキュラムについて
 5. 学生の出欠確認システムについて
 6. 平成30年度学年暦について
 7. その他
- 第11回教務委員会：平成30年1月30日（火）
1. 平成30年度学則別表について
 2. 学力補充期間の試行的実施Q&Aについて
 3. 警報発令に伴う授業等措置要領について
 4. 知識・技能審査に係る単位認定について
 5. 特別支援要領について
 6. 規程改正について
 7. 和歌山大学との第3学年編入学に関する協定書について
 8. 非常勤講師の任用計画一覧
 9. 編入学生及び留学生等の補習単位認定について
 10. その他
- 第12回教務委員会：平成30年2月7日（水）

1. 追試験に関する規程改正について
2. 知識・技能審査に係る単位認定に関する規程の一部改正(案)について
3. 学則別表の履修単位科目、学修単位科目の表示について
4. 機械工学科の平成31年度新カリキュラム学則別表について
5. 知識・技能審査に係る単位認定について
6. インフルエンザ対応について
7. その他

○第13回教務委員会：平成30年2月13日（火）

1. 追試験に関する規程改正について
2. 学則別表の修正とそれに関連する規程改正について
3. 機械工学科の平成31年度新カリキュラム学則別表案について
4. その他

○第4回臨時教務委員会：平成30年2月14日（水）

1. 定期試験における学生の不正行為について
2. その他

○第5回臨時教務委員会：平成30年2月16日（金）

1. 定期試験中における学生の不正行為（疑い）について
2. 定期試験問題（地理）の印刷ミスについて
3. その他

16. 教務主事・主事補会議の開催について

○第1回教務主事・主事補会議（平成29年4月3日（月））

1. 平成29年度 教務委員会の役割分担（案）について
2. その他

○第2回教務主事・主事補会議（平成29年4月11日（火））

1. 原級留置率の改善について
2. その他

○第3回教務主事・主事補会議（平成29年5月1日（月））

1. 特別支援教育に関する基本方針について
2. その他

○第4回教務主事・主事補会議（平成29年5月19日（金））

1. モデルコアカリキュラムへの対応について
2. 原級留置率の改善に向けたアンケートについて
3. 身体障害または発達障害のある学生に対する特別修学支援要項等の作成について
4. アクティブラーニングについて
5. 教員研究業績整備について
6. 「全国高専フォーラム」について
7. その他

○第5回教務主事・主事補会議（平成29年6月22日（木））

1. 原級留置率の改善に向けた対策について
2. 平成31年度開始の新カリキュラムの学年配当単位数について
3. モデルコアカリキュラムにおける情報リテラシー&分野横断的能力について
4. Webシラバスについて
5. その他

○第6回教務主事・主事補会議（平成29年7月4日（火））

1. 平成31年度新カリキュラムの学年配当単位数（案）について
2. モデルコアカリキュラムへの対応について
3. 定期試験実施要領の改訂（案）について
4. Webシラバス入力管理表（7月分）について

○第7回教務主事・主事補会議（平成29年7月28日（金））

1. 特別支援学生の試験監督対応について

2. 夏季休業前後における学生の出欠確認について
3. 後期における学生の出欠確認について
4. その他

○第8回教務主事・主事補会議（平成29年9月19日（火））

1. 平成31年度年次進行の新カリキュラムの学則別表について
2. 平成30年度開始の学修単位科目について
3. Webシラバスについて
4. モデルコアカリキュラムへの対応
5. 原級留置率の改善対策の実施について
6. 試験監督（2年生以下についてはフロア巡回者を2名とする案）について
7. 後期における学生の出欠システムについて
8. 進級・卒業の確認システム（可視化）について
9. 警報発令に伴う授業等取扱要領の改正について
10. 成績評価資料等の電子化と管理について
11. その他

○第9回教務主事・主事補会議（平成29年10月19日（木））

1. 平成31年度年次進行の新カリキュラムの学則別表、科目の流れ図について
2. 前期期末成績について
3. 学力補充期間の設定について
4. インターンシップ成績評価について
5. Webシラバスについて
6. 原級留置率の改善対策の実施について
7. 修得単位数の確認システムについて
8. 次年度の校務分担における負担軽減策について
9. 平成30年度学年暦（案）について
10. その他

○第10回教務主事・主事補会議（平成29年11月6日（月））

1. 平成30年度モデルコアカリキュラム対応について
2. 前期期末成績について
3. 学力補充期間の設定について
4. 定期試験の試験監督業務について
5. Webシラバスについて
6. 原級留置率の改善対策の実施について
7. その他

○第11回教務主事・主事補会議（平成29年11月20日（月））

1. 後期中間試験におけるフロア巡回について
2. 後期中間試験における学生の出席確認について
3. 学年末に向けた学生の事件・事故防止のための具体的取組について
4. 学生の出欠確認システムについて
5. 平成30年度1年生用学則別表について
6. 平成30年度2年生以上の学則別表について
7. 平成30年度における学則改正について
8. 学力補充期間の試行的実施について
9. その他

○第12回教務主事・主事補会議（平成29年12月18日（月））

1. 学力補充期間の試行的実施に向けて
2. 1・2年用進路指導用マニュアル（叩き台）について
3. MCC到達水準について
4. 学生の出欠確認システムについて
5. 追試験の規程改正について
6. 大学入試センター試験や大学入学試験に対応した公欠の内規について

7. MCC「技術者倫理」対応科目について
8. 学生の欠席について
9. その他

○第13回教務主事・主事補会議（平成30年1月16日（火））

1. 学力補充期間の試行的実施Q&Aについて
2. 警報発令に伴う授業等措置要領について
3. 学年の課程の修了、進級並びに卒業の認定
4. 知識・技能審査に係る単位認定について
5. 特別支援要領について
6. その他

○第14回教務主事・主事補会議（平成30年2月5日（月））

1. 追試験に関する規程改正について
2. 知識・技能審査に係る単位認定に関する規程の一部改正(案)について
3. 学則別表の履修単位科目、学修単位科目の表示について
4. 機械工学科の平成31年度新カリキュラム学則別表について
5. その他

○第15回教務主事・主事補会議（平成30年2月28日（水））

1. 本科学生募集要項における「併願」の削除について
2. その他

学 生 委 員 会

学生主事 小野 伸一郎

平成29年度の学生委員会、並びにその指導のもとでの主な学生会・クラブの活動等について

1. 新入生支援・指導

- 4月10日（月） クラブ紹介
- 4月13日（木）・14日（金） 新入生合宿研修
- 4月22日（土） 学生会・寮生会共催新入生歓迎会
- 4月17日（月）～25日（火） パートナシップ

2. 交通安全指導・禁煙指導

- 4月11日（水） 駐車場仮登録
- 4月17日（月） 交通安全講習会（2,3,4年生及び専攻科生）
- 4月19日（水） 交通安全講習会（5年生）
- 4月～8月 駐車指導，禁煙巡回指導
- 10月～12月 駐車指導，禁煙巡回指導
- 1月～2月 積雪時の駐車指導，禁煙巡回指導

3. 環境美化

- 6月8日（水） 第1回環境美化清掃
- 8月8日（火） 第2回環境美化清掃
- 12月01日（金） 第3回環境美化清掃
- 3月01日（木） 第4回環境美化清掃

4. 課外活動

<学生会>

- 5月9日（火） 学生総会
- 5月16日（火） スポーツフェスタ
- 6月17日（土） 松尾寺駅周辺ボランティア清掃
- 6月27日（火） キャプテン会議
- 7月6日（木） 校長フリートーキング
- 7月24日（月） クラブ顧問会議
- 9月23日（土） タ涼みコンサート（松尾寺駅駅舎にて）
- 10月9日（月） 舞鶴赤れんがハーフマラソン2017ボランティア
- 10月4日（水） 球技大会
- 10月14日（土） 松尾寺駅周辺ボランティア清掃
- 12月5日（火） 学生総会

<クラブ活動>

- 5月13日（土）14日（日） 近畿地区高専体育大会硬式野球（綾部球場）
- 5月14日（日） Hondaエコマイレッジチャレンジ2017鈴鹿大会
- 5月20日（日） 福井高専との交歓試合
- 6月16日（金） 近畿地区高専体育大会抽選会
- 7月9日（日） 近畿地区高専体育大会水泳（舞鶴高専）
- 7月12日（水） 全国高等学校野球選手権京都大会
- 7月14日（金） 近畿地区高等専門学校弓道大会
- 7月16日（日） 近畿地区高等専門学校空手道親善試合

- 10月08日（土）09日（日） 全国高等専門学校プログラミングコンテスト

10月22日（日）	高専ロボコン2017 近畿地区大会
12月 3日（日）	高専ロボコン2017 全国大会
11月11日（土）12日（日）	近畿地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト
12月 2日（土） 3日（日）	全国高等専門学校デザインコンペティション

<高専祭関係>

10月28日（土）	高専祭市中パレード（雨天中止）
11月 2日（木）3日（金）	高専祭準備・前夜祭
11月 4日（土）5日（日）	本祭（一般公開）
11月 6日（月）	高専祭片付・後夜祭

5. 講演会

7月24日（月）	薬物乱用防止講演会（3年生）
10月16日（月）	メンタルヘルス講演会（2年生）

6. その他

6月12日（月）	第1回いじめに関するアンケート
6月13日（火）	第1回中丹高等学校補導連絡協議会
6月22日（木）	元気回復行動プランワークショップ（1年1組）
7月 3日（月）	防災訓練
11月 6日（月）	平成29年度学生顕彰式
12月 4日（火）	第2回いじめに関するアンケート
1月15日（月）	元気回復行動プランワークショップ（1年2組）
1月18日（木）	元気回復行動プランワークショップ（1年3組）
1月22日（月）	元気回復行動プランワークショップ（1年4組）
2月 6日（火）	第3回中丹高等学校補導連絡協議会

学 寮 委 員 会

寮務主事 仲川 力

平成29年度の学寮運営の理念および基本方針を以下に示します。

1. 平成29年度 学寮運営の理念

「全人教育（自主性と協調性）」

寮生活を通して1年生、2年生（低学年）は基本的な生活習慣を身に付け、人格陶冶と規則遵守の態度を養う。3年生以上（高学年）は寮生活の経験に基づき友情、相互寛容など人間関係について正しい理解と自主、自律の精神を養う。

2. 平成29年度 学寮運営の基本方針

(1) 勉学と課外活動の拠点としての学寮

- ・低学年の23時完全消灯（ブレーカーダウン）
- ・パソコンゲームの抑制（自習・就寝時間内の禁止）
- ・点呼の厳格実施

(2) 安全、安心、清潔な学寮

- ・避難訓練の実施、原子力防災の啓蒙、防犯講習会実施
- ・二足制の維持、昼食検食、清掃チェック
- ・給食検討委員会（委託業者への要望）、栄養講座実施、寮生以外の寮内立入禁止

(3) 人間性・社会性・公共性を育む学寮

- ・寮生会・指導寮生会等の自主的活動のサポート
- ・ボランティア活動のサポート

(4) きめの細かい学生指導と相談体制の整備

- ・フロアミーティングの実施（適宜）
- ・フロア巡回（適宜）、低学年登校指導
- ・年度途中の1年生の部屋替実施、寮室点検
- ・禁酒・禁煙、低学年アルバイト禁止
- ・担任との連携（早期発見・早期対応）

3. 平成29年度学寮委員会役割分担

表1 学寮委員による活動（*＝責任者）

役 割	担 当	職 務 内 容
寮生会	* 牧野 毛利	寮生会の活動（特に役員会）をサポートする。随時寮生会役員会との会合を持つ。学寮見学を企画・実施する。
指導寮生会	* 徳永 ケイ	指導寮生会の活動をサポートする。随時指導寮生会との会合を持つ。
給食検討・清掃	* 船木 村上	寮生会生活委員会の活動を、清掃・給食の面を中心にサポートする。給食検討委員会を主催する。1年生対象の栄養講座を実施する。
広報	* 丹下	寮生会文化報道委員会の活動をサポートする。鶴友たよりを年2回発行する。学寮HPを維持管理する。
防災・防犯	* 生水 藤田	寮生会防災委員会の活動をサポートする。防災・防犯に関する寮務を企画する。避難訓練を実施、防犯講習会を実施、AED講習会を実施する。学寮食堂における重食、盗食の防止。
車輛	* 牧野 四蔵 奥村（幸）	寮生会車両委員会の活動をサポートする。車輛許可申請の受付。無許可車輛、駐車違反の取締り、自転車の整理等を実施する。

無線LANサポート	* 丹下 船木 高木	寮生の無線LAN利用のサポートおよび情報科学センターとの調整。
点呼	* 清原 室巻	点呼結果の集計及び毎月のパソコン点呼の集計とその改善。
寮室点検	* 生水 亀谷	寮室の清掃と整理整頓の指導、違反物品の持込みの取締り等を実施する。
宿日直割当	* 上杉	年2回宿日直割当を行う。宿日直割当表作成方法の改善を図る。
特別支援教育	* 上杉	特別支援教育連絡協議会の支援活動をサポートする。

表2 フロア担当

棟	フロア	担 当	棟	フロア	担 当	棟	フロア	担 当
1	女子寮	上杉、仲川	4	4-1	丹下	6	6-1	室巻
2	留学生	ケイ、仲川		4-3	四蔵		6-2	毛利
	2-2	徳永					6-3	山根
	2-3				6-4		藤田	
3	3-1	亀谷	5	5-1	牧野	7	7-1	高木
	3-2	船木		5-2	生水		7-2	
	3-3	清原		5-3	村上		7-3	奥村（幸）
							7-4	

○学寮関係行事

- 4月 2日（日） 開寮
 4月 3日（月） 学寮委員会
 4月 4日（火） 入寮式（162名の学生の入寮と保護者懇談の開催）
 4月 5日（水）～5月12日（金）フロアミーティングの実施
 4月15日（土） 新入寮生挨拶指導、学生会と寮生会主催による歓迎ドッジボール大会
 4月22日（土） 寮生会主催による新入生歓迎会
 （午前）ジェスチャーゲーム、大縄、しっぽ取り、イロモネア
 （午後）餅つき大会、ビンゴ大会、軽音楽同好会のライブ演奏
 5月29日（月） 栄養講座
 6月 8日（木）～6月22日（金）第1回寮室点検
 6月28日（月） 防災訓練
 7月15日（土） サマーフェスティバル
 8月 9日（水） 閉寮
 8月11日（金）、12日（土） オープンキャンパス（学寮施設見学）
 9月18日（月） 開寮（寮室内害虫駆除、寮内廊下等ワックス掛け済）
 9月22日（水） 学寮部屋替え
 9月25日（月） 近畿国立高専寮務主事会議（奈良高専）
 10月16日（月）～11月2日（木） フロアミーティングの実施
 10月30日（月） 学寮防犯講習会
 11月 7日（火）～11月17日（金） 第2回寮室点検
 11月 9日（土） 松尾寺清掃

- 12月 9日（土） 富山高等専門学校（本郷キャンパス）からの本寮訪問
- 12月14日（水） 寮生総会（寮生会長、寮生副会長の選挙）
- 12月16日（土） クリスマス企画
- 12月23日（土） 閉寮
- 12月23日（土） 2017高専女子フォーラムin関西
- 1月 8日（月） 開寮
- 2月13日（月） 入寮選考結果発表
- 3月 1日（木）、2日（金） 学寮部屋替え
- 3月 3日（土） 閉寮

○学寮委員会等の開催

- 4月 3日（月） 第1回学寮委員会
- 6月 6日（火） 第2回学寮委員会
- 10月25日（水） 第3回学寮委員会
- 12月21日（木） 第4回学寮委員会
- 1月31日（水） 第5回学寮委員会

※学生指導などに関連し、複数回の主事・主事補会議を開催。

○近畿地区寮務主事会議

平成29年9月25日（月）奈良高専に本校および明石高専、奈良高専、和歌山高専の近畿地区国立4高専の寮務主事が集まり、本会議が開催された。

本会議では、以下に示す協議事項および承合事項について協議と情報交換が行われた。

【協議事項・承合事項】

（協議事項）

1. 教育体制整備のへの対応について（提案校：舞鶴高専）

（承合事項）

1. 寮生の安否確認について（提案校：舞鶴高専）
2. インターネット環境について（提案校：明石高専）
3. 夜間点呼に不在者が出た場合、具体的にどのような対応をとられているか（提案校：和歌山高専）

○女子寮生の増加等に伴う改修

女子寮生の増加に伴い、現在の女子寮の部屋数では、平成31年度以降、不足する可能性が生じたため、3月の閉寮後、管理棟2階の捕食室を改修し、寮室1部屋を新設した。

また、女子寮の環境改善のため、1号館4階にシャワー3基を新設したほか、留学生用寮室（2部屋）にキッチンを新設した。

専 攻 科

専攻科長 三輪 浩

1. 年間活動の概要

専攻科の年間活動の概要を下表に示す。

表1 活動内容

年 月	内 容
平成29年4月	・第1回専攻科委員会 ・専攻科（総合システム工学専攻）入学式 ・新入生オリエンテーション ・1年生，2年生研究室配属決定 ・専攻科学生のTA（ティーチングアシスタント）募集 ・JABEE説明会
平成29年5月	・第2回専攻科委員会 ・JSTS2017(Japan Seminar on Technology for Sustainability) 学生派遣
平成29年6月	・特例適用による学位申請説明会 ・専攻科推薦特別選抜 ・第3回専攻科委員会 ・第4回専攻科委員会
平成29年7月	・専攻科学力選抜試験（前期） ・第3ブロック専攻科長会議 ・第5回専攻科委員会 ・第6回専攻科委員会
平成29年8月	・海外インターンシップ学生派遣（～9月） ・国内インターンシップ学生派遣（～9月） ・ISTS2017(International Seminar on Technology for Sustainability) 学生派遣 ・第7回専攻科委員会
平成29年9月	・前期期末試験（8/1～8/8） ・学修総まとめ科目履修計画書の確認 ・国内インターンシップ報告会（ESコース） ・特例適用専攻科変更の届出
平成29年10月	・国内インターンシップ報告会（CAコース） ・特別研究基礎中間発表 ・専攻科学力選抜試験（後期） ・第8回専攻科委員会 ・第9回専攻科委員会 ・特例適用による学位申請 ・コース長による学生面談（1年生） ・高等専門学校と大学の共同教育課程構想に係る意見交換会参加
平成29年11月	・海外インターンシップ発表会 ・第10回専攻科委員会
平成29年12月	・合同学校説明会参加 ・近畿地区高専専攻科長会議 ・特例適用専攻科変更の届出（補正申請）
平成30年1月	・早稲田大学大学院情報生産システム研究科と本校の推薦入学に関する覚書の締結（締結日：1月12日）

	・第11回専攻科委員会 ・特別研究発表会 ・エンジニアリング・デザイン演習成果発表会
平成30年2月	・後期期末試験（2年生：1/25～1/31，1年生：2/13～2/22） ・学修総まとめ科目成果の要旨の確認 ・第12回専攻科委員会 ・再試験 ・第13回専攻科委員会
平成30年3月	・第3ブロック専攻科研究フォーラム学生・教員派遣（名古屋） ・特別研究基礎発表会 ・第14回専攻科委員会 ・専攻科修了証書授与式（総合システム工学専攻22名） ・平成31年度専攻科学生募集要項の最終確認

2. 専攻科の運営

2.1 専攻科委員会の構成と役割分担

専攻科の活動は専攻科委員会が担い委員長、教務主事の他、学科・部門から各1名程度の教員および学生課長と学生課長補佐が委員として所属し、教務関係担当職員が事務手続き業務に当たっている。なお、当委員会は委員長の下、委員会での合議によって運営されている。平成29年度の人員構成と役割分担および事務手続き担当職員は以下のとおりである。

表2 専攻科の運営メンバー

氏 名	役 職	主たる役割分担	備 考
三輪 浩	委員長	総括	専攻科長
高谷富也		教務関係事項への助言	教務主事
片山英昭	電気電子システム工学コース長	当該コースの運営，進路指導	電気情報工学科
野毛宏文	機械制御システム工学コース長	当該コースの運営，進路指導	機械工学科
徳永泰伸	建設システム工学コース長	当該コースの運営，進路指導	建設システム工学科
金森 満		入試・教務関連事項の整備	電子制御工学科
伊藤 稔		入試・教育関係書類の整備，特別研究審査資料の確認	電子制御工学科
藤田憲司		入試・各種ガイダンスの整備	人文科学部門
岡田浩嗣		進路指導情報の収集・整備	自然科学部門
松梨英輔		事務手続きの承認	学生課長
由良耕士		事務手続きの承認	学生課長補佐
嵯峨信子		事務手続きの実施	学生課職員
富田 誠		事務手続きの実施	教務係長
中村仁美		事務手続きの実施	教務係員

2.2 入学と修了

平成29年度入学者として、4月5日に電気電子システム工学コース13名、機械制御システム工学コース2名、建設工学コース3名の学生を受け入れた。当該年度修了者として、平成30年3月16日に総合システム工学専攻22名（電気電子システム工学コース11名，機械制御システム工学コース5名，建設工学コース6名）の学生に修了証書が授与された。

2.3 入試関係

- (1) 調査書および推薦書の記入用pdfファイルを更新し、平成30年度用としてアップロードした。
- (2) 学力選抜試験の英語に関して、TOEICテストの導入が入試委員会で決定し、導入方法について当委員会で議論を開始した。

2.4 特例適用専攻科変更の届出

平成30年度入学者に係る科目表および学修総まとめ科目担当者変更の届出を9月に行った。この手続に先立って、平成30年度入学者に対する1年次と2年次のシラバスの提出を担当教員に依頼した。12月に当専攻科の届出は認められ、新たに認定された科目表に基づく教育と学位申請が行われることになった。また、学修総まとめ科目（特別研究）担当者の審査結果を各教員に通知した。なお、今回の変更の届出には平成27年度のJABEE受審での指摘事項の一つであった、エンジニアリング・デザイン演習のシラバス変更も含まれている。

2.5 学位授与申請

本校専攻科は平成27年度に総合システム工学専攻が特例適用専攻科として認定された。これを受け、10月に特例による学位授与の申請を行った。これに先立ち、「特例適用による学位申請説明会」を開催するとともに、学修総まとめ科目（特別研究）履修計画書の確認を行った。また、当該学生に対する履修単位の確認と学修総まとめ科目成果の要旨の確認も行った。特例適用による学位申請に対する大学改革支援・学位授与機構の審査を経て、平成30年3月、申請者全員に「学士」の学位が授与された。なお、通例（従来の学位申請方式）適用による学位の申請はなかった。

3. 学生教育関係（進路指導含む）

3.1 学生の研修

高専機構、長岡技術科学大学および豊橋技術科学大学が主催し、5月に熊本高専で開催されたJSTS（Japan Seminar on Technology for Sustainability）および8月にフィンランドのトゥルク応用科学大学で開催されたISTS（International Seminar on Technology for Sustainability）にESコースの1年生1名を派遣した。これらのセミナーは、国内から選抜された専攻科学生が、国内でのワークショップを経た後、海外協定校の学生を交えた少人数のグループで活動し、「持続可能な科学技術」の見識を深めるとともに、英語コミュニケーション能力の向上、多様な集団で協働する能力の向上を目的としたものである。

3.2 研究成果の発表

専攻科では、学生が自身の研究成果を積極的に学会等で発表することを奨励している。これは、研究発表技術を涵養するためだけではなく、学外での客観的な評価を受けることによって、研究に関する新たな発見や今後の方向性に繋がるためでもある。また、優秀な発表として表彰された学生もあり、本人だけでなく他の学生へのモチベーションの向上にも寄与している。今年度の発表件数を以下にまとめる（本人発表のみ）。なお、括弧内の数字は国際会議（内数）を示す。

表3 学外での研究発表件数

コース名	発表件数
電気電子システム工学	7(1)
機械制御システム工学	4
建設工学	8

3.3 インターンシップ

今年度は9名の学生が国内インターンシップに、3名の学生が海外インターンシップに参加した。これらの学生はインターンシップ報告会で報告を行うとともに、評価に基づいて規程に従って単位認定が行われた。なお、派遣日数が規程に満たない等のケースが3件あった。派遣先と派遣期間は以下のとおりである。

表4-1 国内インターンシップ派遣状況

番号	派遣先	派遣期間
1	株式会社堀場エステック	8/21～9/1
2	東芝三菱産業システム株式会社	8/21～9/1

3	株式会社カシフジ	8/21～9/1
4	ニチコンワカサ株式会社	9/4～9/8
5	DMG森精機株式会社	8/21～9/1
6	島津メディカルシステムズ株式会社	9/4～9/8
7	マルホ発條工業株式会社	8/21～9/1
8	日立造船株式会社機械事業本部 電子制御ビジネスユニット電子機器部開発グループ	8/21～9/1
9	日新電機株式会社	8/21～9/1
10	株式会社荏原製作所精密機器事業部	8/28～9/8
11	カーロボ連携大学院 連携大学院インテリジェントカー・ロボティクスコース	8/21～9/1
12	国土交通省近畿地方整備局 福知山河川国道事務所	8/28～9/8

注：番号6、4、12はインターンシップ期間が規程に満たない等の理由で単位認定されていない。

表4-1 海外インターンシップ派遣状況

番号	派遣先	派遣期間
1	NISSIN MANUFACTURING (THAILAND) CO., LTD. (NMT)	8/15～8/25
2	King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang	8/28～9/10
3	King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang	8/28～9/8

4. 進路状況

本校専攻科の学生に対する企業等の求人は好調であり、ほぼ全ての学生が推薦によって内定を得ることができた。自由応募が基本の大学学部生が就職活動に時間を割いているのに比べ、多くの点で高専専攻科のアドバンテージが発揮されているといえよう。また、約1/3の学生は大学院に進学し、より高度な学問を探究することとなった。進路状況を以下に示す。

表5 進路状況（平成30年3月）

進路	企業等・大学院
就職 (内定企業)	アイコム株式会社、株式会社きんでん、三精テクノロジーズ株式会社、株式会社ダイセル、知能技術株式会社、東芝三菱電機産業システム株式会社、株式会社ニコン、ニチコン草津株式会社、株式会社デンソーテン、三菱電機生産技術センター、向洋電機株式会社、株式会社小松製作所大阪工場、株式会社内藤建築事務所、大津市、亀岡市、京都市
進学 (合格大学院)	大阪大学大学院、京都工芸繊維大学大学院、九州工業大学大学院、北陸先端科学技術大学院、

5. その他

5.1 第3ブロック専攻科長会議

今年度の会議は富山高専を担当校として、7月14日（金）に愛知県産業労働センター（ウインクあいち）で開催された。昨年度までは特例適用に関する協議事項が多く出されたが、今年度はほとんど出されなかった。特例適用による学位審査方式が4年目に入り、制度導入による初期の混乱がある程度収まったものと推察される。今年度の協議事項では、高専間の共同研究の推進（第3ブロック研究推進ボードの立ち上げと数値目標）について議論された。承合事項では、特例認定関係、JABEE関係、入試関係、履修関係等について各校の状況が説明された。

5.2 高等専門学校と大学との共同教育課程構想

高等教育改革の一環として文科省が進めている表記構想に関して、豊橋技術科学大学主催の意見交換会が10月30日（月）に豊橋市のホテルアソシア豊橋で開催された。本校からは校長と学生課長および専攻科長が参加した。

意見交換会に参加し、文科省の考えと豊橋技術科学大学の構想を知ることができた（長岡技術科学大学はアイデア段階）。今回の状況から、高専の設置基準の改正は不透明であり、たとえ改正されたとしても共同教育課程の設置に限定したものになる可能性が高い。また、定員増や教員増は概算要求事項とはいえ、容易ではないと思われる。文科省は専攻科と大学の一对一の設立が基本といっているが、豊橋技術科学大学の案は複数の高専と共同設置する形になっている。

現時点で、本校が考える方向性として、

1. 共同教育課程を立ち上げるメリットがあるのか。あるとしたらどのようなものか（ディプロマポリシーの設定も含めて）。
2. 豊橋技大と共同設置するとしたら、どのコースに対して設置が可能か。
3. 技科大以外の大学との共同設置の可能性はどうか。その場合、ディプロマポリシーも含めて分野をどうするか。

等に関する具体的な議論を開始する必要がある。なお、文科省、高専機構ともこれから本格的に動き出すと思われるので、本校も体制の構築が必要である。

5.3 近畿地区高専専攻科長会議

今年度の会議は、明石高専を主管校として12月4日（月）に明石高専にて開催された。協議事項では、文科省が進めている『高等専門学校と大学の共同教育課程の構築支援』に関する情報交換が取りあげられ、各校の認識と進捗状況が議論された。承合事項では、JABEE受審、入試関係等について各校の状況が説明された。

以上

人 文 科 学 部 門

人文科学部門長 垂谷 茂弘

1. 授業公開

本年度は、牧野雅司教員が6月30日（金）5・6時限「日本史」（1年2組）の授業時において実施した。学内評価者は人文科学部門の垂谷茂弘教員（主査）と自然科学部門の喜友名朝也教員とが務め、学外評価者を元京都府立高等学校教員・元本校非常勤講師の清水厳三郎先生、及び、舞鶴市郷土資料館学芸員の小室智子先生に依頼した。

2. 英語デー

10月24日（火）、英語教員が実施運営主体となり、クラス担任等の協力を仰ぎ、教務委員会主催の学校行事としてTOEICおよびACEの団体受検を実施した。日頃の学習の成果および英語のリーディング・リスニング能力を評価する目的で、本科1・2年生はACE（Assessment of Communicative English）を、本科3年生から専攻科2年生まではTOEIC（Test of English for International Communication）を受検した。本年度は、本科4年生と専攻科1年生が全員受検（受検料無料）で、本科1・2・3・5年生と専攻科2年生は任意受検で、受検者が受検料の一部を負担した。

3. 英語プレゼンテーションコンテスト

第11回近畿地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストは、11月11日（土）と12日（日）、神戸研究学園都市・大学共同利用施設UNITYにて開催された（主幹校 神戸市立工業高等専門学校）。

シングル部門 電気情報工学科3年 川本孝太朗

タイトル：Behind “Obvious”

チーム部門 電気情報工学科3年 尾藤大喜

電子制御工学科3年 藤田優也

建設システム工学科3年 林幹之

タイトル：Unraveling the Mystery of a Haunted Spot in Maizuru

シングル部門では川本君が1位となり、全国大会への出場が決定した。コンピュータの言語処理技術を主題として、スマートフォンやパソコンでの漢字変換や翻訳ソフトなどが当たり前になるようになった背後にはエンジニアの努力があり、自分もそのようなエンジニアになりたいという思いのこもった高専生らしい発表であった。

チーム部門では、舞鶴高専近くにある廃墟「ロシア病院」をとりあげ、その歴史を掘り下げながら、どのようにして心霊スポットが生まれるのかを分析するユニークな内容であった。入賞こそなかったものの、審査員長からは「興味をを起こさせる魅力的な」発表という言葉をいただいた。

なお、英語教員全員が出場者の指導にあたり、川本君には近畿地区大会優勝と全国大会出場を讃えて、舞鶴市から文化振興奨励金が授与されたことを記しておく。

第11回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストは、1月27日（土）と28日（日）、国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催された（主幹校 弓削商船高等専門学校）。

シングル部門 電気情報工学科3年 川本孝太朗

タイトル：Behind “Obvious”

シングル部門で川本君が出場。近畿地区大会の時よりも完成度の高い発表であった。入賞にはいかなかったが、審査員全員から発表内容および構成について高く評価された。

4. 国際ソロプチミスト クラブ・ユース・フォーラム

5月14日（日）、舞鶴グランドホテルにて「国際ソロプチミスト クラブ・ユース・フォーラム」が開催された。本校からは機械工学科3年の石黒巴那さんと同工学科3年の黒田美智子さんが参加し、「“夢を拓く”—教育は世界を変える—」のテーマの下、プレゼンテーションとディスカッションをおこなった。論文作成・プレゼンテーションの指導とフォーラム引率には田村修一教員と畑恵里子教員があたった。国際ソロプチミストとは、女性と女兒の生活向上のためのプロジェクト等を推進している国際的ボランティア組織であり、その日本中央リジョンでは「次の時代の優秀なリーダー育成」等を目的に2年に一度ユース・フォーラムを開催し全国のクラブから各1名の代表者を募っている。舞鶴でもその選考会を兼ねて、2年に一度市内の女子高校生が集まってクラブ・ユース・フォーラムが開催されている。

5. 外部資金導入

本年度は、人文科学部門教員で、以下の者が科研費を受けている。吉永進一教員（研究代表者）基盤研究（C）「雑誌メディアによる戦後日本の秘教運動の宗教史的研究—『日本神学』の変遷を追って」、吉永進一教員（研究分担者）基盤研究（C）「日米の新資料による日本仏教グローバル化過程の研究—鈴木大拙を事例として」（代表：守屋友江阪南大学教授）、吉永進一教員（研究分担者）基盤研究（C）「デジタルアーカイブ構築による人文書院戦前期資料の多面的文化史研究（代表：横浜国立大学一柳廣孝教授）、吉永進一教員（研究分担者）基盤研究（C）「実験と伝統—明治・大正期の宗教と心理体験—」（岩田文昭大阪教育大学教授）、牧野雅司教員（研究代表者）若手研究（B）「廃藩置県をめぐる日朝双方の対応を軸に読み解く近代日朝関係の成立」、児玉圭司教員（研究代表者）若手研究（B）「監獄学（刑事政策学）継受過程の再検討—「日本の特質」をめぐる言説に着目して」。畑恵里子教員（研究代表者）基盤研究（C）「舞鶴市糸井文庫蔵浦島伝説関連資料の基礎的研究」。

6. 「地（知）の拠点整備事業」関連

「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」に関連する講義として、「現代社会と宗教Ⅰ，Ⅱ」（吉永進一教員担当）、「地域学Ⅰ，Ⅱ」（牧野雅司教員担当）、「現代日本の政治・経済と法Ⅰ，Ⅱ」（児玉圭司教員担当）が開講された。また、児玉圭司教員は、大学COC事業を契機として設立された舞鶴高専地域テクノアカデミアの企業見学会・講演会（11月1日、株式会社積進（京丹後市））において、「明治から150年—法と刑罰にみる“近代化”」と題する講演を行った。吉永進一教員は、「巡礼と聖地：その伝統と現代」と題するシンポジウムを7月1日（会場：西舞鶴市民プラザ）、7月2日（会場：松尾寺）に開催し、松尾心空（松尾寺名誉住職）、出口三平、岡本亮輔（北海道大）、中川未来（愛媛大）、矢ヶ崎善太郎（京都工繊大）、岩本馨（京都工繊大）、栗津賢太（上智大）、栗田英彦（南山宗教文化研究所）らの発表・コメントがあり、それぞれ45名、20名の参加者があった。

7. 日本語検定団体受検及び受賞

6月10日（土）、11月11日（土）、日本語検定団体受検を実施した（田村修一教員、畑恵里子教員）。日本語検定とは、「日本語の総合的な運用能力を測るため、6つの領域から幅広く出題します。領域ごとの得意不得意がわかるよう、受検後にお送りする成績表（個人カルテ）には、それぞれの領域の得点率を記載します。」（日本語検定公式HP）というものである。特定非営利活動法人日本語検定委員会が行う検定試験で、読売新聞社が特別協賛、時事通信社・東京書籍が協賛、文部科学省・日本商工会議所・経団連事業サービス・全国連合小学校長会・全日本中学校長会・全国高等学校長協会・全国高等学校国語教育研究連合会が後援をしている。

本校の団体受検では（平成28年6月10日、11月11日実施）、主に1～3年生が受検し、自分の日本語運用能力を測る機会となった。実施結果は以下のとおりである。

【受検者 全29名（2,3級）／6月】 2級・準2級認定率 25% 3級・準3級認定率 84%

【受検者 全10名（2,3級）／11月】 2級・準2級認定率 25% 3級・準3級認定率 100%

なお、平成29年2月、本校は、平成28年11月12日実施の結果により「大学・短期大学・高等専門学校」の部において「平成28年度第2回日本語検定団体受検東京書籍賞優秀賞」を受賞したことを付記する。

8. 「伊藤園おーいお茶新俳句大賞」への団体応募及び受賞

平成29年7月、本校学生及び本校は、「第28回伊藤園おーいお茶新俳句大賞」において、「佳作特別賞」「佳作」「団体応募賞」を受賞した。本校の国語の授業では、「伊藤園おーいお茶新俳句大賞」の応募に取り組んでいる。このたび、本校の学生合計4名が、佳作特別賞（1名）、佳作（3名）を受賞した。併せて、今回、本校は団体応募賞をも受賞した。本校の名前が印刷されているペットボトルの緑茶が、副賞として特別制作された。

【佳作特別賞】

「かまくらにギリギリ入るお父さん」（電気情報工学科4年 稲次 駿）

【佳作】

「曾祖母のふきの佃煮味濃い目」（建設システム工学科4年 渡邊 瑠斗）

「小さいなあ大きな森に僕一人」（電子制御工学科3年 岩崎 嘉之）

「新雪だ新感覚だ踏みしだく」（電子制御工学科3年 山川 諒人）

9. 国税庁「平成29年度 第56回 税に関する高校生の作文」部門の受賞

平成29年12月、2年2組金尾啓史さんが「舞鶴税務署長賞」、2年4組田中詩小さんが「京都府租税教育推進連絡協議会賞」を受賞し、舞鶴税務署長による授賞式が執り行われた。国税庁による「平成29年度 第56回 税に関する高校生の作文」部門への応募作品が評価されたことによる。「舞鶴税務署長賞」を受賞した金尾さんの受賞作品は「税との関わり」、「京都府租税教育推進連絡協議会賞」を受賞した田中さんの受賞作品は「税金に託した思い」という題名のレポートである。授賞式には、学校長をはじめ、2年4組担任の上杉准教授、人文科学部門長の垂谷教授、人文科学部門・国語の田村教授、人文科学部門・国語の畑准教授が立ち会い、祝意を述べた。

10. 「放課後教室」の実施

本年度は、自然・人文科学部門合同で「放課後教室」を開催した。これは、学生に学習する習慣を身につけてもらうこと、学生が教員に接しやすい環境を整えることを目的としたもので、定期試験の約2週間前から週に2回程度、放課後（16:30～18:00）に1年生の教室を利用して行った。「放課後教室」は今年度を通じて14回開かれ、延べ人数で教員44人、学生192人が参加した。

11. 教員の動き

平成28年度末をもって村上美登志先生、松井信義先生が退職された。松井先生の後任には山根秀介先生を助教としてお迎えした。

自然科学部門

自然科学部門長 背戸柳 実

1. 学力向上のための取り組み

(1) 中学数学の復習と数学基礎力診断テスト（1年生対象）

1年生の中学数学の復習と数学基礎力診断テストを、年度当初の「数学演習IA」の1回目と2回目の授業時に実施しました。このテストによって基礎学力の不足が判明した学生に対しては、その後の「基礎数学I」の授業において授業担当者が特に注意を向けることにしました。

(2) 学習到達度模擬試験（3年生対象）

1年生、2年生と3年生の10月までの学習の成果を確かめるために、数学の学習到達度模擬試験を11月9日（木）の「微分積分Ⅲ」の授業時に実施しました。内容は、過去の学習到達度試験の問題を解かせる模擬試験でした。試験実施直後に数学教員が共同作成した「解答と解説」（計18ページの冊子）を配付し、また答案返却時には、受講者各自の学習領域ごとの試験成績について、学年内及び学科内の相対位置を記した「個人成績結果」を配付するなどして、今後の学習意欲の動機付けになるように工夫しました。

物理については、1,2年次の各学習領域から精選した60題の問題の解答と解説を記した「学習到達度試験物理問題集」（物理教員が共同作成した計39ページの冊子）を9月末に学生に配付し、学習内容の復習を促しました。また、11月13日（月）7,8限には、この問題集に含まれる問題の類題を30題出題してマークシート形式で解答させる模擬試験を実施しました。模擬試験後、学年内及び学科内の順位などを記した「個人成績結果」を学生に配布すると共に、学習領域ごとの試験結果分析を行い、次年度以降の授業の改善に利用しました。

(3) 学力向上対策（編入生・留学生対象）

4年次編入学生2名に対して、「微分積分Ⅱ、Ⅲ」と「応用物理Ⅰ」の補講を週1回、前期中間試験前まで実施しました。3年次留学生に対しては、希望がなかったために、補習を実施しませんでした。

(4) 学習到達度試験とCBTトライアル（2年生・3年生対象）

国立高等専門学校学習到達度試験「数学」・「物理」が平成30年1月11日（木）に実施されました。それに先立って、平成30年度から学習到達度試験のCBTへの発展的移行に伴い、11月14日（火）から11月17日（金）にかけて、「数学」と「物理」のCBTトライアルを実施しました。2年生全クラスを対象として、クラスごとに分かれて情報科学センターとCALL教室のパソコン約90台とネットワークを利用しました。特にトラブルもなく、スムーズに進行しました。

(5) 放課後教室

人文・自然科学部門が合同で、学生に学習する習慣を身につけてもらうこと、学生が教員に接しやすい環境を整えることを目的として「放課後教室」を実施しました。

具体的には、定期試験の約2週間前から週に2回程度、放課後に人文・自然の教員が数名待機する教室に学生を集めて予復習や試験勉強の学習支援をしました。

「放課後教室」は年間を通じて14回開かれ、延べ人数で教員44人、学生192人が参加しました。

2. 授業公開

昨年度中止になった亀谷睦教員の授業公開を、6月23日（金）に4Eの応用数学ⅡAの授業で実施しました。

3. オープン・キャンパス

本年も8月11日（金・祝）、12日（土）のオープン・キャンパスにおいて、人文科学部門と共同での教科書展示のほか、授業の板書の抜き書きや曲面模型の展示を行いました。POPなどはハンドメイド同好会の協力を得ました。教科書の説明が華やかとなり好評でした。

4. その他

舞鶴市健康・子ども部子ども支援課子育て支援基幹センターと共同で「子育て交流授業」を実施しました。10月2日(月)、3日(火)、5日(木)の3日間の「保健体育」の授業時間において、5年生全クラスを対象として、クラスごとに分かれて2歳前後の乳児と保護者の皆さんと交流をしました。
子育て真最中の保護者の皆さんからお話を伺うことで、学生にとって将来の子育てや家族計画について考える良い機会となりました。

・各教員の校務など

教員名	校務など
上杉 智子	2年4組担任、寮務主事補、企画室員、COCプロジェクト推進会議委員、理科主任、吹奏楽部顧問、女子バレーボール部顧問
梅垣 浩二	
岡田 浩嗣	学生主事補、国際交流センター運営委員、専攻科委員、進路指導委員、軽音楽部顧問、弓道部顧問
奥村 昌司	教務主事補、FD・ICT部会長、広報委員、数学主任、吹奏楽部顧問、柔道部顧問、ボランティア同好会顧問
小野伸一郎	学生主事、教育改善委員、陸上競技部顧問
亀谷 睦	1年4組担任、教育改善委員長、FD・ICT部会員、紀要編集委員、学寮委員、ローイング部顧問
喜友名朝也	1年2組担任、図書館運営委員、学生委員、ハンドボール顧問、ボランティア同好会顧問
木村 健二	入試広報部会員、学生委員、学生相談室員、体育主任、選挙管理委員、危機管理委員会緊急連絡／安否確認システムWG、サッカー部顧問
背戸柳 実	2年2組担任、教育プログラム(MDE)委員、硬式野球部顧問、雪上スポーツ同好会顧問
宮崎 昭仁	教育支援センター運営委員、情報科学センター委員、地域共同テクノセンター運営委員、図書館運営委員、バドミントン部顧問

機 械 工 学 科

機械工学科長 谷川 博哉

1. 年間活動の概要

年 月	活 動 内 容
平成29年4月	・ 新入生対象学科ガイダンス (4/5)
5月	・ プレオープンキャンパス (舞鶴会場、5/21)
6月	・ プレオープンキャンパス (京都会場、6/11) (三田会場、6/25) ・ 出前授業「歯車を作り、それを使って動く玩具を作ろう」(吉美小学校、6/14) ・ 出前授業「光の力と化学反応を使ってメカニカルガジェットを作ってみよう」 (若浦中学校、6/22) ・ 授業公開「システム工学」(授業実施者：室巻教員、6/26)
7月	・ 出前授業「機械に関する授業ってどんなこと？」(太秦中学校、7/7) ・ 工場見学(株式会社イシダ滋賀事業所、株式会社椿本チエイン京田辺工場、 7/21、機械工学科4年生希望者25名)
8月	・ オープンキャンパス (8/11、12)
9月	・ 公開講座「考えて動かそう！きみにもできるロボットづくり」 (本校、9/3、対象：小中学生) ・ インターンシップ報告会 (9/20・21・22、機械工学科4年生)
10月	・ 卒業研究中間発表会 (10/19) ・ 赤れんがフェスタ in 舞鶴2017出展 (舞鶴市役所、10/21・22)
11月	・ 第22回青少年のための科学の祭典出展「ノギスの仕組みを知ろう」 (京都市青少年科学センター、11/12) ・ 海外研修旅行 (ベトナム、11/14～18、機械工学科4年生) ・ 出前授業「ペットボトル掃除機を作ってみよう」(日新中学校、11/17) ・ 出前授業「3DCADの体験」(桂中学校、11/29)
12月	・ 工場見学(キリンビバレッジ株式会社滋賀工場、12/2、機械工学科3・4年生希望者9名) ・ 機械工学科特別講演会「鉄鋼材料の熱処理と表面改質」 (講師：公益財団法人応用科学研究所 松岡裕明氏、12/4、対象：機械工学科4・5年生) ・ 工場見学(一志株式会社、株式会社ダイゾーエアゾール事業部京都工場、 12/8、機械工学科4年生希望者8名) ・ 女子中学生一日高専体験会 (12/9) ・ わかさわんクラフトマルシェ出展「光の力を利用して液体から歯車キーホルダーを作ろう」 (国立若狭湾青少年自然の家、12/10) ・ 出前授業「ウィンターシーズンLEDジオラマの作成」(橋本小学校、12/14)
平成30年1月	・ 工場見学(オークマ株式会社、村田機械株式会社犬山事業所、1/24、 機械工学科3年生および4年生希望者)
2月	・ 第12回科博連サイエンス・フェスティバル出展「高専ハンドスピナーを作ろう」 「レーザーカットした材料で乗り物を作ろう」(京都市青少年科学センター、2/4) ・ 卒業研究発表会 (2/9) ・ 工場見学(グンゼ株式会社綾部工場、2/23、機械工学科2年生)
3月	・ 公開講座「デジタルファブリケーション入門！デジタル工作機械を作ってみよう」 (本校、3/10、対象：小中学生)

2. COC+事業による京都府内企業の工場見学

平成29年7月21日、機械工学科4年生25名の希望者が株式会社椿本チエイン京田辺工場を見学しました。はじめに会社概要の説明を受けた後、2グループに分かれて生産現場の見学をしました。現場見学を終えた後は、舞鶴高専OBの方との質疑応答の場を設けていただきました。さらに、開発・技術センターの若手社員の方3名に、研究テーマについてプレゼンテーションしていただきました。

また平成29年12月8日には、一志株式会社（京都府亀岡市）に機械工学科4年生8名の希望者が見学を行いました。会社概要の説明を受けた後、冷間鍛造のラインや検査ラインを見学しました。生産現場の見学後には、舞鶴高専OBの方との交流があり、OBの方々がどのような業務に携わっているのか教えていただきました。

この他にも、4年生は株式会社インダおよび株式会社ダイゾー、3年生は村田機械株式会社、2年生はグンゼ株式会社の工場を見学しました。京都府内企業の見学を通して、地域企業に対する見聞を広めるとともに地域志向マインドを高めることが出来たと思います。



椿本チエインでの工場見学



一志での工場見学

3. 地域企業の協力による製品企画の流れの体験

地元企業の協力を得て製品の企画・製作などの流れを体験できる授業を2件行いました。

1件目は、オムロン株式会社の協力により、オムロン株式会社綾部事業所で取り組まれている自動化に関する装置開発に機械工学科4年生が取り組みました。部品を自動整列させる機構を考案し、11月1日（水）に考案した内容のプレゼンテーションを行いました。

2件目は、椿本チエイン株式会社の協力により、椿本チエイン株式会社で開発されたジップチェーンアクチュエータを用いて「人の動きを“楽”にする装置」の企画を機械工学科4年生が行いました。12月18日（月）に企画内容のプレゼンテーションを行いました。



考案した内容のプレゼンテーション

4. 機械工学科特別講演会

12月4日14時35分より、本校視聴覚教室で以下のような特別講演会を実施しました。

題目：鉄鋼材料の熱処理と表面改質

講師：公益財団法人 応用科学研究所 松岡 裕明 氏

対象：機械工学科4年生、5年生および本校関係教職員

鉄鋼材料の現状、熱処理の現状、トラブルを起こした機械構成部品の原因等について詳しく話をさせて頂きました。

電 気 情 報 工 学 科

電気情報工学科長 竹澤 智樹

1. 年間活動の概要

年 月	内 容
平成29年4月	・新入生を対象としたガイダンス (4/5)
平成29年5月	・プレ・オープンキャンパス (5/21本校、船木、竹澤) 体験学習「アプリで体験!画像処理!」
平成29年6月	・プレ・オープンキャンパス (6/11京都市、芦澤、竹澤) 体験学習「アプリで体験!画像処理!」 ・プレ・オープンキャンパス (6/25三田市、芦澤) 体験学習「アプリで体験!画像処理!」 ・授業公開「論理回路」(公開者:井上、主査:丹下) (6/28)
平成29年7月	・「創造工学」成果発表会 (7/18)
平成29年8月	・オープンキャンパス (8/11、8/12) 体験学習「振れば絵が出る残像イルミネーション!」丹下 「塗り絵とエクセルで学ぶ電子透かし!」芦澤
平成28年9月	・インターンシップ報告会 (9/27; 4年生、企業23社、大学等5、船木)
平成29年10月	・電気情報工学科特別講演会 (10/12; 電気三学会関西支部主催) 「情報技術の新展開 ～立命館大学情報理工学部における挑戦～」 立命館大学 情報理工学部 プロジェクト担当副学長 教授 平林 晃 氏 ・工学基礎研究の配属を決定 (10/5) ・卒業研究中間発表会 (10/19; 上位2名 電気学会主催高専卒業研究発表会3月) ・赤れんがフェスタ出展 (10/21、22)
平成29年11月	・4年生研修旅行(台湾、引率:船木、平地) (11/14～18) ・東舞鶴駅イルミネーション点灯式(点灯期間11/20-2/20、製作・設置:3年生工学実験)
平成29年12月	・冬の公開講座「聖夜を彩るLEDクリスマスリース」(12/3内海、竹澤) ・女子中学生1日高専体験会 (12/9 本校 丹下、竹澤)
平成30年1月	・IEEE卓越講演者による講演会 (1/29; IEEE (米国電気学会) 主催) 「光と磁気が結合した新しいITデバイス」豊橋技術科学大学 副学長 井上光輝 氏
平成30年2月	・4年生工学基礎研究発表会 (2/1) ・5年生卒業研究発表会 (2/15)
平成30年3月	・電気学会関西支部主催 高専卒業研究発表会 (3/3)



創造工学発表会



赤れんがフェスタ



高専卒業研究発表会



冬の公開講座



東舞鶴駅イルミネーション

2. 学生による学会発表

年 月	発 表 学 会	発表者
平成29年9月	Japan ATフォーラム2017 in 函館 「AR技術を用いた漢字学習教材の開発」	下新祥汰
	「人の重心移動によって操作する電動車椅子の操作部の開発」	尾内亮太
平成30年1月	第23回高専シンポジウム in Kobe 「ショットキー型フォトダイオードの金属電極膜厚の検討」	松平 颯 池山拓斗
	「シリコン太陽電池教材の改良」	水口公陽
	「人の重心移動を利用した電動車いすの操作装置の開発」	尾内亮太
平成30年 3月	第25回 電気学会関西支部高専卒業研究発表会 「画像の持つ方位性を利用した組み合わせ式周波数変換とその画像圧縮への応用に向けて」	石本浩気
	「モバイルネットワークにおける分散型台帳技術による電子決済モデル開発」	沈嘉秋
	第9回高専パワエレフォーラム 「I-V特性推定型高速MPPTの昇降圧チョッパ制御への対応」	山本謙太
	第65回応用物理学会春季学術講演会 「学生実験用シリコン太陽電池教材の改良」	水口公陽
	2018年 電子情報通信学会総合大会 「視覚障害者の単独歩行を支援する静止障害物検出システムの改良」	波多野克信
	The 6th IIAE International Conference on Industrial Application Engineering, "Improvement of Walking Support System for Visually Impaired Person"	K. Hatano

3. 電気情報工学科特別講演会

平成29年10月12日(木)に本学科の特別講演会として、電気三学会関西支部主催の「准員および学生員のための講演会」を本校視聴覚教室にて開催しました。講師は立命館大学情報理工学部副学部長の平林晃先生にお願いして、「情報技術の新展開 ～立命館大学情報理工学部における挑戦～」と題してご講演頂きました。学生達は、メディアセンシング研究室で行われている最先端の研究内容を、非常に興味深く聞かせて頂きました。



電気三学会関西支部主催
「准員および学生員のための講演会」

4. 5年生の進路状況

今年度の5年生は在籍者47名で、就職希望者が31名(約66%)、進学希望者が16名(約34%)でした。

【就職(内定企業)】: CTCテクノロジー、GSユアサ、JAXA、Mテック、NTTコムウェア、NTTスマートコネク、NTTネオメイト、NTTフィールドテクノ、TOA、アイテック阪急阪神、イシダ、ケイオプティコム、ジャパンマリンユナイテッド、ダイキン工業、ネクストウェア、パナソニックAIS社車載エレクトロニクス事業部、パナソニックエコソリューションズ社、パナソニックコネクテッドソリューションズ社、ロジックデザイン、旭化成、関西電力、京セラコミュニケーションシステム、共栄樹脂、中部電力、東芝メディカルシステムズ、日進製作所、日本電気硝子、富士通ディフェンスシステムエンジニアリング、堀場製作所(2名)、三菱電機通信機製作所

【進学(合格先)】: 大阪大学、岡山大学、京都工芸繊維大学、筑波大学、東北大学、豊橋科学技術大学(6名)、新潟大学、舞鶴高専専攻科(4名)

5. 退職教員

平地克也教授と金山光一教授が平成29年度で定年退職となりました。平地教授は㈱ユアサコーポレーションを退職後の平成16年に赴任し、副校長、学科長などの要職を歴任されました。また金山教授は三井化学㈱を退職後の平成13年に赴任し、教務主事、副校長などの要職を歴任されました。

電 子 制 御 工 学 科

電子制御工学科長 川田 昌克

1. 年間活動の概要

電子制御工学科の年間活動の概要を下表に示す。

年 月 日	活 動 内 容
H29年 4月 5日 (水)	新入生専門学科ガイダンス
H29年 5月21日 (日)	プレオープンキャンパス (舞鶴高専)
H29年 6月11日 (日)	プレオープンキャンパス (京都会場)
H29年 6月22日 (木)	【COC+事業】出前授業「LEGOロボット製作とiPadによるプログラミング」 (舞鶴市立若浦中学校, 担当: 川田)
H29年 6月23日 (金)	授業公開 (科目: 情報処理Ⅱ, 授業担当者: 伊藤)
H29年 6月25日 (日)	プレオープンキャンパス (三田会場)
H29年 7月 5日 (水)	出前授業「LEGOロボット製作とiPadによるプログラミング」 (京都市立音羽中学校, 担当: 川田, 高木)
H29年 7月13日 (木)	【COC事業】出前授業「マッピングしてみよう!」「身近な物体まわりの流れを見てみよう!」 (舞鶴市立三笠小学校, 担当: 野間, 畑 (教育研究支援センター))
H29年 8月11日 (金)・12日 (土)	オープンキャンパス
H29年 8月20日 (日)	公開講座「6足歩行ロボットをつくろう!」～第11回全日本小中学生ロボット選手権 舞鶴高専地区予選～ 小学生の部 (1回目: ロボット組み立て講習会) 公開講座「リモコンロボットをつくろう!」～第11回全日本小中学生ロボット選手権 舞鶴高専地区予選～ 中学生の部 (1回目: ロボット組み立て講習会)
H29年 9月12日 (火)・13日 (水)	【COC+事業】出前授業「LEGOロボット製作とiPadによるプログラミング」 (舞鶴市立和田中学校, 担当: 川田)
H29年 9月27日 (水)	1年生工場見学 (株式会社堀場製作所びわこ工場)
H29年10月10日 (火)	5年生卒業研究中間発表会
H29年10月12日 (木)	4年生インターンシップ報告会
H29年11月 4日 (土)	公開講座「6足歩行ロボットをつくろう!」～第11回全日本小中学生ロボット選手権 舞鶴高専地区予選～ 小学生の部 (2回目: 競技会)
H29年11月 5日 (日)	公開講座「リモコンロボットをつくろう!」～第11回全日本小中学生ロボット選手権 舞鶴高専地区予選～ 中学生の部 (2回目: 競技会)
H29年11月14日 (火)～18日 (土)	4年生海外研修旅行 (訪問国: 台湾, 訪問校: 国立高雄第一科技大学, 訪問企業: アルバック台湾)
H29年11月18日 (土)	【COC事業】出前授業「水の流れをマッピングしてみよう!」「身近な物体まわりの流れを見てみよう!」(舞鶴市立朝来小学校, 担当: 野間, 畑 (教育研究支援センター))
H29年12月 9日 (土)	【COC+事業】公開講座「LEGOロボット製作とiPadによるプログラミング」
H29年12月 9日 (土)	女子中学生1日高専体験会
H30年 2月 1日 (木)	学科特別講演会 (退職記念講演)「制御入力の飽和を考慮した非線形ロボットシステムのアンチwindアップ制御」(講師: 金森 満教授 (舞鶴高専電子制御工学科))
H30年 2月15日 (木)・16日 (金)	5年生卒業研究発表会
H30年 2月23日 (金)	4年生創造設計プロジェクト競技会

2. 教育活動

(1) 各種競技会

以下の競技会を実施した。

- ・「工学基礎」(1年)におけるライントレースカー競技:
5月31日 (1-3), 7月24日 (1-4), 11月22日 (1-1), 2月5日 (1-2)
- ・「電子制御実習」(2年)におけるライントレースカー競技:
2月7日
- ・「電子制御実験」(3年)におけるミニロボコン: 2月6日
- ・「創造設計プロジェクト」(4年)におけるミニロボコン: 2月23日

4年の「創造設計プロジェクト」の「アイデア出しプレゼン」と「競技会」には、COC+事業の一環として、オムロン株式会社より企業技術者に参加していただいた。



(2) インターンシップ (4・5年生)

夏季休業中に4年生17名が企業、4年生2名・5年生9名が教育機関のインターンシップに参加し、5～10日の就業(就学)体験をした。また、インターンシップ参加学生はインターンシップ報告会で発表した。

(3) 特別講演会 (3～5年生, 2月1日)

金森 満教授が定年退職を迎えることとなったため、退職記念講演として「制御入力飽和を考慮した非線形ロボットシステムのアンチワインドアップ制御」という題目でご講演いただいた。金森教授がこれまでに行ってきた研究について事例を交えて説明していただき、また、32年間の本校勤務を振り返って、学生にメッセージを送っていただいた。



(4) 工場見学 (1年生, 11月30日)

「工学基礎」で実施される工場見学として、株式会社堀場製作所びわこ工場を訪問した。会社概要の説明を受けた後、製造現場を見学し、本校卒業生2名も交えて活発な質疑応答があった。

(5) 海外研修旅行 (4年生, 11月14日～18日)

海外研修旅行として台湾を訪問し、国立高雄第一科技大学との交流を行った。また、日本企業の現地法人であるアルバック台湾を訪問した。海外渡航が初めての学生が多く、貴重な経験となった。

3. 学科広報活動

(1) 公開講座

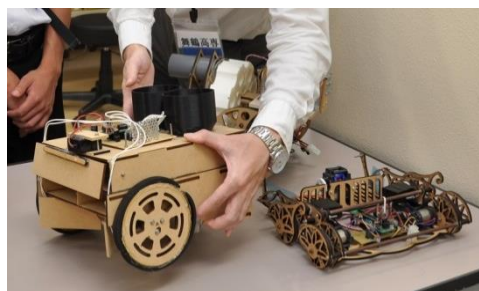
全日本小中学生ロボット選手権舞鶴高専地区予選を公開講座として8月20日(ロボット組み立て講習会)と11月4日(小学生の部, 競技会)・5日(中学生の部, 競技会)に実施した。今年度も募集定員20名に対して多数の申し込みがあった。成績優秀者2名ずつが和歌山県御坊市で開催される本選に進んだ。小学生の部で「デザイン大賞受賞」を、中学生の部で「アイデア大賞受賞」および「デザイン大賞受賞」を果たした。また、COC+事業として1件の公開講座を行った。

(2) 出前授業

5件の出前授業を実施した。このうち、COC・COC+事業として小学校2校、中学校2校を訪問した。

(3) プレオープンキャンパス, オープンキャンパス, 女子中学生一日高専体験会

本校・京都・三田会場(5月21日・6月11日・25日)で実施されたプレオープンキャンパスでは、本学科のカリキュラムの特徴の説明と、学生が開発したロボットの実演を行った。8月11日・12日に実施したオープンキャンパスでは、午前中に学科展示(本学科で実践しているPBL教育や卒業研究の紹介)を行った。また、午後に体験学習「レゴロボットを作って動かそう」, 「シンセサイザーを作って演奏しよう」を実施した。12月9日開催の女子中学生一日高専体験会では、本学科女子学生に授業やクラブ紹介をしてもらった。



4. 進路状況

最近5年間の進路状況を下表に示す。本年度も就職希望者、進学希望者については全員の進路が確定した。

年度	卒業者数	就職	進学	その他
平成29年度	27	17	10	0
平成28年度	35	18	15	2
平成27年度	33	14	18	1
平成26年度	37	19	18	0
平成25年度	37	23	14	0

建設システム工学科

建設システム工学科長 四蔵 茂雄

1. 年間活動の概要

建設システム工学科の活動概要を下表に示す。

年 月	活 動 内 容
29 年 4 月	・ 新入生対象専門学科ガイダンス (4/4)
29 年 5 月	・ プレオープンキャンパス in 舞鶴 (5/21)
29 年 6 月	・ プレオープンキャンパス in 京都 (6/11) ・ プレオープンキャンパス in 三田 (6/25) ・ 授業公開 毛利教員「建設材料学」 (6/26)
29 年 7 月	・ 公開講座「まちをつくろう」 (7/1, 15)
29 年 8 月	・ オープンキャンパス (8/11～12)
29 年 10 月	・ インターンシップ報告会 (10/11) ・ 卒業研究/卒業設計 中間発表会 (10/12) ・ 4C 現場見学会 舞鶴港湾ふ頭工事 (10/13) ・ 出前授業「住まいの設計」 (城南中学校 (10/17, 18))
29 年 11 月	・ 4C 現場見学会 西舞鶴道路 (11/1) ・ 4C 海外研修旅行 ベトナム (ハノイ) (11/14～17) ・ 特別講演会 ヘマンタ・ハザリカ氏「平成 28 年熊本地震における地盤災害 ～教訓と課題～」 (11/20)
29 年 12 月	・ 女子中学生一日高専体験会 (12/9)
30 年 1 月	・ 建設システム工学科全体集会 (1/9)
30 年 2 月	・ 出前授業「住まいの設計」 (白糸中学校 (1/30-2/1) , 青葉中学校 (2/8, 9)) ・ 卒業研究/卒業設計 発表会 (2/16) ・ まいづる土木・建築フォーラム (2/23)
30 年 3 月	・ 高専土木系工学教育の諸問題を話す会参加, 石川高専 (3/22～23)

2. 教育活動

(1) 4 年生インターンシップ・体験学習

夏期休業中に実施される企業・役所等のインターンシップ, 大学の体験学習に 35 名の学生が参加した。学生はその結果を「インターンシップ報告会」で発表した。

(2) 4 年生海外研修旅行

平成 29 年 11 月 14 日 (火) から 17 日 (金) の 4 泊 5 日で, 海外研修旅行としてベトナム・ハノイ市を訪問した。訪問期間中にはハノイ建設大学との交流会も実施した。(写真-1)



写真-1 海外研修旅行
(ハノイ建設大学)

(3) 4 年生現場見学会

4C (都市環境コース) の学生 22 名は, 平成 29 年 10 月 13 日 (金) に鶴港第 2 ふ頭岸壁の地盤改良工事を, また 11 月 1 日 (水) に国交省近畿地方整備局が進めている西舞鶴道路整備事業の現場見学を行った。(写真-2)



写真-2 4C 見学会
(西舞鶴道路)

(4) 建設全体集会

平成 30 年 1 月 9 日（火）に建設全体集会を実施した。4 年生のインターンシップ報告と 5 年生の進路活動報告、ならびに建設の進路状況について報告があった。1 年生から 4 年生が参加した。

(5) 第 6 回まいづる土木・建築フォーラム

平成 29 年 2 月 23 日（金）に当学科主催のフォーラムを舞鶴市政記念館ホールで開催した。このフォーラムでは、5 年生が卒業研究で取り組んだ舞鶴およびその周辺に関わる研究成果として、6 件の口頭発表と 4 件のポスター発表を行った(写真-3)。



写真-3 土木建築フォーラム



写真-4 公開講座（よろず）

3. 学科活動

(1) 公開講座，出前授業

公開講座はまちづくりや商店街づくりを題材に、舞鶴高専の商店街ラボ「よろず」で実施した(写真-4)。出前授業では、城南中学校、白糸中学校、青葉中学校で住宅づくりに関する授業を行った。

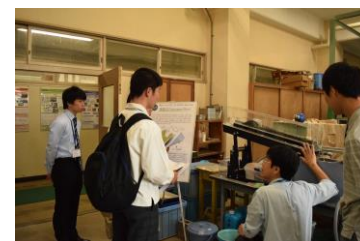
(2) プレ・オープンキャンパス，オープンキャンパス

舞鶴会場、京都会場、三田会場において、プレ・オープンキャンパスを実施した。舞鶴会場と京都会場では、本学科の概要（学習内容、進路等）について説明すると共に、「地震に強い家づくり」と「測量とは何？」について紹介した。併せて、トータルステーションによる角度や距離の測定を実演した（写真-5）。



写真-5 プレオープンキャンパス（舞鶴会場）

オープンキャンパスでは、都市環境系の実験室を公開すると共に、計測機器や学生の成果品を展示した。また、体験学習として「篠原一男の住宅作品「白の家」の模型作り（写真-6）と液状化を再現する模型作りを実施した。フレンドリーで熱気のこもった説明等、学生の協力と活躍により、参加中学生から高い評価を得ることができた。



(a) 展示説明



(b) 体験学習

写真-6 オープンキャンパス

4. 進路状況

平成 29 年度卒業生の進路は下表のとおりである。本科が 2 コース制となって 9 期目を数える。本年度は官公庁への就職者が例年以上に多かった。

コース	就職			進学・編入学			合計
	民間企業	官公庁	小計	専攻科	大学学部	小計	
都市環境	6	6	12	1	6	7	19
建築	8	1	9	4	6	10	19
合計	14	7	21	5	12	17	38

図 書 館

図書館長 尾上 亮介

1. 長岡技術科学大学・高等専門学校統合図書館システム（E-Cats）

長岡技術科学大学附属図書館が、全国立高専55キャンパスと連携し、当該システムを管理・運用している。このシステムの最大の特徴（利点）は、同大学にサーバ管理業務を集約し、システム管理やメンテナンス等を同大学が一元的に行っている点である。

なお、現行システムは第3期に当たり、平成29年3月に開始された。

2. ブックハンティング

学生会図書委員長と調整のうえ、今年度も昨年度同様、前期の土曜日（6月24日）に、大垣書店イオンモールKYOTO店で実施した。学生45名（学生会図書委員と留学生及び専攻科生代表）と引率教員が、学習参考書や教養図書等を選書し、177冊（319,415円）を購入した。

学生たちは、本を選ぶ楽しさと共に、各クラス、各学科の代表として多くの学生たちの学習や興味の対象となる書籍を選ぶことを喜んでいるようにも感じた。この活動が、学生たちの図書館活用につながる感じた。

参加者：尾上亮介、中川重康、喜友名朝也、松梨英輔、渡邊彰宏、中川清光

3. 第19回（平成29年度）高等専門学校及び技術科学大学図書館情報交流集会

今年のテーマは「高専図書館連携業務の改善を目指した知識の習得及び意見交換」で、今年度は、第3期統合図書館システムが開始されて5ヶ月余りであることから、利用講習会も行われた。

各高専や長岡技術科学大学関係者及び機構本部関係者に加えて、図書館システム管理会社からも参加があった。

日 時 1日目：平成29年8月24日（木）10:30～16:55

2日目：平成29年8月25日（金）9:00～12:00

場 所 長岡技術科学大学マルチメディアシステムセンターほか

参加者 中川清光

4. 「舞鶴高専図書館だより（NIT, Maizuru College Library Information）」第96号の発行

今年度は3月に、畑 恵里子委員（図書館だより主担当）が主導して発行した。

第96号では、「特集 学生の皆さんへ その1 三人の大人たちからのメッセージ」と「特集 学生の皆さんへ その2 三人の在学生／先輩からのメッセージ」が掲載された。

加えて、学生の読書感想文が掲載されている。巻頭は、図書委員長がデザインした。

「図書館だより」が、それを手に取った学生・教職員にとって、図書館への興味や関心を喚起する一助になっている。

5. 新1年生向け図書館利用オリエンテーション

4月24日（月）及び5月1日（月）の特活の時間に実施した。図書館利用促進を目的とし、蔵書検索の方法及び本の借り方や配架場所などを説明した。

説明者：尾上亮介、中川清光

6. 研究支援サービス

図書館ホームページ中の「研究支援サービス」のページより、以下の電子ジャーナル及び学術情報データベースを提供している。

(1) 長岡技術科学大学によるコンソーシアムを介して提供しているサービス

・ ScienceDirect, AIP(American Institute of Physics), APS(American Physical Society), JDreamIII

(2) 機構本部によるコンソーシアムを介して提供しているサービス

・ Science, MathSciNet, CiNii

(3) ヨミダス文書館

・ 読売新聞がネットで読めるオンライン・データベース

また図書館で提供（利用）している他のサービスとして、以下のものがある。

- (1) 国立情報学研究所(NII)が行っているサービス
 - ・NACSIS-ILL（図書館間で行われている相互貸借サービス（文献複写や資料現物の貸借の依頼及び受付）のメッセージのやりとりを電子化したシステム）
 - ・ILL文献複写等料金相殺サービス（NACSIS-ILLの料金情報を元にして参加機関同士の利用料金を相殺するシステム）
 - ・Webcat Plus(NII図書情報ナビゲータ)
 - ・KAKEN(科学研究費助成事業データベース)
 - ・JAIRO(学術機関リポジトリポータル)
- (2) その他の機関が行っているサービス
 - ・NDL-OPAC(国立国会図書館蔵書検索、複写・貸借申込みシステム)

ScienceDirectやNACSIS-ILL等の平成29（2017）年における利用件数は以下のとおりである。

- (1) ScienceDirectの利用件数(平成29年1月～12月)

- ・アクセスされたジャーナル数：491誌
- ・アクセスされた論文件数：886件

- ・利用の多い電子ジャーナルのトップ10及びアクセスされた件数

順位	ジャーナル名	件数
1	International Journal of Heat and Mass Transfer	77
2	Proceedings of the Combustion Institute	51
3	Atmospheric Pollution Research	39
4	IFAC-PapersOnLine	28
5	Renewable and Sustainable Energy Reviews	26
6	International Journal of Hydrogen Energy	19
7	International Journal of Thermal Sciences	18
8	Energy Procedia	17
8	Journal of Biomechanics	17
10	Energy Policy	16

- (2) NACSIS-ILLの利用件数(平成29年1月～12月)

- ・文献複写依頼：36件、図書貸借依頼：6件、文献複写受付：0件、図書貸借受付：0件

- (3) 国立国会図書館への文献複写等の依頼件数(平成29年1月～12月)

- ・文献複写依頼：1件、図書貸借依頼：0件

7. 「研究支援サービス」で挙げた資料についての補足説明

- ・ScienceDirect

エルゼビアが提供するデータベース。エルゼビア発行の2,500タイトル以上の電子ジャーナルが搭載され、バックファイルについては、1995年以降のものが収録されている。検索雑誌の本文全てを閲覧できる「フルテキストデータベース」であり、オンライン上での閲覧やダウンロードが可能である。

- ・JDreamIII

JSTより提供されてきたJDreamIIを引き継ぎ、(株)ジー・サーチにより提供されている科学技術や医学などの文献情報検索システム。データベースに収録されている学术论文の抄録等の情報を閲覧することが可能である。

- ・Science

アメリカ科学振興協会(AAAS)発行「Science」誌のオンライン版。1997年以降の本文閲覧が可能である(本校は平成25年1月からコンソーシアムへ参加)。

- MathSciNet

米国数学会が提供するデータベース。1940年以降の世界の数学文献情報を包括的に収録。検索した学術論文の抄録及びレビュー等の情報を閲覧することが可能である。

- CiNii

国立情報学研究所が提供するデータベース。国内の学術論文情報を中心に収録し、一部の論文に関しては、本文の閲覧が可能である。



館内風景



1年生向け図書館利用オリエンテーション



ブックハンティング

情報科学センター

情報科学センター長 片山 英昭

情報科学センターには、「教育・研究部門」と「機器運用部門」の2つの部門がある。教育・研究部門では、学术交流に関する講演会、全学生対象のネットワーク講習会、情報科学センター年報の発行などを行っている。機器運用部門は、校内の教育、研究および業務において使用するサーバやネットワーク機器類の維持管理と教育用電子計算機システムの運用を行っている。セキュリティに関しては、情報セキュリティ推進委員会が担当していることから、今年度「機器運用・セキュリティ部門」から「機器運用部門」に部門名の変更を行った。

1. 教育・研究部門

(1) 情報学センター講演会

情報科学センターでは産官学の技術交流の一環として、学内外の技術者や研究者が一堂に会し、活発に情報交換ができる場を提供するとの主旨のもと、情報科学センター講演会の企画・開催を継続してきており、今回で42回を数えることとなった。本年度の講演内容を表1に示す。

牧野准教授の講演要旨は、以下のとおりであった。明治5（1872）年6月、丹後国加佐郡神崎村（現・舞鶴市）に住む作兵衛・庄吉親子が和船で隠岐へ向けて出発したところ、遭難し、朝鮮半島らしき場所に漂着した。その後、彼らは無事に帰国し、その時のことを記録に残した。彼らの漂流体験からは、当時の日朝関係だけでなく、物流や産業、航海信仰の様子などを読み取ることができる。講演では、作兵衛親子の記録をもとに、当時の様子を見ていきたい。

今村友里子助教の講演要旨は、以下のとおりであった。イサム・ノグチは一般的には彫刻家として知られた人物である。だが実は、ノグチは庭園や公園、子どもの遊び場など、建築空間と関係深いさまざまな空間制作を行っている。都市における公共空間の問題、建物と外部との関係、遊び（レジャー）の問題など、彼の制作が近代の建築家に与えた影響も大きい。そしてその空間制作とはノグチにとっての彫刻であり、実はノグチが彫刻と呼ぶものは人間の体験そのものであった。ゆえに講演ではノグチをランドスケープ・アーキテクトとして捉え、ノグチの制作を空間や風景への興味から紐解き紹介する。

いずれの講演においても活発な質疑応答が行われ、今年度も成功であった。また学外から1名の聴講者があり、講演会後に講師の方に質問をされていた。外部聴講者も質問しやすい雰囲気づくりの必要性を感じた。また、中間試験のない専攻科学生の参加が、最近少ないことが残念であり、来年度は声をかけたいと考えている。

表1 2017年度情報科学センター講演会

第42回講演会（2017年11月30日（木） 15：00～16：50） 参加者34名（教職員33名、外部聴講者1名）	
（1）人文科学部門	牧野雅司准教授：「明治5年，丹後国加佐郡神崎村・作兵衛親子の漂流」
（2）建設システム工学科	今村友里子助教：「イサム・ノグチのランドスケープ作成」



写真1 牧野准教授の講演



写真2 今村助教の講演

(2) 情報科学センター年報

情報科学センターでは、情報科学および研究・教育上の有益な情報を提供する機関誌として毎年3月に情報科学センター年報を発行している。本年度は、報文に8件、利用の手引きに0件、各種報告に18件

の報告があった。本年報にはISSN（国際標準逐次刊行物番号：ISSN1346-8537）が付与されており、国立国会図書館に保管されるとともにその出版情報が国内外から検索可能となっている。

2. 機器運用・セキュリティ部門

(1) 教育用電子計算機システムの管理・運営

平成22年3月に更新され7年間利用してきた教育用電子計算機システムが昨年度末にリース期間が終了し新システムに更新され、情報科学センター演習室、CAD/CAM教室、CALL教室、専攻科棟情報演習室4部屋体制となった。図1に更新された教育用電子計算機システムの構成図を示す。3月末から4月初めにかけて授業で使用するソフトウェアの多くがインストールされた。若干の不具合があるソフトウェアがあったものの、現在ではその多くが解消されている。

クライアント端末操作中にソフトウェアやOSがエラーで落ちる不具合が数件発生した。1つのソフトウェアに限らず、症状は様々であった。原因は、ネットブートシステムがクライアント端末内に保存するキャッシュが破損したことによるものであった。この障害が発生するたびにキャッシュのリビルドを実施し、解消しているが、現在は落ち着いている。ハードウェアの障害としては、画像転送装置のACアダプタの故障、ディスプレイ1台の故障があったが、交換により解消している。今のところサーバでの障害は発生していない。このような問題は生じているが、総じて、安定して動作しており、4部屋同時使用時も大きな遅延なく授業や自習にフル活用されている。

(2) 校内LAN基幹システムの運用

校内LAN基幹システムのハードウェアには大きな障害は発生しなかったが、プロキシサーバがメモリとSwap領域を使い切り、インターネットアクセスのレスポンスが悪くなるという障害が発生した。デーモンの再起動により復旧していたが、頻発するため、仮想サーバである当該サーバのメモリの割り当てを増やしたところ解消し、それ以降は発生していない。

今年度は、高専統一ネットワークシステムの導入という大きな出来事があった。数年に渡り調査やヒアリングを重ね、光ケーブルの敷設、外部接続回線の更新等の準備を行い、今夏、ネットワーク配線を含むシステムの切り替えを実施した。詳細については別稿にて報告するが、このシステムの導入により、平成25年3月に更新された本校の校内LAN基幹システムの一部を移行した。移行できなかったシステムについては、運用開始から丸5年が経過したが、大きな不具合もないため、1年間のリースおよび保守の延長を行うこととした。今後、クラウドサービス等の利用により、基幹系サーバの多くを外に出すことが検討されている。

(3) グループウェアの運用開始

昨年度導入した株式会社ネオジャパンの「desknet's NEO パッケージ版」についてグループウェアの管理・運用（規則）の決定がなされ、10月より運用が開始した。ハードウェアとして、大きな問題が生じることなく、運用できている。

3. その他

本稿では、平成29年度の取り組みについて概要を報告した。情報科学センターの取り組みについては、情報科学センター年報を参照して頂きたい。

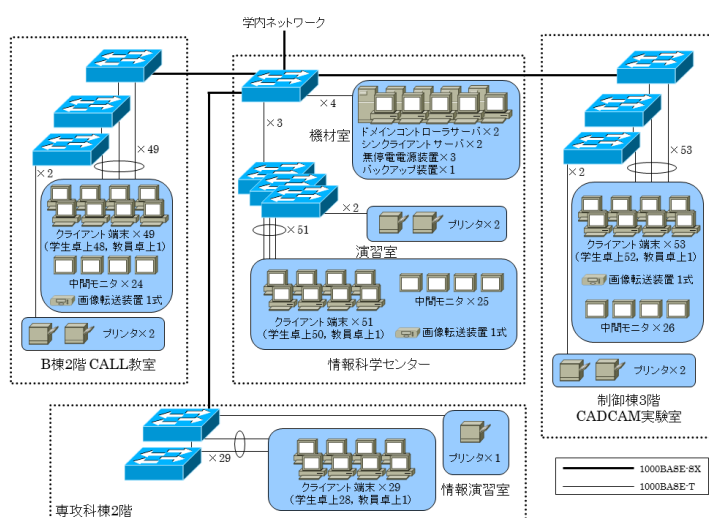


図1 新教育用電子計算機システムの構成図

教育研究支援センター

教育研究支援センター長 篠原 正浩

教育研究支援センターでは、昨年度に引き続いて、教育研究の支援ならびに地域貢献等に関連して、さまざまな取組みを行った。現在、常勤12名体制で職務を遂行している。

以下に、本年度に技術職員が取り組んだ活動および成果について報告する。

1. 教育研究支援

本年度も昨年度までと同様に、実験・実習を中心として教育研究支援の役割を果たしてきた。本年度はその支援の中で得たノウハウや新たな技術を基に、西日本地域高等専門学校技術職員特別研修会（建設・環境系）に1件、平成29年九州地区総合技術研究会 in OKINAWAに1件、平成29年度 全国高専フォーラムに1件、高専技術教育研究発表会に1件等、その成果を発表し、技術職員としての業績の積み重ねが積極的に行われた。

研究支援においては、卒業研究や受託試験等、技術職員の視点で支援を行っている。

また、各学科で行われている地域貢献や学校PR事業も多数支援し、学科学校運営に大きく貢献している。

2. 公開講座および出前授業

平成29年度は公開講座2件を行った。受講生の皆さんに、なぜ？と不思議に感じてもらうことや、身近にある材料で作成できることなどを考慮し、公開講座や出前授業用の教材を開発している。

平成29年7月30日には、教育研究支援センター主催の公開講座「動く！のりもの型ウッドクラフトを作ろう」を開催した。本講座では、今回の教材は、歯車を組立て、輪ゴムを動力源とする自動車型のウッドクラフト（木製模型）とした。

初めに、ウッドクラフトの看板のデザインを受講者に考えてもらい、CADでそのデザインを描いた。その後、実習工場に移動して、見本のMDF（中密度繊維板）材の看板をレーザー加工する様子を観察した。

次に、ウッドクラフト本体の作製に移り、予めレーザー加工機で自作して用意しておいた組立キットから歯車部品を取り出し、竹ひごのシャフトに接着した。接着剤が乾くまでの間、舞鶴高専の紹介や歯車の動力伝達的作用について説明した。その後、車体にシャフトやオリジナルデザインの看板を入れる作業となった。歯車の接着位置やシャフトの取り付け順序などに少し手間取る面もありましたが、無事に完成させることができた。

歯車を組立てることにより機構学の一部を知ってもらえる良い機会になった。



平成29年12月3日には、教育研究支援センター主催の公開講座「おしゃれ行燈をつくろう」を開催した。今年度2回目となる本講座では、レーザー加工機によって切り出した木材を使用し、行燈およびランプシェードを作成した。

教材を開発するにあたり、今後も長く使用してもらえ物であり、シンプルかつデザイン性のあるものを前提に作成した。

行燈は照明（または電灯）の普及などにより少しずつ形を変えてきたが、昔から日本の文化として親しまれている。今回の講座では昔からの伝統と最先端技術の複合を考えた。元来行燈の枠などは組子な

ど伝統的な工法によって手掛けられてきたが、本講座ではレーザー加工機を用いることで複雑な組子模様も容易に作成することができた。またLED電球を光源とし発火などの事故への対処もおこなった。

ランプシェードでは12cmの棒状の木材を40本用意し、組立てた土台の上に好きなように組み上げていく内容とした。こちらからは電球を取り外すことが出来る事と、電球に材料が接触していない事のみを条件とし、発想力を発揮してもらえようとした。

講座ではどの参加者も思い思いの色やデザインを考えながら作成し、とても綺麗な行燈やランプシェードを作成することができた。特にランプシェードでは我々がはっとさせられるような作り方やデザインを見ることができ、スタッフも驚きと感銘を受けた。



3. 高専技術教育研究発表会in舞鶴

本発表会は高専の技術職員の資質向上と技術教育の充実を目的とした発表会である。全国の高専技術職員が日常業務で携わっている広範囲な技術や教育研究支援活動並びに研究活動等について発表・意見交換会を行うことで、お互いの向上を目指す。平成30年3月12日（月）～13日（火）に行われ、全国の高専から舞鶴高専に60名以上の参加者があり、活発な意見交換が行われた。

4. 人事評価自己申告に基づく活動発表会

平成24年度から実施している活動発表会は、各技術職員が年度の初めに年度目標・計画を立て、年度の終わりに目標・計画がどの程度達成できたかを、教育研究支援センター長および全技術職員に対して発表するものである。この開催により、各技術職員がどのような目標を持ち、どのような姿勢でその目標を達成しようとしているか、どのような問題に直面しているか等、活動状況をお互いが理解し合うことができ、問題解決にあたるヒントを全体で探り出すこともできる。本年度も3月に実施した。

地域共同テクノセンター

地域共同テクノセンター長 平地 克也

地域共同テクノセンターは地域貢献活動の推進、および地域の企業や官公庁との連携の強化を目的として、種々の活動を実施しています。平成29年度の主な活動内容を以下に報告します。

1. 地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）

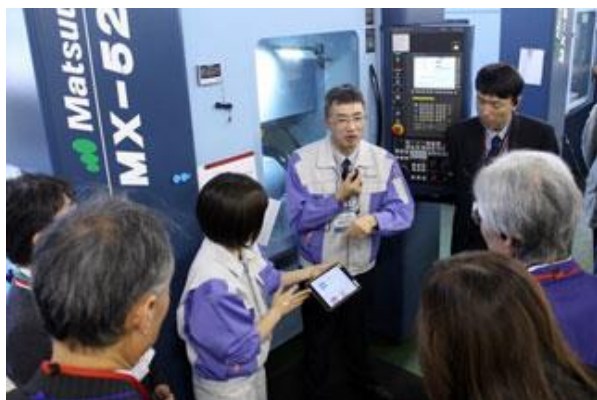
「地（知）の拠点整備事業」は、地方創生のための文部科学省の事業で、地域の拠点となる大学や高専の機能強化を目的としています。舞鶴高専は平成25年度からこの事業に取り組み、5年間に渡って地域の拠点としての様々な活動を実施しました。地域共同テクノセンターでは公開講座・出前授業の推進や地域企業との連携強化を通じてCOCの推進に貢献しました。

「地（知）の拠点整備事業」は今年度で終了しますが、平成27年度からは「COC+事業」が始まっています。この事業はCOC事業で築いた地域の拠点としての役割と経験を生かして、地域に貢献できる技術力を有する学生を育成し、学生の地域への定着を目指す事業です。地域共同テクノセンターはCOC+事業の推進にも貢献しています。

2. 舞鶴高専地域テクノアカデミア

舞鶴高専地域テクノアカデミアは、COCを契機として舞鶴高専と地域産業界の連携強化のために、平成26年3月に設立された企業団体です。地域共同テクノセンターはその活動推進を担当しています。平成29年度は6月27日に総会、11月1日に見学会と講演会が実施されました。講演会では次の2件の講演を行い、会員の皆様から好評をいただきました。

- ・建設システム工学科 玉田和也教授 「京都府北部のインフラを守れ！～iMecの挑戦～」
- ・人文科学部門 児玉圭司准教授 「明治から150年 ―法と刑罰にみる“近代化”」



（株）積進様への見学会



玉田和也教授の講演

3. 舞鶴高専技術通信

舞鶴高専技術通信は、毎年発行している地域共同テクノセンターの機関誌です。平成29年度も3月に発行しました。舞鶴高専の産学官連携活動の状況などを紹介しています。京都北都信用金庫の各支店などで配布していただきました。

4. 展示会

舞鶴高専および教員の研究成果をPRするために積極的に展示会に出展しています。平成29年度は次の3つの展示会に出展しました。

- (1) ビジネス・エンカレッジ・フェア（11月8日、9日）

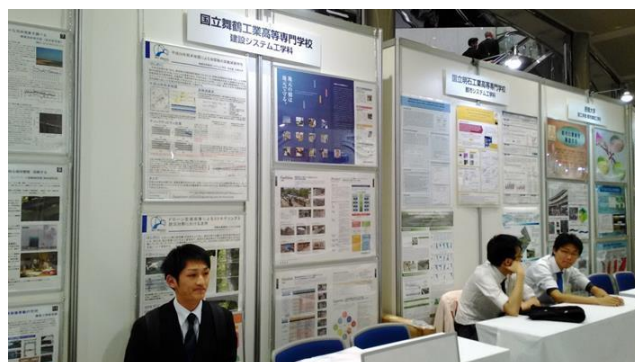
「マイドームおおさか」にて開催、舞鶴高専チームがアイディア賞を受賞した「第1回廃炉創造ロボコン」での活躍の様子を展示しました。

(2) 建設技術展2017in近畿 (10月25日、26日)

「マイドームおおさか」にて開催、専攻科の研究成果と社会基盤メンテナンス教育センター(iMec)の紹介パネルを展示しました。

(3) 京都ビジネス交流フェア (2月15日、16日)

「京都パルスプラザ」にて開催、機械工学科が取り組んでいる農業分野と介護分野の産学連携事例の口頭発表とポスター展示を行いました。



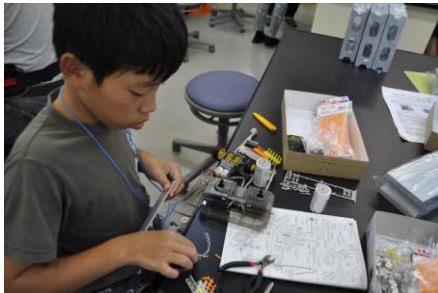
建設技術展in近畿

5. 公開講座・出前授業

舞鶴高専では、地域貢献の重要な手段として、公開講座と出前授業に積極的に取り組んでいます。平成29年度は110回実施しました。地域共同テクノセンターは公開講座・出前授業を管轄しており、その推進のための環境を整備しています。



公開講座「光であそぼう」



公開講座「作ってみよう移動ロボット」

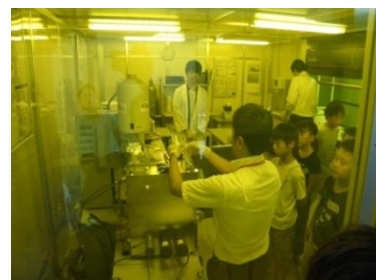
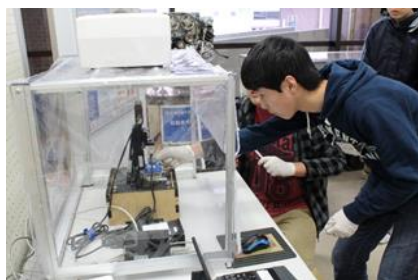


出前授業「ロボット製作」

6. 微細加工実験室

地域共同テクノセンターには各学科の教員が共同で使える微細加工実験室があり、ナノテク研究のための高度な設備を備えています。4つの研究室が使用しており、得られた研究成果は、精密工学会関西地方定期学術講演会、The高専@Semicon Japan 2017、高専シンポジウム、応用物理学会などで発表しました。Semicon Japan 2017の発表会では敢闘賞を受賞しました。

また、公開講座「ナノテクノロジー体験教室」を7月23日(日)と1月14日(日)の2回実施しました。午前は小学生を対象に、午後は中学生を対象に、ナノテクノロジーの実験や計測を体験していただきました。



公開講座「ナノテクノロジー体験教室」の様子

社会基盤メンテナンス教育センター（iMec）

社会基盤メンテナンス教育センター長 玉田 和也

安全・安心な暮らしには、橋梁やトンネル、高速道路等の社会基盤（インフラ）の適正な維持管理が不可欠です。インフラの老朽化が全国的に問題となる中、市町村は技術力不足のため適切な維持管理が困難な状況にあります。『建設』から『維持管理』へ思考を転換し、インフラの維持管理や修繕等に対応できる人材の育成が急務となっています。

社会基盤メンテナンス教育センター(iMec)では、対面式の講習会の事前学修としてeラーニングを組み込んだe+iMec講習会を実施しています。事前学修により修得した知識と対面式の座学に加え、橋梁の劣化部材の観察や体験型学習、維持管理計画の立案演習などを行い受講者がより主体的に学修できる教育プログラムを構築しました。また、地域の産官と舞鶴高専による「京都府北部社会基盤メンテナンス推進協議会」を通して地元ニーズを抽出し、「橋梁点検【基礎編】・【応用編】」に加えて「鋼構造物の非破壊検査」「コンクリートの品質管理」「地盤と斜面」の実証検証を行いました。さらに今年度は新たに「舗装と防水層」の教育コンテンツの開発と実証検証を行いました。

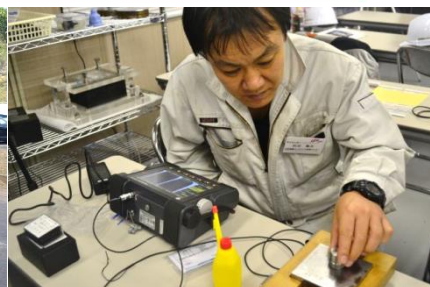
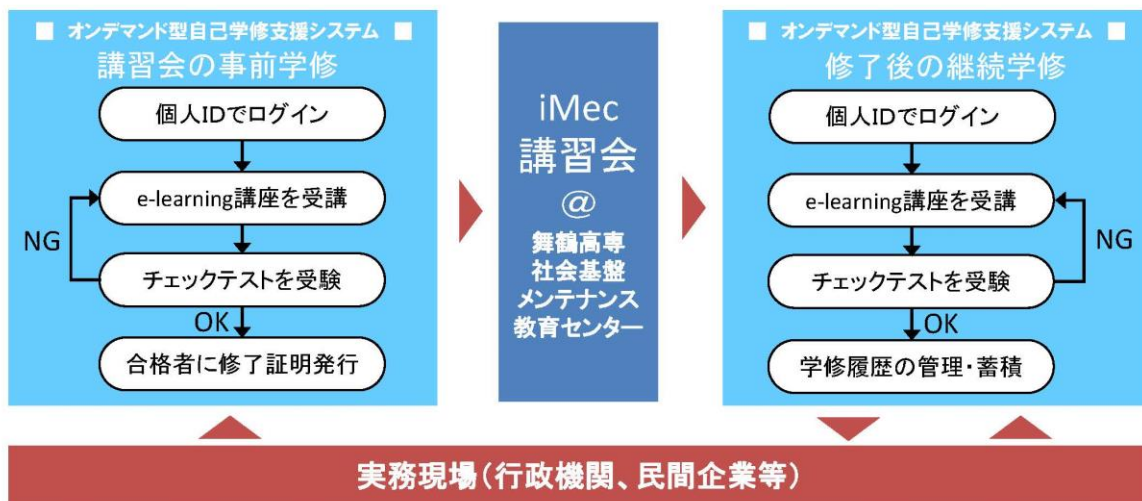
eラーニングによるオンデマンド型自己学修支援システム



実務者のニーズ(多忙な業務とメンテナンス技術獲得・向上の両立)に応え
時間・場所を選ばず必要な時に必要な知識を学修できる環境を構築

eラーニングによるオンデマンド型自己学修支援システム

- iMec講習会受講者は事前学修としてeラーニングを受講し、必要な知識を修得
- iMec講習会修了者には継続学修の環境としてシステムを常時公開



今年度の活動として、18回のe+iMec講習会（基礎編は2日間、応用編は3日間）を実施し、受講者130名のうち准橋梁点検技術者59名と橋梁点検技術者10名の資格認定を行いました。また、高専生を対象とした夏季インターンシップ（5日間）を実施し、阿南高専、和歌山高専、木更津高専、徳山高専、舞鶴高専の学生10名が参加しました。1日目に参加者の交流や座学、劣化サンプルを用いた実習を行い、2日目は舞鶴市内橋梁においてコンクリート橋の現場実習と維持管理計画立案演習を行いました。3日目に舞鶴市内の橋梁において鋼橋の現場実習と詳細調査手法を行い、4日目にクレインブリッジでの現場演習と本カリキュラムで実習した内容をプレゼンテーションにして発表しました。5日目に学修到達度確認試験、モニターアンケートを実施しました。



また、独立行政法人国際協力機構（JICA）主催の2017年度JICA研修（都市内道路整備コース）を受入れ、研修の一環として「地方自治体における社会基盤メンテナンス人材育成について」の講義を行いました。1回目（平成29年6月9日）は、アフガニスタン、モルドバ、エジプト、リベリア、コートジボワール、カメルーン、コンゴ民主共和国、ルワンダ、タンザニア、マダガスカル、ウガンダ、ケニア、エチオピア、東ティモール、パプアニューギニアの15カ国から15名、2回目（平成29年9月29日）は、ブルキナファソ、ブルンジ、コンゴ民主共和国、エチオピア、リベリア、マラウイ、ルワンダ、ウガンダの8カ国から13名が参加しました。研修会では、日本の橋梁の維持管理や技術者教育の実態について説明したほか、iMecのコンクリート教材部材を用いた打音点検や鉄筋探査、赤外線サーモグラフィなどの体験学習を行いました。



昨年度より、iMecで実施する講習会に対して高専機構から「准橋梁点検技術者」と「橋梁点検技術者」の資格認定を行っています。この資格は国土交通省の登録資格として認定されており、国土交通省や地方自治体が発注する橋梁点検業務に関する資格要件を満足することになり、資格の有効活用ができるようになりました。

平成29年4月28日、国土交通省（他5省）主催の第1回「インフラメンテナンス大賞」で、舞鶴高専社会基盤メンテナンス教育センターの「地元のインフラを地元で守り次世代へと継承する建設技術者育成活動」が「メンテナンスを支える活動部門」で国土交通省優秀賞を受賞しました。記念すべき第1回のインフラメンテナンス大賞を受賞できたことは大変光栄であり、またiMecの活動を支えてくださる各関係機関、各関係者の方々あつての受賞であり、大変感謝しております。今後も地域固有のニーズに応えるインフラメンテナンス技術者の人材育成にますます尽力していきます。



国際交流センター

国際交流センター長 竹澤 智樹

1. 海外協定校からの受け入れ（キングモンクット工科大学サマー・トレーニング）

平成29年6月12日（月）から7月15日（土）にかけて、協定校のタイ王国キングモンクット工科大学（KMITL）の学生4名（男子）をインターンシップ生として受入れた。KMITLからの受け入れは下に述べる中部日本海高専国際化推進委員会の5高専で連携して行っている。

タイ留学生と引率教員（Dr. Sompob Polmai）を関西空港でケイ教員が出迎え、岡田、藤田、石川教員がオリエンテーションを行った。今年度は電気情報工学科で研修を行い、平地教員と金山教員が指導を担当した。専門の研修に加え、保健体育Ⅲ（畠山教員、斎藤教員）、応用解析1（奥村教員）、電気情報工学実験ⅣA（片山、丹下教員）の授業を参観し、保健体育では剣道、柔道の体験もした。華道部（畑教員担当）では、コーチの藤岡先生にご指導いただき、体験交流の機会を持った。また、市内見学（金山教員）や、神戸見学（丹下教員）を実施した。最後に、本校学生、指導教員、教職員等を交え、報告会を行い、斎藤校長より修了証が授与された。報告会の模様はスカイプでKMITLに中継された。

2. 海外インターンシップ

専攻科1年生を対象に、タイとマレーシアで夏季休業期間内の約2～3週間で実施する海外インターンシップを計画した。3名の応募があり、タイ日進製作所に1名（機械制御システム工学コース、期間：8/15-8/25）、タイのKMITLに2名（機械制御システム工学コース1名、建設工学コース1名、期間：8/28-9/8）を派遣した。Malaysia-Japan International Institute of Technology（MJIT）（クアラルンプール）への派遣を希望する学生はいなかった。



平成29年度 海外インターンシップ
（タイ日進製作所）

3. 海外研修旅行

研修旅行WG（座長：高谷教務主事）の要請を受け、現地の日系企業等との連絡調整は国際交流委員の生水教員、丹下教員、石川教員が、協定校を含む各大学との連絡調整は藤田教員と竹澤が行なった。下に各学科の主な訪問先、引率者、旅行期間を示す。

機械工学科 [ベトナム]：交通通信大学、エンケイ・ベトナム（室巻教員、山田教員）

電気情報工学科 [台湾]：國立聯合大學、台湾デンソー（船木教員、平地教員）

電子制御工学科 [台湾]：國立高雄第一科技大學、アルバック台湾（清原教員、伊藤教員）

建設システム工学科 [ベトナム]

：ハノイ建設大学、ハロン湾・ニヤッタン橋見学（尾上教員、渡部教員）

期間：平成29年11月14日（火）から18日（土）まで

なお、今年度も外務省から渡航に対し注意が出たため、タイへの訪問は見送った。

4. その他の活動

- ・第19回 中部日本海高専国際化推進委員会（主幹校、舞鶴高専）

開催日時、場所：平成29年9月11日（月）、金沢勤労者プラザ

参加高専：長岡、富山、石川、福井、舞鶴高専

議題：前回会議議事要旨確認、海外インターンシップ開拓の報告、KMITL等の留学生受け入れに関する情報交換

- ・平成29年度第3ブロックグローバル高専事業「グローバルに活躍する若者を育成する エンパワメントプログラム・2017夏（英語キャンプ）」（主催：岐阜高専）への学生派遣

期間：平成29年8月28日（月）～9月1日（金）、派遣学生：専攻科 電気電子システム工学コース1名

- ・平成29年度「グローバルマインド養成キャンプin TUT」（主催：豊橋技術科学大学）への学生派遣

期間：平成29年9月11日（月）～9月13日（水）、派遣学生：電子制御工学科4年1名

- ・「トビタテ！留学JAPAN」奨学金申請支援（高校生コース4名、大学全国コース2名が応募）

留 学 生 部 会

留学生部会長 高谷 富也

1. 在籍状況について

本年度、本校には国費外国人留学生3名、マレーシア政府派遣留学生1名の計4名の留学生が在籍しています。所属学科、学年等は次表のとおりです。高専の留学生は、3年次に編入学し、本人が学習を希望する学科に受け入れられます。

平成29年4月現在

名前（通称名）	性別	国 籍	所属学科・学年	入学年度	備考
チュカ	女	モンゴル	建設システム工学科5年	27	国費留学生
アーミー	男	タイ	電子制御工学科4年	28	国費留学生
リキ	男	マレーシア	電子制御工学科3年	29	政府派遣留学生
イポリテ	男	ルワンダ	建設システム工学科3年	29	国費留学生

平成30年3月には、チュカさん（千葉大学に編入学）が卒業しました。

2. 留学生支援について

留学生の勉学及び日常生活を支援するため、本部会（部会長：教務主事）を開催して当該年度の事業計画を協議しています。留学生支援として見学旅行及び交流会の他に、相談員（チューター）等に経費支弁を行っています。

また、留学生用教材の購入、日本語教室の設備充実を図っています。

平成29年度行事

近畿地区留学生交流会：10月7日（土）・8日（日） 1泊2日 当番校：奈良高専

東大寺見学・にぎり墨製作体験・平等院見学・抹茶作り体験等

本校参加者：留学生4名、清原教員 計 5名（4国立高専参加者 留学生34名、引率教職員 7名）

見学旅行：12月16日（土）・17日（日） 1泊2日

永平寺見学・そば打ち体験・恐竜博物館見学・ひがし茶屋街散策・箔座金箔体験・

金沢21世紀美術館見学等

参加者：留学生3名、玉田教員、嵯峨学生課員 計 5名

学内交流会：12月12日（火）午後16時30分～ 、青葉会館学生食堂

参加者：留学生、チューター、寮生会役員、学生会役員、卒業留学生クラスメート、
教職員 約40名

3. 留学生の地域交流について

舞鶴国際交流協会との懇話交流会

6月18日（日）田辺城・西市民プラザ 4Sアーミー、3Sリキ、3Cイポリテ参加

4. 次年度の受入予定について

平成30年度は国費外国人留学生1名（ラオス）、モンゴル政府派遣留学生1名が新たに3年生に編入学することになります。

なお、国費留学生は東京日本語教育センターで、モンゴル政府留学生は本国で1年間日本語の勉強をしてから、本校に入学する予定です。

知的財産委員会

知的財産委員会委員長 平地 克也

特許セミナーの開催

本科4，5年生を対象とした知的財産セミナーを平成29年11月22日（水）に開催しました。

弁理士 佐々木達也氏および田中咲江氏に「知的財産権に関する講義および演習」として、身近な知的財産権の紹介、知的財産統計クイズ、特許紛争の紹介と最近の知財の話題、課題→発明→特許を考える演習などを実施いただきました。具体例を交えながら特許に関する基礎知識、また社会人になるに当たって最低限必要な特許の知識を学びました。非常に興味深く聞き入る学生が多く、積極的にクイズや演習を解答する学生たちの姿が見られました。



情報セキュリティ推進委員会

情報セキュリティ推進委員長 片山 英昭

情報セキュリティ推進委員会は、本校の情報セキュリティに関わる専門的及び技術的問題の審議と、情報セキュリティの推進を行うことを目的にしている。

標的型攻撃やフィッシング詐欺などは年々巧妙になってきており、ランサムウェアなどでは多くの派生が生まれてきている。そのため、これらすべてに対してセキュリティ対策をとることは困難になってきている。また大学で情報漏えいがあり、ニュースとなったように、ターゲットも企業だけではなく、研究・教育機関にも広がっている。このようなことから、日常業務でコンピュータを利用する私たち教職員は、セキュリティ意識を向上させていく必要がある。そこで、高専機構では、セキュリティ対策の一環として、メールによる訓練を行っている。今年度も、本校においてもこの訓練に参加することで、向上に努めている。

各高専で行っている IT 資産管理について、IT 資産管理ソフトウェアが今年度から株式会社内田洋行の「ASSETBASE」に変更された。昨年度まで使用していた「AssetView WEB」（株式会社ハンモック）の削除と、「ASSETBASE」の新規インストールの依頼を全教職員に行った。また ASSETBASE による IT 資産調査を実施しているところである。

また、高専機構全体で、マルウェアソフトウェアの導入が行われることに決まった。本校では、現状使用しているウィルス対策ソフトウェアの有効期限の来年度 7 月までに更新を行う予定である。そのために、他高専に先駆けて、試験的導入を行うこととしたが、現時点では機構本部より情報が得られていないため、マルウェアソフトウェア導入の環境構築は未だ進んでいない。

機構本部による情報セキュリティ監査が 2016 年 8 月 29 日～8 月 31 日にあり、情報戦略推進室の監査担当者より、○組織への周知状況、○情報資産の管理方法、○実施手順の整備状況、○2013 年の監査結果への対応などについて指摘を受けた。この監査結果を受け、情報資産の管理手順のフローについて、現状に即したフローへの見直しをはかり、教職員に周知をはかった。また 2013 年に監査時に指摘を受けたグループウェアについて、「GroupSession」から「desknet's NEO」への更新を行い、10 月より運用を開始した。今後は、情報セキュリティ管理委員会と連携して実施手順書の整備、教務委員会と連携して e-Learning システムの更新、メールの外部転送の運用方法の見直しを実施していきたい。

企 画 室

企画室長 奥村 幸彦

1. 年間活動の概要

舞鶴高専の第3期中期計画に基づき平成29年度計画の策定と、各部門、各学科、委員会等への周知、年度計画の取りまとめ、中間フォローアップ、および年度末の成果の取りまとめを行った。概算要求事項（営繕要求）の必要性和緊急性から見た順位決定や施設設備に関するマスタープランを検討している。以下に企画室が主として行った代表的な活動を以下に示す。

2. 男女共同参画に関する講演会

6月22日（木）、本校の女子学生と教職員を対象にして、男女共同参画に関する講演会「題目：まずは本校OGの進路とリアルな声から10年後の自分を想像しよう」（講師：芦澤恵太氏（進路指導副委員長・就職指導チーフ、写真参照））を開催した。講演会では、卒業生へのアンケート結果の紹介と共に、女子学生の進路について講演していただいた。本講演会は男女共同参画推進をめざし、本校の女子学生を支援するために実施する女子学生交流会に併せて開催した。（女子学生93名、教職員20名参加）

3. 女子学生交流会

6月22日（木）、本校の女子学生を対象として女子学生交流会を開催した（学生委員会との共催）。この交流会は、男女共同参画社会の推進を目指し、女子学生の過ごしやすい学校を実現するために女子学生支援の情報提供を行うことおよび、学校環境改善についての意見を挙げることを目的として、平成25年より実施している。当日は本科および専攻科の女子学生93名が参加し、学校の設備や行事の改善について活発な話し合いが行われた。女子学生諸氏の意見を今後の学校の改善に取り入れている。今年度の舞鶴高専の取り組み事例（女子学生がより快適に学べる修学環境の取り組み事例）を具体的に以下に示す。

今年度は特に、生活の基盤である寮の設備に力を入れた。

- ・学寮1号館4階（女子寮）にシャワー3基の設置 3月
- ・学寮管理棟2階（女子寮）の留学生部屋にキッチンの取付けを行った。3月
- ・学寮管理棟2階（女子寮）の補食室を宿舍部屋に変更した。（寮室の十分な確保のため）3月
- ・捕虫器の設置（学寮：虫が多いと連絡があった個所）8月 など。



芦澤恵太氏（進路指導副委員長）の講演



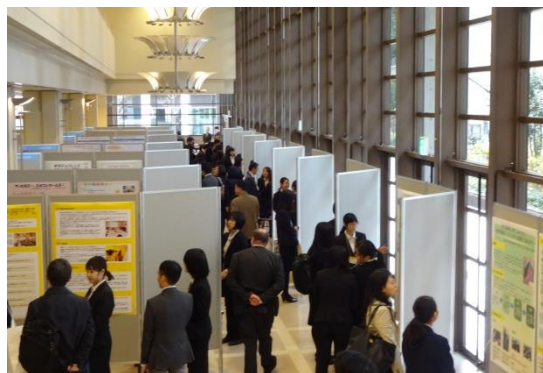
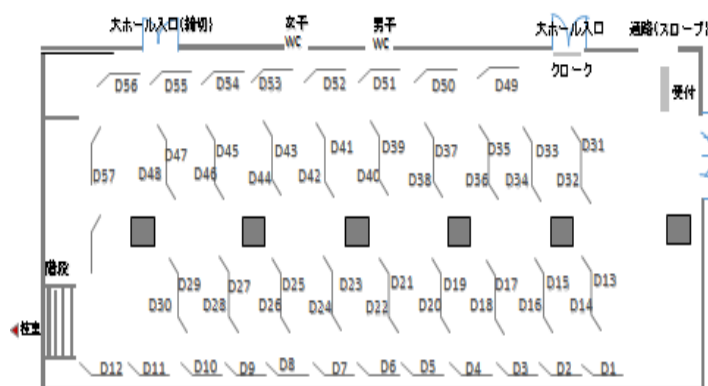
交流会の様子

4. 高専女子フォーラムin関西の参加および発表

高専女子フォーラムin関西の目的は、近畿地区高等専門学校における学生支援活動の一つとして、女子学生のキャリア教育の場とするとともに、高専女子学生による研究紹介、学生生活紹介、高専教育紹介を通じて、高専学生の実力を企業関係者や中学生および保護者に向け発信する場とするものである。

12月23日（土）、機械工学科・4年生の青山結香さんが「題目：設計製図Ⅲ（4年機械工学科）の取り組みについて」を、電気情報工学科4年生の佐々木小鈴さんと鳥居なぎさんが「題目：創造工学と地域貢献～電動車いすの改良とイルミネーション専用電源の製作～」を、電子制御工学科4年生の小谷文乃さん、電子制御工学科3年生の北ヶ市七海さんと松岡優実さんが「題目：電子制御工学科で得たロボット製作の技術と経験」を、建設システム工学科4年生の長谷川真夕さんと村尾瞳さんが「題目：マイヅルケンセツ

「ガール2017」を、建設システム工学科4年生の小田玲華さんと電気情報工学科3年生の碓井璃菜さんが「題目：舞鶴高専の女子寮生事情」を企業関係者や中学生や保護者に向けて発表した。（参加教職員：10名）加えて、近畿地区の高専以外として、北九州高専、鈴鹿高専、八戸高専、津山高専、呉高専、米子高専が参加した。来年度の高専女子フォーラムin関西2018は舞鶴高専が主幹校となる。



発表企業数：47社、展示ブース（関西7高専＋関西以外の6高専、近畿大学11月ホール）と来場客



本校学生による説明（セッション：学生生活紹介 左：建設システム工学科、右：電気情報工学科）

5. 施設設備に関するマスタープラン

企画室会議において、施設整備計画の優先順位を決定している。1位：女子寮の改修・改築、2位：基幹・環境整備工事の実施、3位：実習工場の改築、4位：図書館の改修であるが、今年度は、女子寮の改修・改築が文科省への設備要求に通らず（理由は改修・改築経費が多額であったため）、基幹・環境整備工事について実施された。具体的には、(1) 本館ボイラーの煙突（アスベスト仕様）の撤去および(2) 共同テクノセンター（低学年棟）の煉瓦タイルの補修工事等が実施されている。マスタープランの詳細な内容については「舞鶴工業高等専門学校施設整備計画」に取り纏めている。

6. 科学研究費申請に関する講習会

これまで企画室では外部講師を招いて科学研究費獲得のための講習会を毎年開催してきた。実際に審査員をされた先生から見た、審査基準を満たすポイントや科研費獲得のためのポイントなどを具体的にご教授頂いてきた。今年度からは、機構本部に本機能が移っている。各高専では対応が困難な分野について査読を実施する「国立高専科研費計画調査査読者ネットワーク」が構築されたとともに、機構の研究推進・産学連携本部において科研費採択率向上に向けた取り組みとして、講習会の企画およびGI-netによるビデオ配信が実施されることとなった。

7. その他：企画室としての会議参加

平成29年度第3ブロック男女共同参画推進担当者会議（平成30年3月15日（木）岐阜市）
外部評価委員会（2月26日（月）、舞鶴高専大会議室、14：20～）など。

評 価 委 員 会

評価委員会副委員長 金山 光一

1. 自己点検・評価の実施

平成28年度の本校の年度計画と実績について自己点検・評価を実施し、本校ホームページで自己点検・評価書を公表した。点検項目は、高専機構が定めた第3期中期計画およびこれに基づいて定められた平成28年度計画に対応させて本校で設定した平成28年度計画に記載されている57項目である。

計画通りの活動が行われた案件は51項目、50%を超えているが100%に満たなかった案件が4項目、活動は行われたが計画に対して50%以下の実施となった案件が2項目確認された。

平成29年度の年度計画に基づく実績のとりまとめは平成30年度初めに完了することから平成29年度の自己点検・評価書の完成は平成30年度となる。

2. 外部評価委員会の開催

平成29年度の外部評価委員会委員は下記の学外有識者の皆様に就任していただいた。

長岡技術科学大学	学長	東 信彦 氏
奈良工業高等専門学校	校長	後藤 景子 氏
舞鶴市中学校長会	会長	奥水 孝志 氏（舞鶴市城北中学校長）
株式会社日進製作所	総務部長	田中 孝幸 氏

平成30年2月26日に、本校で外部評価委員会を開催した。奥水孝志委員は舞鶴市教育委員会主催の校長会議のため欠席であり、代理として城北中学校教頭の塩見登志彦先生に出席していただいた。議題は以下の3項目で、本校の各担当教員から状況説明を行った。

1. 平成28年度の年度計画・実績と平成29年度計画・進捗状況について（企画室長 奥村幸彦教授）
2. COC、COC+事業について（プロジェクト副責任者 平地克也教授）
3. 学力向上の取組について（教務主事 高谷富也教授）

委員からの質問・コメント等の議事内容は、本校ホームページに掲載される。



校長挨拶



外部評価委員



年度計画・進捗状況説明



質疑応答

F D ・ I C T 部 会

FD・ICT部会長 奥村 昌司

本部会は評価委員会の下部組織として、主として教員の授業方法、教育指導等の改善に資する目的で、種々の取り組みを行っている。今年度の部会員（協力職員を含む）の構成と役割分担は表1のとおりである。

表1 FD・ICT部会構成員と役割分担

氏 名	所 属	主たる役割	氏 名	所 属	主たる役割
奥村 昌司	自然	全体の連絡調整	窪田 仁	総務課	総務課連絡調整
山根 秀介	人文	教育連絡会議、 授業アンケート	松梨 英輔	学生課	学生課連絡調整
亀谷 睦	自然	授業アンケート	吉田 善弘	総務課	全体事務の掌 握、連絡調整
生水 雅之	機械	授業アンケート	石井 貴弘	支援センター	授業アンケート 設定及び集計
竹澤 智樹	電気情報	授業アンケート	山崎 基史	教務係（協力）	授業アンケート 設定補助
奥村 幸彦	電子制御	授業アンケート	能勢 嘉朗	支援センター （協力）	授業アンケート
町田 秀和	電子制御	授業アンケート			
毛利 聡	建設システム	教育連絡会議、 授業アンケート			

1. 授業アンケート・達成度評価の実施

平成25年度から、1)「シラバスに沿う授業だったか」という設問と、2) 教育理念・教育方針の認知状況調査と図書館及び情報科学センターにかかる満足度調査を、それぞれ追加した。また、平成27年度JABEE受審への対応のために平成27年度から、「自習時間の調査」と「COC関係科目の調査」の2項目を追加した。また平成28年度から、他教員の結果も含む本校で開講されている全科目の結果を参考資料として全教員に開示することになった。これは、自分のものだけでなく、他の教員の結果も見ることにより、教員間の議論が促され、学校全体の授業改善に繋がるのではないかという考えに基づくものである。

アンケートの実施期間は、前期分が平成29年9月20日～10月6日、後期分は平成30年2月26日～3月5日とした。

2. 授業参観の実施

平成30年1月12日～1月25日に実施した。全教員は他の教員の授業を一つ以上参観し、その結果を授業参観報告書にまとめ提出した。参観教員は、参観結果に基づいて自身の授業改善に参考になる点について整理できた。

3. 教育連絡会議

平成25年度から教育連絡会議の開催回数を年1回に変更している。年度ごとに主たる検討テーマを設定し、全教員を4つのグループに分けて、11月末にグループごとに会議を開催した。今年度は以下の(1)～(4)のテーマについて討議した。

- (1) 担任業務について（出欠の把握と指導、進路変更、情報共有）
- (2) 担任業務について（学習指導や原級留置率の改善、情報共有）

- (3) 平成31年度導入予定カリキュラムについて（カリキュラム策定の基本方針、現状の課題）
- (4) 講義設計・運営について
（講義方法、課題を提出しない学生への対応、学修単位科目の講義設計）

各グループでは上記の議題のうち一つをテーマとして活発な議論が展開され、それらの結果は各グループの主査から当部会へ報告された。

4. FD・ICT特別講演会

今年度の特別講演会は10月末に開催した。

日 時：平成29年10月25日（水） 14：40～16：00

講演者：野毛宏文 准教授（舞鶴工業高等専門学校 機械工学科）

題 目：「アクティブラーニング入門 ― 体験を通して」

アクティブラーニングを授業に取り入れる手法について講演いただいた。実際にアクティブラーニングを体験することもでき、今後の本校における教育の改善にむけて大変に参考になった。

5. 授業公開の実施

今年度は表2に示すとおり授業公開を実施した。

表2 授業公開実施内容

番号	授業科目	クラス	実施教員	実施日	主 査
1	日本史	1-3	牧野 雅司	H29/6/30	垂谷 茂弘
2	応用数学IIA	4E	亀谷 睦	H29/6/23	背戸柳 実
3	システム工学I	4M	室巻 孝郎	H29/6/26	谷川 博哉
4	論理回路	4E	井上 泰仁	H29/6/29	丹下 裕
5	情報処理II	2S	伊藤 稔	H29/6/23	金森 満
6	建設材料学	3C	毛利 聡	H29/6/26	四蔵 茂雄

授業を公開した教員は、学内評価者と学外評価者による授業評価、学生の意見および教員や保護者によるアンケート結果を基にして授業改善プランを検討し、報告書を提出した。なお平成26年度から、授業公開時間を従来の75分間から60分間に短縮することにより、従来は90分間の授業コマの終業ベル後に行っていた「授業公開後の主査・学内評価者・学外評価者と授業担当者との意見交換」を、授業コマ内に行うように実施スケジュールを変更した。この変更により、当該授業公開の直後のコマに授業をもつ教員も主査や学内評価者になることが可能になった。昨年度まで授業公開の実施期間が後期に固定されていた状態に対して、前期科目の授業公開が実施できないことを指摘してその改善を求める声があり、今年度は授業公開を前期に実施した。

広報委員会

広報委員会副委員長 玉田 和也

広報委員会の活動概要

2017年度の広報委員会の活動概況は次の通りである。

1. 役割分担

学校概要	玉田和也、室巻孝郎（事務部：総務係）
学校だより	尾上亮介、牧野雅司（事務部：総務係）
紀要	舩木英岳、ジョナサン・ケイ（事務部：学術情報係長）
年報	奥村昌司、舩木英岳（事務部：総務係）
ホームページ	室巻孝郎、玉田和也、高木太郎、ジョナサン・ケイ、能勢嘉朗 （事務部：総務係、教務係、財務係）
写真	高木太郎、牧野雅司（事務部：総務課）
その他広報	玉田和也、尾上亮介、奥村昌司

2. 広報誌等の刊行について

平成30年度「学校概要」は、全体のコンセプトを整理し、より軽く、より内容が伝わりやすい内容とするための更新を行った。「学校だより」は、第135～137号を発行し、現在、第138号（4月予定）の編集集中である。「紀要」は、広く原稿を募り、近日中に刊行される予定である。「ホームページ」は本年度も学内外の活動に関して広く情報を募り、多くの記事掲載作業を行った。記事の投稿は、学内に定着しつつ有り、学校の情報発信ツールとして活用されている。「年報」は、例年通り編集発行作業が進められている。「年報」は昨年度よりホームページで公表することになったため、記載する情報や写真への正確性や肖像権への配慮等について留意していただくことをお願いします。

また、舞鶴高専のホームページに入試広報として「中学生の皆様へ」のバナーを追加し、舞鶴高専の受験を目指す中学生に対する利便性の向上を図った。さらに「舞鶴高専地域テクノアカデミア」のバナーを追加し、舞鶴高専をご支援いただく企業の皆様との産学連携活動推進に努めた。



3. その他

「学外連携広報」については、昨年度同様に進められている。「写真」についてはイベントや季節ごとに撮影が実施されている。今年度、学校案内の一助としてグーグルストリートビューのエリア撮影を行った。

教育プログラム(MDE)委員会

教育プログラム(MDE)委員会委員長 西山 等

1. JABEE説明会について

本年度は、下記の通り、JABEE説明会を実施した。

4月24日(月) 本科4年生全員対象：152名参加

4月25日(火) 専攻科1年生全員対象：18名参加

4月27日(木) 本科5年生専攻科進学希望者対象：42名参加

2. 「総合システム工学」教育プログラム修了生数について

2017年度の「総合システム工学」教育プログラム修了生は、電気電子システム工学コース11名、機械制御システム工学コース5名、建設工学コース6名、計22名である。現在までのプログラム修了生の数を以下に示す。

修了年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
プログラム修了生	21	16	17	15	16	18	22
専攻科修了生	20	17	17	15	16	19	22

3. 教育プログラム(MDE)委員会の活動記録

○平成29年4月13日(木) 第1回教育プログラム(MDE)委員会の開催

1. 他高専からの専攻科入学生の対応について
2. 平成28年度教育点検システムにおける点検項目に関する報告書について
3. 4年生以上の授業に係わる答案・レポートの整理について
4. JABEEと日工教共催 国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ(第9回)の参加報告について
5. JABEE説明会について

○平成29年6月8日(木) 第2回教育プログラム(MDE)委員会の開催

1. 専攻科建設コース授業科目の開講時期の変更について
2. JABEE説明会出席状況について

○平成29年7月27日(木) 第3回教育プログラム(MDE)委員会の開催

1. エンジニアリング・デザイン演習の再編について
2. 4年・5年次における専門共通科目の削減の要望について
3. 他高専からの専攻科合格者について

○平成30年2月8日(木) 第4回教育プログラム(MDE)委員会の開催 (専攻科委員会との合同開催)

1. 専攻科2年生の修了認定について
2. 専攻科2年生の教育プログラム修了認定について

○平成30年2月8日(木) 第5回教育プログラム(MDE)委員会の開催

1. 平成30年度科目の流れ図について
2. 基礎工学と専門工学の概念図について
3. JABEE-日工教共催 国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ参加報告
4. JABEE継続の判断時期について(運営会議報告)
5. 平成29年度教育点検システムにおける点検項目に関する報告書について

4. JABEE-日工教共催「国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ 第10回」への参加

最新の技術者教育の動向を知るため、本ワークショップに本委員会から毎年1名参加している。第10回は平成29年12月16日(土)に芝浦工業大学豊洲キャンパスで開催され、石川委員が参加した。内容は、JABEE が特に重視している修了生のアウトカムズ(学習成果)に関し、欧州で普及し始めており日本でも取り組みが始まっている「ディプロマ・サプリメント(学位証書補足資料)」についての解説と、アウトカムズの適切な評価方法とその示し方に関するワークショップであった。

進路指導委員会

進路指導委員長	豊田 香
進路指導副委員長（就職）	芦澤 恵太
進路指導副委員長（進学）	岡田 浩嗣

1. 平成29年度の活動報告

1. 1 委員会報告事項、協議事項

○第1回進路指導委員会（平成29年4月3日）

- (1) 進路指導委員会の実施体制について (2) 就職活動について (3) 進学活動について
(4) インターンシップについて (5) 年間スケジュールについて

○第2回進路指導委員会（平成29年7月12日）

- (1) 今年度の実施体制について (2) 予算案について (3) 進路関係スケジュール
(4) 進路活動状況 (5) 2年生進路ガイダンスについて
(6) 進路活動報告書および就職活動報告書について

○第3回進路指導委員会（平成29年9月20日）

- (1) 進路活動状況について (2) 進路活動報告書および就職活動報告書について
(3) キャリアセミナーについて (4) 合同学校説明会について (5) 図書購入について

○第4回進路指導委員会（平成29年11月22日）

- (1) 進路活動状況について (2) 会社面談記録について
(3) 進路活動報告書および就職活動報告書について (4) 合同学校説明会について
(5) 図書購入について

○第5回進路指導委員会（平成29年12月19日）

- (1) キャリアセミナーについて (2) 予算執行状況 (3) 外部団体主催の企業説明会について
(4) 進路活動報告書および就職活動報告書提出について

1. 2 進路ガイダンス

今年度の進路ガイダンスの実績を表1に示す。進路選択の動機づけのために、本科2年生でのガイダンスを新たに実施した。また昨年度と同様に、本校進路指導委員によるガイダンスの他に、外部から講師をお招きして「身だしなみ講座」（本科3、4年生、専攻科1年生対象）および「履歴書作成講習」（本科4年生、専攻科1年生対象）を実施した。

1. 3 合同学校説明会（平成29年12月10日開催）

本科3、4年生と専攻科1年生を対象とする合同学校説明会を本校で開催した。（約180名の学生が参加し、保護者も約40名の参加があった。）今年度は11校（本校専攻科を含む）の参加があった。学生の進路選択にとって有意義な説明会となった。表2に参加校を示す。

1. 4 個別の大学説明会

合同学校説明会とは別に、大学、大学院からの要望に応じて適宜、放課後に単独の説明会を実施している。平成29年度は奈良先端科学技術大学院大学、長岡技術科学大学、大阪大学および九州工業大学（開催日程順）の説明会を実施した。

1. 5 キャリアセミナー（平成30年1月13日、14日開催）

対象は本科3、4年生、専攻科1年生およびその保護者、専攻科進学予定の本科5年生であり、参加学生数は1日目、2日目それぞれ268名、263名、保護者数は1日目が22名、2日目が10名であった。1日目、2日目それぞれ60団体（地方自治体等を含む）、合計で120団体の参加があった。

1. 6 三者懇談会

進路に係る三者懇談会を平成30年3月17日（土）、18日（日）の2日間、実施する予定である。対象学年は本科4年生ならびに専攻科1年生である。

2. 平成29年度の進路状況

2. 1 求人会社数

平成23年度以降、求人会社数は順調に増加し、リーマンショック前の平成19年度、20年度の値を超え、900社を超える企業から求人を頂いている。しかし、今般の社会情勢を考え、企業訪問や企業面談を引き続き丁寧に積み重ねる必要がある。

2. 2 進路状況

本科において、就職希望者の割合が64%、進学希望者の割合が36%である。平成27、28年度は進学希望者の割合がおよそ45%であり、平成29年度は9%程度減少した。

表1 進路ガイダンス

対象	開催日	備 考
本科1年生	H29年 4月13日	新入生合宿研修における講話
本科2年生	H29年 7月10日	進路ガイダンス（昨年の動向とこれからの心構え）
本科3年生	H29年 6月15日	進路ガイダンス（昨年の動向とこれからの心構え）
	H29年 7月 6日	進路ガイダンス（身だしなみ講座：外部講師）
	H29年 9月26日	進路ガイダンス（5年生の就職活動体験談）
	H29年 9月27日	進路ガイダンス（5年生の進学活動体験談）
	H29年12月 5日	進路ガイダンス（合同学校説明会について）
本科4年生 専攻科1年生	H29年 5月18日	進路ガイダンス（昨年の動向とこれからの心構え）
	H29年 7月 6日	進路ガイダンス（身だしなみ講座：外部講師）
	H29年 7月19日	進路ガイダンス（インターンシップ事前説明会）
	H29年 9月26日	進路ガイダンス（5年生の就職活動体験談）
	H29年 9月27日	進路ガイダンス（5年生の進学活動体験談）
	H29年12月 7日	進路ガイダンス（合同学校説明会について）
	H29年12月14日	進路ガイダンス（ガイドライン・履歴書・進路アンケートについて）
	H29年12月21日	進路ガイダンス（キャリアセミナーについて）
	H30年 2月 1日	進路ガイダンス（履歴書作成講習：外部講師）
	H30年 2月22日	進路ガイダンス（就職希望者に対する諸注意）
	H30年 2月23日	進路ガイダンス（進学希望者に対する諸注意）

表2 合同学校説明会参加校（五十音順）

岡山大学（工学部）	岡山大学（理学部）	岐阜大学
九州工業大学	京都工芸繊維大学	電気通信大学
徳島大学	豊橋技術科学大学	長岡技術科学大学
福井大学	和歌山大学	舞鶴高専専攻科

学 生 相 談 室

学生相談室長 田村 修一

1. 本年度の学生相談室スタッフ

本年度も昨年度に引き続き、人文科学部門の田村修一が学生相談室長を務めた。スクール・カウンセラーにも異動はなく、3人の先生方に昨年度に引き続き本年度も務めていただいた。他の相談員には4名の異動があり、本年度の学生相談室スタッフは以下の通りであった。田村修一（人文）、畑恵里子（人文）、木村健二（自然）、村上信太郎（機械）、井上泰仁（電気）、高木太郎（制御）、渡部昌弘（建設）、松梨英輔（学生課長）、由良耕士（学生課長補佐）、清水智苗美（看護師）、黒田友基（カウンセラー[精神科医]）、中川亜希（カウンセラー[臨床心理士]）、坂口なぎさ（カウンセラー[臨床心理士]）。

2. 相談体制・相談件数

一昨年度、痛ましいことに本校から自死者が出てしまい、その対応としてカウンセラーの来校回数を臨時に増やすという経緯があったが、そのことを踏まえ、自殺予防の対策の一つとして、臨床心理士のカウンセラーの来校日を以前の原則週2回から週3回とすることを定着させた。この体制は来年度も継続される予定である。精神科医のカウンセラーには従来通り月1回（本年度は原則第2水曜日）来ていただいた。教職員スタッフによる相談は「随時」であるが、例年、その多くは清水看護師に担っていただいている。本年度の相談件数は延べ736件、うち教職員への相談件数は348件、精神科医への相談件数は12件、臨床心理士への相談件数は376件であった。臨床心理士の来校日を増やした昨年度並みの相談件数であった。

3. 「こころと体の健康調査」・心理テストの実施

「こころと体の健康調査」を昨年度同様ゴールデン・ウィーク明けにおこない、面談を夏休みに入る前には終える体制を取った。アンケートの結果による希死念慮リスク「高」83名に対し、配慮レベル「高」は105名となった。数値としては例年並みである。昨年度新規に導入し11月に実施したhyper-QU（1～4年）とEQS（5年、専攻科）を、本年度は7月に実施した。「要支援」と判定された学生の面談など、後期の早い時期から支援・見守りなどの資料とすることのできる体制に改めた。

4. 教職員研修の実施ほか

6月16日（金）、スクール・カウンセラーの坂口なぎさ先生に、新任教職員対象の、（学生の）メンタルヘルスに関わる研修会を実施していただいた。8月3日（木）には、やはり坂口先生に教職員全員を対象とする「配慮の必要な学生の理解と対応」と題された研修会を実施していただいた。ほか、本年度新たに中川亜希先生の来校日に『学生相談室 de ティータイム』というイベントを実施した（12月19日火曜放課後、於学生相談室）。相談室が満杯になるほどの学生の訪問があった。

5. 各種研究会、研修会、協議会への参加

学生相談に関する研鑽を積むため、また他校との学生相談に関する情報交換のため、下記に示す各種研究会、研修会、協議会に参加した（[]内は参加者名、敬称略）。

○近畿学生相談研究会（KSCA）

6月24日（土）立命館大学 大阪いばらきキャンパス [田村、畑]

12月 2日（土）追手門学院大学 [田村、清水]

○全国国立高等専門学校学生支援担当教職員研修

10月10・11日（火・水）国立オリンピック記念青少年総合センター [田村]

○近畿地区カウンセリング連絡協議会

11月24日（金）I-siteなんば2階 S1（本年度の主管校は大阪府大高専、[田村、清水]）

○全国学生相談研修会

12月17日（日）～19日（火）東京国際フォーラム [畑]

入 試 広 報 部 会

入試広報部会長 山田 耕一郎

1. 平成29年度役割分担

平成29年度の役割分担を次の表（敬称略）に示す。

業 務	責任者	
中学訪問 入試説明会	川田	児玉（0C・P0との連携） 内海（パンフレット・HPとの連携）
パンフレット チラシ 冊子	内海	西山（H28年度アドバイザー） 児玉（0Cとの連携） 徳永（P0との連携）
オープンキャンパス（0C） プレオープンキャンパス（P0）	児玉（0C） 徳永（P0）	西山（H28年度アドバイザー） 木村（主に、学生委員会管轄に関すること） 牧野（主に、寮務委員会管轄に関すること）
キャンパスウォーク 女子中学生体験会	野毛	西山（H28年度アドバイザー） 木村（主に、学生委員会管轄に関すること） 牧野（主に、寮務委員会管轄に関すること）
新入生アンケート	野毛	川田 牧野（分析・各種業務へのフィードバック）
出前授業 公開講座	野毛	丹下（E科担当・テクノとの連携） 徳永（C科担当） 川田（S科担当）
HP（入試広報）	内海	牧野（広報委員会との連携）
各種説明用PP	川田	児玉（0Cとの連携） 徳永（P0との連携）
ポスター・刊行物	児玉	木村

2. プレオープンキャンパス

プレオープンキャンパス開催、参加人数について以下の表に示す。

	日 時	場 所	参加生徒数	参加保護者数
舞鶴	H29. 5. 21（日） 午前 9:00～12:30 午後 13:00～16:30	本校	46名 34名	51名 45名
京都	H29. 6. 11（日） 12:30～16:00	京都テルサ	76名	87名
三田	H29. 6. 25（日） 13:00～15:30	三田市ウッディタウン 市民センター	30名	45名

3. オープンキャンパス

オープンキャンパス開催、参加人数について以下の表に示す。

	日 時	場 所	参加生徒数	参加保護者数
1日目	H29. 8. 11（金） 8:30～15:20	本 校	221名	289名
2日目	H29. 8. 12（土） 8:30～15:20		178名	231名

4. 中学校訪問

中学校訪問について以下の表に示す。

	期 日	訪問校数	備 考
第1期	～H29. 5. 12 (金)	59校	湖西 (6) , 但馬 (19) , 丹後 (11) , 中丹 (10) , 舞鶴 (7) , 嶺南 (6)
第2期	～H29. 6. 2 (金)	114校	湖東 (1) , 東近江 (7) , 湖南 (15) , 湖北 (7) , 大津 (5) , 京都市・山城 (69) , 南丹 (10)
第3期	～H29. 6. 16 (金)	43校	阪神北 (13) , 丹波 (12) , 北播磨 (11)
第4期	～H29. 7. 14 (金)	63校	湖南 (3) , 湖北 (11) , 京都市・山城 (39) , 東近江 (6) , 大津 (4)

5. 学校説明会

個別に中学校から依頼を受け、22校の中学校で学校説明会を行った。

6. 入試説明会

9～11月にかけて本校、京都、三田、守山、大津、大阪、亀岡、豊岡、福知山で中学生、保護者、中学教員、塾講師向け入試説明会を計13回行った。全体で、生徒218名、保護者280名が参加した。

7. その他の入試広報イベント

その他の主な入試広報イベントについて以下の表に示す。下の表の他に、公開講座等を行い、それらのイベントにおいて学校説明を行った。

イベント	日時	場 所	参加生徒数	参加保護者数
学生生活紹介	H29. 6. 10 (土) 13:15～16:35	本 校	37名	49名
キャンパスウォーク	H29. 11. 4 (土) 10:30～ H29. 11. 5 (日) 10:30～	本 校	51名 62名	80名 95名
女子中学生一日高専体験会	H29. 12. 9 (土) 13:10～15:15	本 校	28名	30名

教育改善委員会

教育改善委員会委員長 亀谷 睦

教育改善委員会は、本校の継続的改善システムを円滑かつ効果的に機能させるための活動を行っている。具体的には、教育プログラム（MDE）委員会および評価委員会でCHECKされた事項についてACTIONを行う役割であり、当委員会が必要と認めるときは、各学科・部門及び他の委員会に提議、付託または協力要請を行うことができる。今年度実施した事項を以下に挙げる。

1. 平成28年度の教育プログラム（MDE）委員会の教育プログラム点検結果について

教育プログラム（MDE）委員会で作成された「平成28年度教育点検システムにおける点検項目に関する報告書」について第1回委員会（7月12日開催）において審議し、単なる誤植の類いは当委員会において修正し、確認が必要と判断されたものについては各点検部署宛に修正依頼を行った。それらの回答内容は、その後のメール審議を経て、本校の教職員用グループウェアdesknet's NEO（従来のGroup Sessionの後継）に掲載された。

また、教育プログラム委員会から、平成29年度の点検項目について修正提案が出され、これについても第1回委員会で議論し、提案は了承された。

2. 開催された委員会の出席状況について

平成28年度の委員会は2回開催されたが、29年度は1回だけの開催だった。その出席状況に関して、若干の苦言を呈しておきたい。事前に候補日を複数個挙げて日程調整を行い、委員が最も集まりやすい日時を選んだにも拘らず、当日に予想外の欠席者が何人か出たことは残念であった。来年度はこのようなことがないように、委員各位のご協力をお願いしたい。

3. グループウェアへの掲載の遅れについて

上述の1. で報告した平成28年度の点検報告書のグループウェアへの掲載が、事務局との連絡調整の不備により大幅に遅れ、平成30年2月にずれ込んでしまった。この遅れについてお詫びするとともに、今後は迅速な掲載を行いたい。

交通対策検討委員会

交通対策検討委員長 小野 伸一郎

1. 登下校時の送迎車両の動線周知

安全のため登下校時の送迎車両は、正門から進入し、噴水の手前のロータリーで乗降する動線が守られるよう周知を図った。

2. 学生駐車場と外来・非常勤教職員駐車場の運用

本年度より第一駐車場が学生駐車場と外来・非常勤教職員駐車場との共用運用となった。教職員駐車場（第三駐車場）の台数超過によるものである。学生駐車場と外来・非常勤教職員駐車場との境界が曖昧であるため、指定駐車違反があった。教職員にも指定位置への駐車をお願いし、学生には学生委員会による駐車指導を行った。荷物運搬などの必要がある場合を除き、校内への車両乗り入れ禁止について周知した。

3. イベント時の駐車場等の使用可否判断及び周知

イベント時の駐車場使用について総務係で情報集約を行い、調整のうえ、学内周知を行った。

4. 土砂崩れによる駐車場への動線

台風21号により、学校周辺の土砂崩れが生じ学寮、第三駐車場および学生駐車場の出口の動線が遮断された。このため復旧されるまでの期間、駐車場へ動線を正門から進入する措置をとった。学生委員会および総務課の協力により混乱はなかった。



台風21号による土砂崩れ（第3駐車場出口付近）
（2017年10月23日撮影）

5. 積雪時の駐車

積雪時の登校時の事故防止と円滑な駐車を図るため、職員による除雪作業と学生委員会による駐車指導を行った。

安全衛生委員会

安全衛生委員会委員長 児玉 圭司

本委員会は、教職員の安全管理及び衛生管理の向上を図るため（舞鶴工業高等専門学校安全衛生管理実施規定 第11条）に設置されており、重要な事項について調査、審議を行っている。今年度の委員会構成は以下のとおりである。

表1 平成29年度安全衛生委員会構成

職 名	氏 名	任 期	備 考
准教授	児玉 圭司		一号委員：委員長
医師	西村 正人		二号委員：産業医
事務職員	中村 仁美		三号委員：衛生管理者・副委員長
総務課長	窪田 仁		四号委員：安全管理者、五号委員
看護師	清水智苗美		六号委員
助教	山根 秀介	H29. 4. 1～H30. 3. 31	七号委員：人文科学部門
教授	西山 等	H29. 4. 1～H30. 3. 31	七号委員：機械工学科
助教	毛利 聡	H29. 4. 1～H30. 3. 31	七号委員：建設システム工学科
技術職員	植田 邦明	H29. 4. 1～H30. 3. 31	七号委員：教育研究支援センター
総務係長	芦田 康弘		オブザーバー
総務課課長補佐	岸脇 智英		オブザーバー

1. 平成29年度のスローガン

今年度の当委員会のスローガンを「作業環境の維持と安全確保」と定めた。施設・設備・備品の異常・破損の有無、備品の転倒・落下の危険性、通路の安全の確保といったチェックポイントを例示し、安全性の向上に努めた。

2. 定期巡視の実施

委員（産業医、オブザーバーを除く）8名を4班に分け、例示されたチェックポイントを目安に、学内の定期巡視（毎週1回）を実施した。なお、学内をA～Eの5地区に分けて、各班が順に各地区を担当するように計画した。巡視結果は委員会に報告され、定例委員会で審議された。

3. 定例委員会の開催

毎月1回定例の委員会を開催することを基本とし、各班からの巡視結果について審議した。審議結果は保留、連絡（調査）、連絡（対策）の三つに分けて対応した。「連絡」と判断された事項については、該当部署または該当教職員に通知した。「保留」は学校としての対応が必要と判断した事項で、施設係を中心に検討していただいた。また、定例委員会では毎回、西村産業医より、本校における健康管理および健康の保持増進に関するコメントをいただいた。

4. 安全衛生環境の改善

定例委員会で審議された事項について、当該部署や事務部へ連絡・調整を行った。これにより、安全衛生環境が改善された。本年度は、衛生に関する事柄についても指摘・対応したこと、実習工場でアクリル板を切断する際に生じる異臭への対策に注力したこと、などが特筆されよう。

5. ストレスチェックの実施

本校教職員を対象にストレスチェックを実施し、約91%の教職員が受検した。京都大学環境安全保健機構健康科学センター長・川村孝先生の協力を得て、本人申し出に基づく面接指導も行われた。

人権侵害・ハラスメント防止委員会

人権侵害・ハラスメント防止委員長 小野 伸一郎

1. 人権侵害・ハラスメント防止委員会

委員会を開催し、人権侵害・ハラスメント防止のガイドライン、対応および委員の委嘱期間について確認した。

2. 人権侵害・ハラスメント防止講演会

9月13日（水）、教職員を対象に、福岡ともみ氏（株式会社京都ウィメンズカウンセリング京都 講師）による講演会「ハラスメントの防止と解決への心得」を実施し、49人が参加した。



ハラスメント防止ガイドライン



人権侵害・ハラスメント防止講演会

緊急連絡／安否確認システムワーキンググループ

座長 高谷 富也

本ワーキンググループは、危機管理委員会の下部組織として、緊急連絡／安否確認システムの管理・運用およびシステムを用いた訓練を継続的に行っている。今年度のワーキンググループの構成員を表1に示す。

今年度は、本システムを用いた安否確認訓練を、学生及び教職員を対象に、6月28日（水）に1回のみ実施した。実施までの手順は昨年度とほぼ同様であり、①特活で担任から訓練実施について説明していただく、②アドレス変更した者は再登録をするよう担任から指導していただく、③緊急連絡が正常に送受信できない者は相談窓口（情報科学センター）へ行くよう担任から指導していただく、とした。手順③について、昨年度は、登録確認のメールを学生に一斉送信し、正常に送受信できない者のリストをクラス別に集計し、担任より相談窓口へ行くよう指導していただいた。しかし、今年度は安否確認訓練の案内直前に緊急連絡メールを送信したことより、登録確認メールの送信を止め、クラス毎のリストも作成せず、緊急連絡メールが受信できなかった学生に相談窓口に行くように指導していただいた。

表2は今年度の安否確認訓練結果である。訓練における返信率は78.6%であり、昨年度の6月実施の71.7%と比較して約7%増加しているが、昨年度の10月実施の84.0%より約5.4%減少している。10月実施では、6月実施時に返信がなかった学生に対して、担任を通じて指導していただいている。このことが返信率増加の要因の1つであることより、来年度は訓練前に確認メールを送信して、クラス毎に受信状況をリスト化し、担任による指導が必要と考える。また、前回の6月と比較して、学生の返信率は上昇しているが、教職員の返信率は減少している。非常勤教員の返信率が低いことは昨年度と変わらないが、事務職員の返信率が下がっている。未返信者は、職員の幅広い年齢層であることから、全体に対して何らかの対応が必要と考える。学生の返信率では、3年生が、2015年6月は62%（平均66%）、2016年6月は66%（平均72%）、今年度は73%（平均79%）と平均より低い傾向にある。その理由は不明であるが、返信率をあげるためには、3年生を対象にした対応を検討する必要がある。

緊急連絡／安否確認システムは、現在のところ、休講情報や熊情報などの緊急連絡に利用されているのみである。しかし、災害発生時などに学生の安否や緊急連絡がスムーズに行える環境を維持しておくために、安否確認の訓練は継続して実施する必要がある、来年度以降も訓練を実施していきたい。1年生のリテラシー教育時に、安否確認訓練システムの使用方法などの説明が行われることを踏まえると、今年度と同じ時期に実施することが良いと考える。ただし、今年度2回目の訓練を実施していないため、来年度の早い段階で、登録されたメールアドレスにデータ送信可能か確認を行いたい。

表1 緊急連絡／安否確認システムワーキンググループ構成員

氏 名	所 属	氏 名	所 属
高谷 富也	座長、危機管理副委員長、教務委員会	野間 正泰	学生委員会
木村 健二	学寮委員会	片山 英昭	情報科学センター
窪田 仁	総務課	松梨 英輔	学生課
福井 繁雄	教育研究支援センター	能勢 嘉朗	教育研究支援センター

表2 安否確認訓練結果

実施日	対象者	対象人数	返信有	未返信	無効回答
6月28日	学生	857名	676名 (78.9%)	181名 (21.1%)	38名 (4.4%)
	教職員	158名	122名 (77.2%)	36名 (22.8%)	4名 (2.5%)
	合計	1,015名	798名 (78.6%)	217名 (21.4%)	42名 (4.1%)

学科・部門別教員一覧 (平成30年3月現在)

人文科学部門

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
荒川 吉孝 (修士〔文学〕)	特任教授	・学級担任 (2-1)	①総合英語ⅡA, ⅡB, ⅢA, ⅢB, ⅣB, ⅤA ②現代英語Ⅰ	英文学	①シェイクスピア喜劇 ②ジェイムズⅠ世の『悪魔学』
垂谷 茂弘 (修士〔文学〕)	教授	・人文科学部門長	①人間論Ⅰ, Ⅱ ②哲学 ③宗教と「こころ」Ⅰ, Ⅱ	宗教と心理学	①ユング思想 ②力動精神医学の思想史的位置づけ
吉永 進一 (修士〔文学〕)	教授		①総合英語ⅠA, ⅠB, ⅢA, ⅢB, ⅣB, ⅤA ②現代社会と宗教Ⅰ, Ⅱ	近代宗教史	①近代仏教 ②近代の秘教思想
田村 修一 (博士〔文学〕)	教授	・学生相談室長 ・学生主事補	①現代文Ⅰ, Ⅱ ②総合国語ⅡA, ⅡB ③日本語ABCDEF ④日本文化論	日本近代文学	①芥川龍之介 ②阿部知二 ③日本近代文学史
畑 恵里子 (博士〔文学〕)	准教授	・学級担任 (1-3)	①総合国語ⅠA, ⅠB ②総合国語ⅡA, ⅡB ③国語国文Ⅰ, Ⅱ	日本古典文学	①日本古典文学 ②リメディアル教育
藤田 憲司 (修士〔文学〕)	准教授	・学級担任 (1-1)	①総合英語ⅠA, ⅠB, ⅢA, ⅢB, ⅣB, ⅤA ②現代英語Ⅱ	英文学	①18世紀イギリス詩 ②批評理論
Kay, Jonathan-David Robert (学士〔文学〕)	准教授		①英会話ⅠA, ⅠB ②総合英語ⅢA, ⅢB, ⅣA, ⅣB, ⅤA, ⅤB	International Political Economy	Maintenance of Welfare State Legitimacy in Social Democratic Societies (eg. Denmark, Sweden, Norway)
児玉 圭司 (修士〔法学〕)	准教授	・安全衛生委員長 ・教務主事補	①法学 ②経済学 ③現代日本の政治・経済と法Ⅰ, Ⅱ	法制史 (日本近代)	①行刑(監獄制度)史 ②刑事法・刑事政策史
牧野 雅司 (博士〔文学〕)	准教授	・寮務主事補 ・学級担任 (2-3)	①日本史 ②世界史Ⅰ, Ⅱ ③地域学Ⅰ, Ⅱ	日本近代史 対外関係史	①幕末維新期の日朝関係 ②地域史料の保存と活用

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
山根 秀介 (修士〔文学〕)	助教		①総合英語ⅡA, ⅡB ②総合英語ⅢB ③総合英語ⅣB ④総合英語ⅤA	近代哲学	①ウィリアム・ジェイムズ ②現代フランス哲学

自然科学部門

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
背戸柳 実 (修士〔理学〕)	教授	・ 自然科学部門長 ・ 学級担任 (2-2)	①基礎数学Ⅲ ②微分積分 Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ ③応用数学 Ⅰ A, Ⅰ B ④数学演習Ⅱ	①微分代数 ②p進解析	①常微分方程式の Liouville 解 ②冪級数解のp進収束 半径
小野 伸一郎 (学士〔教育学〕)	教授	・ 学生主事	保健体育Ⅰ, Ⅳ, Ⅴ	①運動生理学 ②運動方法学	①運動制御に対する 呼吸・代謝と不安心理 ②身体活動と健康
亀谷 睦 (博士〔理学〕)	教授	・ 教育改善委員長 ・ 学級担任 (1-4)	①基礎数学Ⅰ, Ⅱ ②微分積分Ⅱ, Ⅲ ③応用数学 Ⅱ A, Ⅱ B	微分方程式	①複素領域における 偏微分方程式 ②KAM理論
上杉 智子 (博士〔理学〕)	准教授	・ 寮務主事補 ・ 学級担任 (2-4) ・ 理科主任	①物理Ⅱ A, Ⅱ B ②物理Ⅲ A, Ⅲ C ③応用物理Ⅰ, Ⅱ ④近代物理学 ⑤防災リテラシー	①素粒子論 ②初期宇宙論	①宇宙論的相転移の 解明 ②宇宙磁場, 物質の起 源
宮崎 昭仁 (博士〔理学〕)	准教授		化学Ⅰ A, Ⅰ B, Ⅱ A, Ⅱ B, Ⅲ A, Ⅲ B	①分析化学 ②錯体化学 ③社会地球化 学 ④環境化学	①新機能性リガンド のトポロジーを用い たナノテクノロジー ②物質移動の社会地 球化学的地域研究
梅垣 浩二 (修士〔体育学〕)	准教授			スポーツバイ オメカニクス	ハンマー投げの加速 のメカニズムとその 技術
岡田 浩嗣 (博士〔理学〕)	准教授	・ 学生主事補 ・ 進路指導委員会副 委員長 (進学)	①微分積分Ⅱ, Ⅲ ②応用数学 Ⅱ A, Ⅱ B	①微分方程式 ②力学系 ③特異摂動論	①反応拡散系におけ る内部遷移層と界面 のダイナミクス ②特異摂動法の非局 所方程式への応用
奥村 昌司 (博士〔理学〕)	准教授	・ FD・ICT部会長 ・ 教務主事補 ・ 数学主任	①基礎数学Ⅰ, Ⅱ ②応用解析1, 2	①非線形方程 式 ②微分幾何学 ③数理物理	自己双対方程式のパ ンルベ解析

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
木村 健二 (修士〔体育学〕)	講師	・ 体育主任	保健体育 I, II, IV, V	①スポーツバイオメカニクス ②トレーニング科学	素早く移動方向を変更させるためのストラテジーに関する研究
喜友名 朝也 (博士〔数理学〕)	講師	・ 学級担任 (1-2)	①基礎数学 I, II, III ②微分積分 I ③数学演習 II ④応用数学 I A, I B	整数論	①保型形式環 ②保型微分方程式

機械工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
生水 雅之 (博士〔工学〕)	教授	・ 寮務主事補	①材料学Ⅰ,Ⅱ ②加工学Ⅱ,Ⅲ ③機械工学実験Ⅰ ④材料力学Ⅲ ⑤卒業研究 ⑥材料強度学 ⑦特別演習	材料強度学	①薄膜の機械的特性評価に関する研究 ②ホーニング加工に関する研究
西山 等 (博士〔工学〕)	教授	・ 教務主事補 ・ 教育プログラム(MDE)委員長	①創造演習 ②機構学 ③流れ学Ⅰ,Ⅱ ④機械工学実験Ⅱ ⑤知能機械工学 ⑥医工学 ⑦計算機援用工学 ⑧制御工学Ⅰ ⑨卒業研究	①流体工学 ②生体力学	①エアリフトポンプに関する研究 ②竹の利活用に関する研究
篠原 正浩 (博士〔工学〕)	教授	・ 教育研究支援センター長	①創造演習 ②工作実習Ⅱ ③材料力学ⅡA,ⅡB ④機械工学実験Ⅰ,Ⅱ ⑤設計工学 ⑥卒業研究 ⑦先端材料工学 ⑧弾塑性力学 ⑨特別実験 ⑩エンジニアリング・デザイン演習	①材料力学 ②複合材料工学	①自己融着による熱可塑性コンポジットの修復について ②局所加熱を利用した熱可塑性樹脂複合材料の曲げ加工
谷川 博哉 (博士〔工学〕)	教授	・ 機械工学科長	①入門機械実習 ②材料力学ⅠA,ⅠB ③創造設計製作 ④設計製図Ⅳ ⑤流体工学 ⑥卒業研究 ⑦流体力学 ⑧特別研究	流体力学	①振動重力場における流体の挙動 ②集風体に関する研究
豊田 香 (博士〔工学〕)	准教授	・ 進路指導委員長	①設計製図ⅡA,ⅡB ②設計製図Ⅲ ③機械設計法Ⅰ ④機械設計法Ⅱ ⑤熱工学 ⑥工作実習Ⅱ ⑦システム設計学 ⑧卒業研究 ⑨特別研究 ⑩エンジニアリング・デザイン演習	①エネルギー工学	膜沸騰熱伝達の研究

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専門分野	研 究 テ ー マ
山田 耕一郎 (博士〔工学〕)	准教授	・入試広報部会長 ・学生主事補 ・学級担任 (3M)	①入門機械実習 ②加工学I ③工作実習Ⅱ ④創造設計製作 ⑤機械力学I, Ⅱ ⑥機械工学実験I, Ⅱ ⑦卒業研究 ⑧設計製図Ⅲ	①計算力学 ②材料力学	①ねじの疲労試験 ②ねじ焼入れの強度に関するシミュレーション
小林 洋平 (博士〔工学〕)	准教授		①応用物理Ⅱ ②計測概論Ⅰ, Ⅱ ③マリンエンジニアリングⅠ, Ⅱ ④機械工学実験Ⅰ ⑤卒業研究 ⑥プラント工学 ⑦特別実験	熱流体工学	①浮体式洋上風車に関する研究 ②廃炉ロボットの研究
野毛 宏文 (博士〔工学〕)	准教授	・機械制御システム工学専攻 コース長	①機械工学実験Ⅰ ②熱力学Ⅰ, Ⅱ ③電子物理Ⅰ, Ⅱ ④工業英語 ⑤エネルギー環境学 ⑥応用物理Ⅰ ⑦卒業研究	熱工学	パパーム酸油を燃焼用燃料として有効利用するための基礎研究
村上信太郎 (博士〔工学〕)	講師	・学級担任 (5M)	①機械工学実験Ⅰ ②設計製図ⅡA, ⅡB ③情報処理Ⅰ ④工学基礎 ⑤数学演習 ⑥力学基礎Ⅰ, Ⅱ ⑦卒業研究 ⑧特別実験	①熱流体工学 ②数値流体力学	マイクロスケール圧縮性流れの流動・伝熱
室巻 孝郎 (博士〔工学〕)	講師	・学級担任 (4M)	①機械工学実験Ⅰ, Ⅱ ②テクニカルドローイング ③設計製図Ⅲ ④情報処理Ⅱ ⑤システム工学Ⅰ, Ⅱ ⑥電気工学I, Ⅱ ⑦卒業研究 ⑧特別演習 ⑨動的設計論 ⑩特別研究	①数値最適化 ②システム工学	①分散型ロボティック照明システムの開発 ②福祉機器の開発

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
須田 敦 (博士〔工学〕)	助教		①工学基礎 ②テクニカルドローイング ③設計製図ⅠA,ⅠB ④入門機械電気電子情報工学 ⑤機械工学実験Ⅰ ⑥設計製図Ⅳ ⑦機械工学実験Ⅱ ⑧制御工学Ⅱ ⑨卒業研究 ⑩特別演習 ⑪動的設計論	①設計工学, 機械機能要素 ②機械力学, 制御	①産業用キャスト・ハンドトラック（台車）に関する研究 ②緩衝装置・材料に関する研究 ③産学連携による研究開発

電気情報工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
平地 克也 (博士〔工学〕)	教授	・テクノセンタ ー長 ・学級担任 (3E)	①電子回路Ⅱ ②アクチュエータ工学 ③電気機器Ⅰ・Ⅱ ④電気情報工学実験Ⅲ A・ⅢB ⑤エネルギー工学Ⅰ・Ⅱ ⑥制御工学Ⅰ ⑦工学基礎研究 ⑧卒業研究 ⑨特別研究	パワーエレクトロニクス	インバータ，DC/DCコンバータ，UPS等各種電力変換装置の研究
金山 光一 (博士〔工学〕)	教授	・評価委員会副 委員長	①防災リテラシー ②電気情報工学実験 ⅠA・ⅠB ③電気磁気学Ⅰ ④通信工学Ⅰ・Ⅱ ⑤創造工学 ⑥工学基礎研究 ⑦卒業研究 ⑧特別実験 ⑨電子デバイス工学Ⅰ ⑩技術者倫理	①電子デバイス工学 ②超音波エレクトロニクス	①圧電デバイスの研究 ②非破壊検査技術に関する研究 ③センサーに関する研究
中川 重康 (博士〔工学〕)	教授		①インターフェース Ⅰ・Ⅱ ②アナログ信号処理Ⅱ ③デジタル信号処理 ④電気情報工学実験Ⅱ A・ⅡB ⑤創造工学 ⑥工学基礎研究 ⑦卒業研究 ⑧特別実験 ⑨パワーエレクトロニクス ⑩特別研究	①電力工学 ②太陽エネルギー利用	①日射量予測を導入した太陽光発電・蓄電システムの開発 ②日射量モデルの評価に関する研究
片山 英昭 (博士〔工学〕)	教授	・専攻科コース 長 ・情報科学セン ター長	①情報理論 ②数値解析実習 ③創造工学 ④工学基礎研究 ⑤過渡現象論 ⑥情報システム論 ⑦電気情報工学実験Ⅳ A・ⅣB ⑧卒業研究 ⑨特別実験 ⑩情報工学	情報システム工学	視覚障害者のための物体認識

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
竹澤 智樹 (博士〔理学〕)	教授	・電気情報工 学科長 ・国際交流セ ンター長	①電気情報工学実験ⅠA・ⅠB ②交流回路Ⅰ・Ⅱ ③回路理論 ④創造工学 ⑤工学基礎研究 ⑥電気磁気学Ⅲ ⑦電磁気計測Ⅰ・Ⅱ ⑧卒業研究 ⑨エンジニアリングデザイン演習 ⑩特別研究基礎	物性物理学	第一原理電子状態計算による物性評価 ・物質設計 ・超伝導 (Pd, Fe) ・高圧物性 (水素)
船木 英岳 (博士〔工学〕)	准教授	・学級担任 (4E)	①コンピュータグラフィックス ②ネットワーク論Ⅰ・Ⅱ ③電気情報工学実験ⅢA・ⅢB ④工学基礎研究 ⑤オペレーティングシステムⅠ・Ⅱ ⑥卒業研究 ⑦ネットワークシステム論 ⑧エンジニアリングデザイン演習	情報システム工学	①複数ARマーカを用いたソフトウェアの開発 ②Kinectを用いた障がい者支援ツールの改良 ③視線を用いたコミュニケーションツールの開発
内海 淳志 (博士〔工学〕)	准教授	・教務主事補	①電気概論 ②電気回路 ③電気情報工学実験ⅡB ④アナログ回路 ⑤電子工学Ⅰ・Ⅱ ⑥創造工学 ⑦工学基礎研究 ⑧半導体工学 ⑨卒業研究 ⑩電磁気応用工学 ⑪特別実験 ⑫特別研究基礎	光電子工学 半導体工学	①近接場光応用技術の開発 ②電子デバイス教材の開発
芦澤 恵太 (博士〔理学〕)	准教授	・学生主事補 ・進路指導委員会副委員長 (就職指導)	①情報基礎 ②電気概論 ③C言語 ④アナログ信号処理Ⅰ ⑤C言語実習 ⑥電気情報工学実験ⅡA・ⅡB ⑦画像工学 ⑧工学基礎研究 ⑨卒業研究 ⑩特別研究基礎 ⑪特別研究	①画像処理 ②数値調和解析	①画像圧縮アルゴリズムの開発 ②ギブス現象軽減に関する研究

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
丹下 裕 (博士〔工学〕)	准教授	・ 寮務主事補	①電気磁気学Ⅱ ②創造工学 ③工学基礎研究 ④伝送工学 ⑤シミュレーション 工学Ⅰ・Ⅱ ⑥電気情報工学実験 ⅣA・ⅣB ⑦卒業研究 ⑧応用通信工学 ⑨特別研究	医用生体工学	①癌温熱治療装置の開発 ②障がい者支援に関する研究
井上 泰仁 (博士〔工学〕)	准教授	・ 学級担任 (5E)	①工学基礎 ②情報数学 ③ディジタル回路 ④論理回路 ⑤電気情報工学実験 ⅢA・ⅢB ⑥工学基礎研究 ⑦卒業研究 ⑧医療工学	情報科学	膜タンパク質の機能予測

電子制御工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
金森 満 (博士〔工学〕)	教授		①制御工学Ⅲ ②(E)制御工学Ⅱ ③振動工学Ⅰ・Ⅱ ④電気磁気学Ⅱ ⑤卒業研究 ⑥ロボットシステム制御 ⑦特別実験 ⑧特別研究	①制御工学 ②メカトロニクス ③振動制御	①非線形ロボットシステムの動的アンチwindアップ制御 ②最適性を考慮した非線形ロボットシステムのアンチwindアップ制御
野間 正泰 (博士〔工学〕)	教授	・学級担任 (5S)	①力学Ⅱ ②材料力学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ③水力学Ⅰ・Ⅱ ④計測工学Ⅰ ⑤機械工学実験 ⑥卒業研究 ⑦流体工学特論 ⑧エンジニアリング・デザイン演習	①トライボロジー ②可視化情報計測	①テラー渦とキャビティ流れの相互作用 ②マルチパッドジャーナル軸受内の潤滑油流れ ③移動物体まわりの流れの可視化 ④簡易風洞装置の設計製作とCOC出前授業への適用 ⑤トライボロジー実験教材の開発
奥村 幸彦 (博士〔工学〕)	教授	・企画室長	①熱力学Ⅰ・Ⅱ ②計測工学Ⅱ ③技術英語Ⅰ・Ⅱ ④画像処理Ⅰ・Ⅱ ⑤機械工学実験 ⑥卒業研究 ⑦エネルギー工学 ⑧エンジニアリング・デザイン演習	①エネルギー工学 ②熱工学 ③機械工学	①環境保全を目指した新エネルギー利用技術の開発 ②燃焼に伴う環境汚染物質の生成機構と抑制技術[環境機器の設計] ③ハイパワー型半導体の創製
仲川 力 (博士〔工学〕)	教授	・寮務主事	①情報処理Ⅲ ②CAD演習ⅠB ③電子制御実験 ④創造設計プロジェクト ⑤CAD演習ⅡC ⑥卒業研究 ⑦特別演習	機械工学	①クローラ走行体の走行性能に関する研究 ②人工筋肉の開発
川田 昌克 (博士〔工学〕)	教授	・電子制御工学科長	①工学基礎 ②制御工学Ⅰ・Ⅱ ③数値計算法Ⅰ・Ⅱ ④システム制御Ⅰ・Ⅱ ⑤制御工学実験 ⑥卒業研究 ⑦システム制御工学 ⑧特別研究基礎	制御工学	①数値最適化による制御系解析/設計と実システムへの応用 ②制御工学教育のコンテンツ開発

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
町田 秀和 (博士 〔情報工学〕)	准教授		①計算機工学Ⅰ・Ⅱ ②電子制御実験 ③創造設計プロジェクト ④電子回路Ⅴ ⑤CAD演習ⅡB ⑥卒業研究 ⑦信号処理特論 ⑧制御工学特論	①ハードウェア(IC)実現 ②ディジタル信号処理	①2重ループPLL/PWMモータコントローラの解析と実現 ②PWM/PDM-1bit信号演算処理のFPGA実現 ③Java言語によるWebベースの教育システム(CAI)の開発 ④DSPによるリアルタイム信号処理
清原 修二 (博士〔工学〕)	准教授	・学級担任 (4S) ・寮務主事補	①電子制御実習Ⅰ・Ⅱ ②電子工学Ⅰ・Ⅱ ③電気磁気学Ⅰ ④電子回路Ⅲ・Ⅳ ⑤卒業研究 ⑥電子回路特論 ⑦特別研究基礎	①ナノテクノロジー ②超微細加工学 ③電子・イオンビーム工学	①液滴室温インプリント法による機能性DLCナノデバイスの開発 ②ポータブル室温ナノインプリントシステムを用いたナノテクノロジー教育
伊藤 稔 (博士〔工学〕)	准教授	・学級担任 (3S) ・教務主事補	①情報処理Ⅰ・Ⅱ ②情報学Ⅰ・Ⅱ ③電子制御実験 ④卒業研究 ⑤知識情報工学 ⑥特別実験 ⑦特別研究	ソフトコンピューティング	①進化計算の工学的応用 ②SLAMに関する研究
石川 一平 (博士〔工学〕)	准教授	・学生主事補	①電気基礎Ⅰ・Ⅱ ②防災リテラシー ③力学Ⅰ ④電子回路Ⅰ ⑤電子制御実験 ⑥卒業研究 ⑦特別実験 ⑧電子デバイス工学Ⅱ ⑨特別研究	①電子物理 ②応用物理 ③材料工学	①微細発光デバイスの作製 ②プラスチックを用いた放射線計測に関する研究
高木 太郎 (博士〔工学〕)	講師		①数学演習 ②ロボット工学Ⅰ・Ⅱ ③CAD演習ⅡA ④制御工学実験 ⑤卒業研究 ⑥特別実験 ⑦特別演習	制御工学	①概強正実性に基づく適応制御系のモデルフリー構成法 ②マルチレートシステムに対する適応予測制御系構成法

建設システム工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
高谷 富也 (博士〔学術〕)	教授	・教務主事	①構造力学ⅠA, B ②構造力学ⅡA, B ③構造解析 ④建設振動学 ⑤耐震工学 ⑥卒業研究 ⑦応用情報工学 ⑧建築耐震工学 ⑨特別実験	①構造・耐震工学 ②振動工学 ③動土質	①木造建築物の地震時倒壊過程解析に関する研究 ②地震時における地盤の増幅特性の評価手法およびその適用に関する研究 ③耐震建具を用いた既存木造住宅の耐震補強工法の開発に関する研究 ④3Dソフトウェアの都市計画への適用に関する研究
四蔵 茂雄 (博士〔工学〕)	教授	・建設システム工学科長	①環境衛生学Ⅰ, Ⅱ ②環境工学ⅠA, ⅠB ③環境工学Ⅱ ④建設システム工学実験ⅡB ⑤応用測量学Ⅰ, Ⅱ ⑥卒業研究 ⑦地球環境政策学	①環境工学 ②環境政策学	①途上国のエネルギー環境問題 ②循環型社会形成の政策論
三輪 浩 (博士〔工学〕)	教授	・専攻科長	①水理学ⅠA, ⅠB ②水理学ⅡA, ⅡB ③建設システム工学実験Ⅲ ④河川工学 ⑤河川環境 ⑥海岸工学 ⑦卒業研究 ⑧水圏環境学 ⑨環境防災論 ⑩特別研究 ⑪特別実験 ⑫特別演習	①水工水理学 ②土木環境システム	①覆砂による土砂移動機構と流路変動予測 ②河口砂州の動態観測と制御 ③流砂モデルの再構築(混合砂礫の移動限界)
玉田 和也 (博士〔工学〕)	教授	・広報委員会副委員長 ・学級担任(5C)	①工学基礎 ②構造力学Ⅲ ③鋼構造学ⅠⅡ ④応用構造力学 ⑤卒業研究 ⑥応用構造工学 ⑦メンテナンス工学 ⑧特別研究 ⑨特別実験	①メンテナンス工学 ②橋梁工学 ③構造工学	①地方自治体が管理する橋梁の維持管理 ②橋梁の健全度評価 ③アセットマネジメント ④応急復旧橋の開発 ⑤構造力学教育

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
尾上 亮介 (博士 〔芸術文化学〕)	教授	・学級担任(4C) ・図書館長	①建設システム工学 概論 ②都市計画 ③建設製図Ⅰ ④建設製図Ⅱ ⑤建設製図制作 ⑥建築計画Ⅱ ⑦建築デザインⅠ ⑧卒業研究 ⑨特別研究 ⑩まちづくり学 ⑪設計製図	①建築設計 ②都市計画 ③まちづくり	①空き屋の活用に関する 研究 ②民家改修における意 匠・形態に関する研究 ③歴史的景観を形成する 建築意匠に関する研究
加登 文学 (博士〔工学〕)	准教授	・学生主事補	①防災リテラシー ②建設システム工学 概論Ⅰ,Ⅱ ③建設製図制作 ④建設システム工学 実験ⅠA,ⅠB ⑤地盤工学ⅠA,ⅠB ⑥地盤工学ⅡA,ⅡB ⑦防災工学 ⑧卒業研究 ⑨地盤工学設計論	①地盤工学 ②土質力学	①地盤材料の力学特性に 関 する研究 ②強震動予測に関する研 究 ③斜面安全管理に関する 研究
徳永 泰伸 (博士〔工学〕)	准教授	・寮務主事補 ・CAコース長	①建築環境Ⅰ,Ⅱ ②建築設備Ⅰ,Ⅱ ③建設製図制作 ④建設システム工学 実験ⅠA,ⅠB ⑤工学基礎 ⑥卒業研究 ⑦特別実験 ⑧特別研究 ⑨建築環境工学特論	①建築環境学	①室内音環境に関する研 究 ②視覚と聴感の相互作用 に関する研究

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
渡部 昌弘 (博士〔工学〕)	助教	・学級担任(3C)	①建築一般構造 ②建築構造Ⅰ, Ⅱ ③情報処理Ⅰ, Ⅱ ④数値解析Ⅱ ⑤エンジニアリング デザイン演習 ⑥卒業研究 ⑦特別研究	①木質構造学 ②建築構法 ③建築構造	①歴史的木質建築物の構造特性・耐震性能の解明および保存・改修に関する研究 ②BIMおよび物理演算エンジンを用いた木質系構造を有する歴史的文化的資産の復元 ③近現代の組積造建築物の構工法・構造特性の解明 ④近代の歴史的遺構の実態調査および保存・再生の提案
毛利 聡 (博士〔工学〕)	助教		①測量実習 ②建設材料学 ③建設システム工学 実験ⅠA, ⅠB ④コンクリート構造学Ⅱ ⑤建設材料特論 ⑥卒業研究	①建築材料施工	①建築部材の補修・改修・維持管理技術の高度化 ②コンクリート系材料の耐久性評価
今村 友里子 (博士〔工学〕)	助教		①建設製図Ⅱ ②建築論Ⅰ ③建築論Ⅱ ④建築デザインⅡ ⑤建設設計製図Ⅰ ⑥建築計画Ⅱ ⑦建設計画学 ⑧卒業研究	①建築論 ②建築史	①20世紀建築における制作論 ②近現代建築保存活用

教 職 員 数

平成 30 年 3 月 1 日現在

校 長		1					
教 員	区 分	教授	准教授	講師	助教	特任等	計
	人 文 科 学 部 門	3	5	0	1	1	10
	自 然 科 学 部 門	3	5	2	0	0	10
	機 械 工 学 科	4	4	2	1	0	11
	電 気 情 報 工 学 科	5	5	0	0	0	10
	電 子 制 御 工 学 科	5	4	1	0	0	10
	建設システム工学科	5	2	2	1	0	10
	計	25	25	7	3	1	61
事 務 職 員	事 務 部 長	1					
	総 務 課	15					
	学生課(看護師含む)	14					
	再 雇 用 事 務 職 員	2					
	計	32					
技 術 職 員	教育研究支援センター	12					
	施 設 系	2					
	再 雇 用 技 術 職 員	0					
	計	14					
非 常 勤 教 職 員	事 務 補 佐 員 等	24					
	特 命 助 教	1					
	非 常 勤 講 師	32					
	学 校 医 等	5					
	計	62					
合 計		170					

学校行事日程

月	日	曜日	行 事 名
4	2	日	開寮
	4	火	新入生入寮日・入寮式
	5	水	入学式, 後援会総会
	6	木	始業式, オリエンテーション, 身体計測・心電図・胸部レントゲン
	7	金	授業開始
	13	木	新入生合宿研修 (～14日)
	17	月	交通安全講習会 (本科2・3・4年生・専攻科)
	19	水	交通安全講習会 (5年生)
	24	月	JABEE説明会 (4年生)
	25	火	JABEE説明会 (専攻科1年生)
	26	水	開校記念日
	27	木	JABEE説明会 (5年生)
5	9	火	学生総会
	13	土	近畿地区高専体育大会 (硬式野球) (～15日)
	16	火	スポーツフェスタ
	20	土	福井高専との交歓試合
	21	日	プレオープンキャンパス (舞鶴)
	29	月	特別授業
6	1	木	学位申請説明会 (専攻科2年生)
	2	金	本科前期中間試験 (～8日)
	11	日	プレオープンキャンパス (京都)
	17	土	編入学試験
	18	日	専攻科推薦特別選抜試験
	25	日	プレオープンキャンパス (三田)
7	1	土	公開講座「まちを作ろう1」 公開講座「ダンボールであそんで防災について学ぼう」
	3	月	防災訓練
	8	土	公開講座「光であそぼう～光の性質を知ろう～」
	9	日	近畿地区高専体育大会 (水泳)
	15	土	公開講座「まちを作ろう2」 公開講座「光であそぼう～万華鏡を作ろう～」
	22	土	専攻科学力検査選抜試験 (前期) 公開講座「光であそぼう～振動でコマを回そう～」
	23	日	第1回ナノテクノロジー体験教室「空気の無い世界, 鏡の中の世界」「小さな加工の世界, 小さなモノの世界」
	28	金	月曜日の授業
	30	日	公開講座「動く!のりもの型ウッドクラフトを作ろう」
	31	月	特別授業

月	日	曜日	行 事 名
8	1	火	本科・専攻科前期期末試験 (～8日)
	9	水	閉寮・夏季休業 (～9月15日)
	11	金	オープンキャンパス (～12日)
	14	月	夏季一斉休業
	20	日	公開講座「6足歩行ロボットをつくろう!」「リモコンロボットをつくろう!」
	26	土	公開講座「夏休み親子工作教室」(舞鶴市大浦会館)
9	2	土	公開講座「第6回舞鶴高専パワーエレクトロニクス公開講座」
	3	日	公開講座「考えて動かそう!きみにもできるロボットづくり」
	18	月	開寮
	19	火	授業開始, 特別授業
	20	水	試験返却等到達度確認期間 (～22日)
	22	金	全校集会
	24	日	出張!公開講座in滋賀「LEGOロボット製作とiPadを利用したプログラミング」
10	4	水	球技大会
	5	木	特別研究基礎中間発表 (専攻科1年生)
	8	日	出張!公開講座in豊岡「ミニフライス盤を利用して木製のネームプレートや時計を作ろう!」
	14	土	専攻科学力検査選抜試験 (後期等)
	21	土	赤れんがフェスタin舞鶴2017出展 「本校学生の作品を用いた電気情報分野の体験と理解」 公開講座「ものづくり体験コースの実施 (MDF材のネームプレートを作ろう!, ペーパークラフト, 建築クラフト, モーターでLEDを点灯させよう!)」 (～22日)
	22	日	ロボコン近畿地区大会
	24	火	午前; 英語デー 午後; 特別授業
	28	土	高専祭市中パレード (中止) 公開講座「空気抵抗の小さな浮子とルアーを作ってみよう」
	29	日	公開講座「3Dプリンターを用いたクリスマスオブジェの製作」
	1	水	特別授業
11	4	土	高専祭 (～5日) 公開講座「6足歩行ロボットをつくろう!」 公開講座「防災について学ぼう」

月	日	曜日	行 事 名
11	5	日	公開講座「リモコンロボットをつくろう!」 公開講座「光であそぼう」
	11	土	公開講座「空気抵抗の小さな浮子とルアーを作ってみよう」
	14	火	4年生研修旅行（～17日）
	21	火	金曜日の授業
	24	金	特別授業
	27	月	本科後期中間試験（～12/1）
	30	木	情報科学センター講演会
12	2	土	デザコン全国大会（～3日）
	3	日	ロボコン全国大会 公開講座「おしゃれ行燈をつくろう」 公開講座「聖夜を彩るクリスマスリース」
	5	火	学生総会
	9	土	女子中学生1日高専体験会 公開講座「フルカラーLEDで七色に光るクリスマスオブジェを作ろう!!」 公開講座「LEGOロボット製作とiPadを利用したプログラミング」
	10	日	合同学校説明会
	23	土	閉寮
	25	月	冬季休業（～1月8日）
1	8	月	開寮
	9	火	授業開始・特別授業
	10	水	金曜日の授業
	11	木	学習到達度試験
	12	金	特別授業
	13	土	キャリアセミナー（～14日）
	14	日	第2回ナノテクノロジー体験教室「空気の無い世界, 鏡の中の世界」「小さな加工の世界, 小さなモノの世界」
	18	木	特別研究発表会（専攻科2年生）
	21	日	特別選抜入試
2	25	木	5年生・専攻科2年生後期期末試験（～31日）
	27	土	公開講座「空気抵抗の小さな浮子とルアーを作ってみよう」
	8	木	特別授業（～9日）
	10	土	公開講座「空気抵抗の小さな浮子とルアーを作ってみよう」
	13	火	1～4年生・専攻科1年生後期期末試験（～22日）
	18	日	学力検査選抜入試
	19	月	臨時休業（～20日）
	23	金	特別授業

月	日	曜日	行 事 名
2	26	月	試験返却等到達度確認期間（～3月1日）
3	1	木	学寮部屋替（～2日）
	2	金	学年末休業（～31日）
	3	土	閉寮, 入学説明会
	6	火	特別研究基礎発表（専攻科1年生）
	10	土	公開講座「デジタルファブリケーション入門! デジタル工作機械を作ってみよう」
	16	金	卒業証書・修了証書授与式
	17	土	進路に関する三者懇談会（～18日）
	21	水	入学説明会
	24	土	公開講座「第7回舞鶴高専パワーエレクトロニクス公開講座」 公開講座「ヒューキをつくろう」

教 育 活 動

学生数	9 0
本科学学生定員，現員	9 0
外国人留学生入学者数	9 0
専攻科学学生定員，現員	9 0
学生寮現員	9 1
奨学生数，授業料免除該当者数及び入学科免除・猶予	9 2
高等学校就学支援金受給者数	9 2
入試状況	9 3
本科志願者数	9 3
本科合格者数	9 3
編入志願者数及び合格者数	9 3
専攻科入学志願者数及び合格者数	9 3
就職状況（本科）	9 4
求人及び決定状況	9 4
決定先の所在地域別状況	9 4
決定先の業種別状況	9 4
就職状況（専攻科）	9 5
求人及び決定状況	9 5
決定先の所在地域別状況	9 5
決定先の業種別状況	9 5
進学状況（本科）	9 6
進学状況（専攻科）	9 6
進路先一覧（本科）	9 7
進路先一覧（専攻科）	9 8
卒業研究題目	9 9
機械工学科	9 9
電気情報工学科	9 9
電子制御工学科	1 0 1
建設システム工学科	1 0 1
専攻科特別研究題目（第2学年）	1 0 3
インターンシップ受入先（本科）	1 0 4
インターンシップ受入先（専攻科）	1 0 5
課外活動成績	1 0 6
課外活動に対する教員の活動状況	1 0 8

学 生 数

本科学学生定員

学 科	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
入学定員	40	40	40	40	160
学生総定員	200	200	200	200	800

本科学学生現員

H29.5.1 現在

学年・学科	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
第1学年	42(4)	45(8)	49(4)	44(10)	180(26)
第2学年	36(5)	46(6)	41(3)	45(11)	168(25)
第3学年	41(4)	38(7)	38(3)	36(7)	153(21)
第4学年	46(2)	38(4)	41(1)	41(7)	166(14)
第5学年	37(2)	47(5)	28(2)	38(11)	150(20)
計	202(17)	214(30)	197(13)	204(46)	817(106)

() 内は女子学生数を示す。(内数)

外国人留学生入学者数(第3学年編入学生数)

学 科	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
人 数	0	0	1	1	2

専攻科学生定員

専 攻	総合システム工学専攻		
コ ー ス	電気電子システム工学コース	機械制御システム工学コース	建設工学コース
入学定員	16		
総 定 員	32		

専攻科学生現員

H29.5.1 現在

専 攻	総合システム工学専攻			計
コ ー ス	電気電子システム工学コース	機械制御システム工学コース	建設工学コース	
第1学年	13(0)	2(0)	3(0)	18(0)
第2学年	11(0)	5(0)	7(2)	23(2)
計	24(0)	7(0)	10(2)	41(2)

() 内は女子学生数を示す。(内数)

学生寮現員

H29. 5. 1 現在

学 年	男 子	女 子	合 計
第1学年	139	23	162
第2学年	112	23	135
第3学年	93	19	112
第4学年	88	7	95
第5学年	67	10	77
専攻科1年	7	0	7
専攻科2年	2	0	2
計	508	82	590

奨学生数（平成30年2月現在）

奨 学 金 の 種 類		奨 学 生 数							
		1年	2年	3年	4年	5年	専1年	専2年	計
日本学生支援機構奨学金	第一種	7	4	11	17	15	2	3	59
	第二種	対象外			0	3	0	1	4
京都府高等学校等修学資金		4	3	3	6	0	対象外		16
その他 府県奨学金		2	2	3	5	4	0	0	16
市町村奨学金		3	2	0	0	1	0	0	6
法人等の奨学金		1	0	1	1	1	0	0	4

授業料免除者数

区 分		免 除 者 数				
		4年	5年	専1年	専2年	計
前 期	全額免除	3	12	2	3	20
	半額免除	1	1	1	1	4
後 期	全額免除	4	14	2	4	24
	半額免除	2	1 (1)	0	1	4

※括弧書きは国立高等専門学校機構への超過免除申請による免除者数で内数

入 学 料 免 除 者 数 …… 0名

入 学 料 徴 収 猶 予 者 数 …… 1名

授業料免除における特別措置 対象者数

（高等学校就学支援金受給者については、支給後の本人負担額を免除）

免除者数 前期…0名

後期…0名

卓越した学生に対する授業料免除

免除者数 後期…4年生4名（半額免除）

平成29年度高等学校就学支援金 受給者数（平成30年2月現在）

（加算および所得制限に係る該当者は平成29年7月分以降申請者）

	1年	2年	3年	計
受 給 者 数	137	127	123	387
所得制限等による非該当者数（※）	41	33	20	94
2.5倍加算該当者（※）	12	9	23	44
2倍加算該当者	18	14	17	49
1.5倍加算該当者	53	44	39	136
加算なし該当者	54	60	44	158
特例措置該当者	0	0	0	0

※就学支援金制度の変更に伴い追加された項目（平成26年4月以降入学者対象）

入 試 状 況

本科志願者数(都道府県別)

学科 府県名	機 械 工 学 科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
京 都 府	22 (0)	32 (6)	35 (3)	19 (5)	108 (14)
福 井 県	0 (0)	2 (0)	1 (0)	5 (1)	8 (1)
兵 庫 県	12 (0)	11 (2)	12 (1)	16 (4)	51 (7)
滋 賀 県	9 (1)	17 (1)	15 (0)	12 (4)	53 (6)
大 阪 府	9 (0)	5 (0)	4 (1)	2 (2)	20 (3)
そ の 他	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)
計	53 (1)	68 (9)	68 (5)	54 (16)	243 (31)

H30. 2. 2 現在, () 内数字は女子学生で内数。

本科合格者数(都道府県別)

学科 府県名	機 械 工 学 科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
京 都 府	19 (0)	23 (4)	23 (2)	19 (5)	84 (11)
福 井 県	0 (0)	1 (0)	0 (0)	5 (1)	6 (1)
兵 庫 県	11 (1)	5 (0)	6 (0)	11 (2)	33 (3)
滋 賀 県	6 (0)	12 (0)	11 (0)	6 (1)	35 (1)
大 阪 府	6 (0)	3 (0)	3 (1)	3 (2)	15 (3)
そ の 他	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
計	43 (1)	44 (4)	43 (3)	44 (11)	174 (19)

H30. 2. 22 現在, () 内数字は女子学生で内数。

編入学志願者数及び合格者数

学科	機 械 工 学 科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
志願者数	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
合格者数	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)

H30. 2. 22 現在, () 内数字は女子学生で内数。

専攻科入学志願者数及び合格者数

専攻 コース	総合システム工学専攻			計
	電気電子システム 工学コース	機械制御システム 工学コース	建設工学コース	
志願者数	8 (0)	6 (0)	7 (2)	21 (2)
合格者数	7 (0)	5 (0)	5 (1)	17 (1)

H30. 2. 22 現在, () 内数字は女子学生で内数。

就職状況（本科）

求人及び決定状況

平成30年3月31日現在

区分	卒業者数	就職希望者数	内定者数	大学・専攻科進学希望者数	合格者数	その他	求人会社数（社）	求人数（人）	求人倍率
機械	37	27	27	10	10	0	734	765	28.3
電気情報	47	31	31	16	16	0	724	759	24.5
電子制御	27	17	17	10	10	0	695	716	42.1
建設システム（都市環境）	19	12	12	7	7	0	508	546	45.5
建設システム（建築）	19	9	9	10	10	0	472	496	55.1
合計	149	96	96	53	53	0	3133	3282	34.2

求人会社数は、学科間の重複を含む。

決定先の所在地域別状況

区分	京都府	大阪府	兵庫県	滋賀県	中京地域	京浜地域	その他	合計
機械	3	7	4	3	3	6	1	27
	11.1%	25.9%	14.8%	11.1%	11.1%	22.2%	3.7%	100.0%
電気情報	7	9	3	1	1	9	1	31
	22.6%	29.0%	9.7%	3.2%	3.2%	29.0%	3.2%	100.0%
電子制御	4	4	0	1	3	4	1	17
	23.5%	23.5%	0.0%	5.9%	17.6%	23.5%	5.9%	100.0%
建設システム（都市環境）	4	3	0	1	0	4	0	12
	33.3%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%
建設システム（建築）	4	2	1	0	0	2	0	9
	44.4%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	100.0%
合計	22	25	8	6	7	25	3	96
	22.9%	26.0%	8.3%	6.3%	7.3%	26.0%	3.1%	100.0%

上段の数字は人数を示す。

決定先の業種別状況

区分	建設	食品	繊維	出版・印刷	化学	鉄鋼・金属	機械	電気機器	輸送用機器	精密機器	電力・ガス	その他製造	情報通信	運輸・通信	卸売・小売	不動産・賃貸	生活・娯楽	学術サービス	その他サービス	官公庁	合計
機械	0	1	0	0	1	0	13	3	4	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	27
	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	48.1%	11.1%	14.8%	7.4%	3.7%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	100.0%
電気情報	0	0	0	0	3	0	4	4	1	2	2	1	9	0	0	0	0	4	1	0	31
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%	0.0%	12.9%	12.9%	3.2%	6.5%	6.5%	3.2%	29.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.9%	3.2%	0.0%	100.0%
電子制御	0	0	1	0	0	1	4	1	2	2	0	2	1	1	0	0	0	2	0	0	17
	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	23.5%	5.9%	11.8%	11.8%	0.0%	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	100.0%
建設システム（都市環境）	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	6	12
	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	50.0%	100.0%
建設システム（建築）	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	9
	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	100.0%
合計	7	1	1	0	4	1	21	8	7	6	4	3	11	3	0	2	0	8	2	7	96
	7.3%	1.0%	1.0%	0.0%	4.2%	1.0%	21.9%	8.3%	7.3%	6.3%	4.2%	3.1%	11.5%	3.1%	0.0%	2.1%	0.0%	8.3%	2.1%	7.3%	100.0%

上段の数字は人数を示す。

就職状況（専攻科）

求人及び決定状況

平成30年3月31日現在

区分	修了者数	就職希望者数	内定者数	大学院進学希望者数	合格者数	その他	求人会社数(社)	求人数(人)	求人倍率
電気電子	11	10	10	1	1	0	667	680	68.0
機械制御	5	2	2	3	3	0	655	665	332.5
建設	6	4	4	1	1	1	481	506	126.5
合計	22	16	16	5	5	1	1803	1851	115.7

求人会社数は、コース間の重複を含む。

決定先の所在地域別状況

区分	京都府	大阪府	兵庫県	滋賀県	中京地域	京浜地域	その他	合計
電気電子	0	5	2	1	0	2	0	10
	0.0%	50.0%	20.0%	10.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%
機械制御	0	2	0	0	0	0	0	2
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
建設	3	0	0	1	0	0	0	4
	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	3	7	2	2	0	2	0	16
	18.8%	43.8%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%

上段の数字は人数を示す。

決定先の業種別状況

区分	建設	食品	繊維	出版・印刷	化学	鉄鋼・金属	機械	電気機器	輸送用機器	精密機器	電力・ガス	その他製造	情報通信	運輸・通信	卸売・小売	不動産・賃貸	生活・娯楽	学術サービス	その他サービス	官公庁	合計
電気電子	0	0	0	0	1	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	10
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
機械制御	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
建設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	4
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	100.0%
合計	0	0	0	0	1	0	2	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5	0	3	16
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	12.5%	18.8%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.3%	0.0%	18.8%	100.0%

上段の数字は人数を示す。

進学状況（本科）

平成30年3月31日現在

大 学 ・ 専 攻 科	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	電 子 制 御 工 学 科	建 設 シ ス テ ム 工 学 科	計
舞鶴工業高等専門学校専攻科	4	4	1	5	14
東北大学		1			1
筑波大学		1	1		2
千葉大学			1	2	3
新潟大学		1			1
長岡技術科学大学	2		2	4	8
福井大学			2		2
信州大学				2	2
岐阜大学	1				1
豊橋技術科学大学	2	6	3		11
京都工芸繊維大学	1	1		2	4
大阪大学		1			1
神戸大学				1	1
岡山大学		1			1
立命館大学				1	1
計	10	16	10	17	53

進学状況（専攻科）

平成30年3月31日現在

大 学 院	ES	MS	CA	計
北陸先端科学技術大学院大学	1			1
大阪大学大学院		2		2
京都工芸繊維大学大学院			1	1
九州工業大学大学院		1		1
計	1	3	1	5

ES:電気電子システム工学コース

MS:機械制御システム工学コース

CA:建設システム工学コース

進路先一覧（本科）

平成30年3月31日現在

科	進路先	人数	科	進路先	人数	科	進路先	人数
機械工学科	(株)エクセディ	1	電気情報工学科	関西電力(株)	1	電子制御工学科	ファナック(株)	1
	オムロン(株)	1		共栄樹脂(株)	1		本田技研工業(株)	1
	オークマ(株)	1		京セラコミュニケーションシステム(株)	1		ムラテックCCS(株)	1
	関西電力(株)	1		(株)ケイ・オブティコム	1		矢崎総業(株)	1
	KYB(株)	1		CTCテクノロジー(株)	1		レンゴー(株)	1
	極東開発工業(株)	1		(株)GSユアサ	1		舞鶴工業高等専門学校専攻科	1
	キリンビバレッジ(株)	1		ジャパンマリンユナイテッド(株)舞鶴事業所	1		筑波大学	1
	(株)小松製作所 大阪工場	1		ダイキン工業(株)	1		千葉大学	1
	島津プレシジョンテクノロジー(株)	1		中部電力(株)	1		長岡技術科学大学	2
	(株)ジェイテクト	1		TOA(株)	1		豊橋技術科学大学	3
	(株)タダノ	1		東芝メディカルシステムズ(株)	1		福井大学	2
	ダイキン工業(株)	1		(株)日進製作所	1	小計		27
	DMG森精機(株)	1		日本電気硝子(株)	1	建設システム工学科	(株)IHIインフラ建設	1
	東和薬品(株)	1		ネクストウェア(株)	1		エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)	1
	東レ・カーボンマジック(株)	1		パナソニック(株)コネクティッドソリューションズ社	1		大阪ガス(株)	1
	東芝エレベータ(株)	1		パナソニック(株)AIS社	1		大津市	1
	日東精工(株)	1		パナソニック(株)エコソリューションズ社	1		(株)岡野組	1
	日本ピラー工業(株)	1		(株)富士通ディフェンスシステムエンジニアリング	1		亀岡市	1
	(株)バンダイ	1		(株)堀場製作所	2		京丹後市	1
	(株)堀場製作所	1		三菱電機(株)通信機製作所	1		京都市	2
	本田技研工業(株)	1		(株)ロジックデザイン	1		国土交通省	1
	ホンカワミクロン(株)	1		舞鶴工業高等専門学校専攻科	4		新関西国際空港エンジニアリング(株)	1
	(株)牧野フライス製作所	1		東北大学	1		ジェイアール西日本不動産開発(株)	1
	三菱電機(株)通信機製作所	1		筑波大学	1		住友不動産(株)	1
	三菱日立パワーシステムズ(株)	1		新潟大学	1		(株)竹中土木	1
	三菱電機(株)伊丹製作所	1		豊橋技術科学大学	6		大和ハウス工業(株)	1
	(株)村田製作所八日市事業所	1		京都工芸繊維大学	1		大東建託(株)	1
	舞鶴工業高等専門学校専攻科	4		大阪大学	1		西日本旅客鉄道(株)	2
	長岡技術科学大学	2		岡山大学	1		野口建設(株)	1
	豊橋技術科学大学	2		小計	47		福知山市	1
	岐阜大学	1		オブテックス・エフエー(株)	1		北和建設(株)	1
	京都工芸繊維大学	1		(株)カンセツ	1		舞鶴工業高等専門学校専攻科	5
	小計	37		グンゼ(株)	1		千葉大学	2
電気情報工学科	アイテック阪急阪神(株)	1	電子制御工学科	島津メディカルシステムズ(株)	1		長岡技術科学大学	4
	旭化成(株)	1		(株)ジェイテクト	1		信州大学	2
	(株)インダ	1		(株)テックインテック	1		京都工芸繊維大学	2
	(独)宇宙航空研究開発機構	1		TOWA(株)	1		神戸大学	1
	NTTスマートコネク(株)	1		東海旅客鉄道(株)	1		立命館大学	1
	NTTコムウェア(株)	1		(株)日産テクノ	1	小計		38
	(株)NTTフィールドテクノ	1		パナソニック(株)アプライアンス社	1	合計	149	
	(株)NTTネオメイト	1		富士アイティ(株)	1			
	(株)Mテック	1		二九精密機械工業(株)	1			

進路先一覧（専攻科）

平成30年3月31日現在

コース	進路先	人数	コース	進路先	人数
電気電子システム工学コース	アイコム(株)	1	建設システム工学コース	大津市	1
	(株)きんでん	1		亀岡市	1
	三精テクノロジーズ(株)	1		京都市	1
	(株)ダイセル	1		(株)内藤建築事務所	1
	知能技術(株)	1		京都工芸繊維大学大学院	1
	東芝三菱電機産業システム(株)	1		小計	5
	ニチコン草津(株)	1	合計		21
	(株)ニコン	1			
	(株)デンソーテン	1			
	三菱電機(株)生産技術センター	1			
	北陸先端科学技術大学院大学	1			
	小計	11			
機械制御システム工学コース	向洋電機(株)	1			
	(株)小松製作所	1			
	大阪大学大学院	2			
	九州工業大学大学院	1			
	小計	5			

卒業研究題目

学科	題 目	指導教員
機械工学科	Al+SiC ねじの機械的特性に関する研究	生水 雅之
	高強度鋼 SCM435 ボルトの遅れ破壊特性に関する研究	
	CBN 系ホーニング砥石の湿式摩擦摩耗特性に関する研究	
	めっき処理を施した SCM435 鋼の回転曲げ疲労強度に関する研究	
	らせんバップル板を用いたエアリフトポンプにおける揚固の高効率化	西山 等
	竹チップと各種有機物の混合体の発酵における高温維持化	
	翼果の飛翔の基礎研究	
	カエデの種を模擬した風車の製作と性能評価	
	低レイノルズ数域での翼の数値シミュレーション	谷川 博哉
	低燃費競技車両の設計製作	
	自動車用排気触媒内流れの数値シミュレーション	
	アルミ製円形水平下向き面からの飽和膜沸騰熱伝達の実験	豊田 香
	逆円錐台まわりの膜沸騰熱伝達の実験 (底面直径24mm, 上面直径96mmおよび長さ96mmの場合)	
	チューブ養蚕方式の実用器試作	山田耕一郎
	タッピングねじの疲労試験	
	3次元 CAD による大型風車の設計とその重量特性の評価	小林 洋平
	波から強い力を受ける浮体形状に関する研究	
	微細構造の設計と製作	
	パーム酸油—軽油混合燃料の低温流動性改善に関する研究	野毛 宏文
	磁場が燃料性状ならびに燃焼特性に及ぼす影響調査	
	簡易測定用定温度型熱線流速計の製作	村上信太郎
	雑草防除を行う小型自走ロボットの製作	
	一次元流れによるテーパ管内流の圧力損失予測	
	マイクロチューブにおけるガス流れの局所管摩擦係数に関する研究	
	サフランの球根箱詰めラインの開発	室巻 孝郎
	箱詰め機構の半自動化ラインの設計開発	
	中学生向けフレーム製作キットの開発	
	新型農具の設計開発	須田 敦
	サフランのめしべ自動抽出装置の設計開発	
	能動制振キャスターの性能検証 —パラメータ同定—	
電気情報工学科	昇降圧チョッパを使った高力率コンバータの研究	平地 克也
	昇圧型不連続モード制御方式の高力率コンバータの研究	
	ホール素子を用いた金属表面凹凸検知	金山 光一
	圧電素子発電型水晶発振器の開発	
	振動駆動モータ用振動発生ユニットの開発	
	光センサを用いた自動織機の緯糸切れ検知システムの開発	
	振動駆動モータの研究	

学科	題 目	指導教員
電 気 情 報 工 学 科	IV 特性推定型 MPPT 手法における MPP 推定精度に関する研究	中川 重康
	超音波デバイスによるオブジェ制御システムの開発	
	I-V 特性スキャン型 MPPT を用いた池浄化システムの試作	
	高速 MPPT に伴う損失低減のための電力平滑化回路の導入	
	FeliCa カードを用いた歩行データ収集システムの構築	
	点字ブロックを用いた歩行支援システムの提案・実装	片山 英昭
	カメラキャリブレーションを用いた撮影画像の歪み修整	
	モバイルネットワークにおける分散型台帳技術による電子決済モデル開発	
	視覚障害者歩行支援のための障害物検出と大きさ推定	
	非楽音の共存した自動採譜システムの構築	
	RFID タグアンテナのための電磁界解析プログラムの開発～PML 法の適用～	竹澤 智樹
	NIRS 脳血流量測定装置の製作	
	水素化アルミニウムの水素脱離の第一原理計算	
	RFID タグアンテナのための電磁界解析プログラムの開発～電磁界の可視化～	
	RFID タグアンテナのための電磁界解析プログラムの開発～並列化による高速化～	
	あそびあむでの活用を目指した IPS の開発	船木 英岳
	AR 技術を用いた漢字学習ソフトの改良	
	障害者のための体操練習支援ツールの改良	
	視線入力を用いたコミュニケーションソフトウェアの開発	
	AR を用いた端末の OS に依存しない漢字学習支援ツールの開発	
	アルミニウムを用いた表面プラズモンフィルタの検討	内海 淳志
	ER 流体を用いた装置開発に向けての基礎的実験	
	ショットキー型フォトダイオードの金属電極膜厚の検討	
	シリコン太陽電池教材の改良	
	太陽光を有効利用する太陽光発電システムの検討	
	画像の持つ方位性を利用した組み合わせ式周波数変換	芦澤 恵太
	残差直交変換の画像拡大への応用	
	ParrotBebop2 と OpenCV による逐次画像処理システムの提案	
	立体構造を持たない空間モデルでの SR システムの提案案	
	画像補間法を用いた次世代画像の信号解析	
	がん温熱治療用空洞共振器の周波数解析 ～数値人体と誘電体の比較～	丹下 裕
	地図情報によって可変する触地図システムの製作に向けた検討	
	ライントレース機能を有する電動車椅子の改良 ～カラーライントレースカーによる試行実験～	
	電子マップを利用した 障害物事前通知システムの改良と運用	
	視覚障がい者の単独歩行を支援する歩行支援システムの開発	
	舞鶴高専鶴友寮の欠食におけるシステムの開発	井上 泰仁
	Pepper による認知症高齢者補助アプリの開発	

学科	題 目	指導教員
電気情報工学科	Google map API を用いたシステムの開発	井上 泰仁
	実験情報に基づく熱性けいれんの解析	
	TwitterAPI を利用した花粉症傾向分析	
電子制御工学	非線形システムにおける静的アンチwindアップ制御の最適化	金森 満
	非線形システムにおける動的アンチwindアップ制御の最適化	
	トライボロジー実験教材の開発に関する研究	野間 正泰
	移動物体まわりの流れの可視化に関する研究	
	身近な物体まわりの流れの可視化と理科教育への適用に関する研究	奥村 幸彦
	水素保炎を利用したアンモニアバーナーの開発	
	NOx 低減と高負荷燃焼の同時機能を目指したアンモニア燃焼の研究	
	触媒担持下におけるチャーのガス化機構	仲川 力
	ヘッドマウントディスプレイを使用したクレーンシミュレータの開発	
	LEGO MINDSTORMS EV3 による台車型倒立振子の製作と制御に関する研究	川田 昌克
	MinSegMega を用いた教育用車輪型倒立振子の開発および安定化制御	
	教育用振動工学実験装置の開発に関する研究	町田 秀和
	二重 PLL モーション制御における位相同期外れ防止に関する研究	
	両方向巻き取り繰り出し・張力・速度コントローラに関する研究	清原 修二
	UV-PDMSモールド液滴室温リバーサル μ コンタクトプリントによる DLCドットアレイの作製	
	ナノテクノロジー教育のためのポータブル室温ナノインプリントシステムの開発	伊藤 稔
	深層強化学習を用いた移動ロボットの障害物回避	
	差分進化の性能改善に関する研究	
	異常検知におけるニューラルネットワークと SVM の性能比較	石川 一平
	インプリント法による微細発光有機 EL の作製に関する研究	
	放射線計測プラスチックの耐薬品性に関する研究	
	自作した放射線計測プラスチックのエッチング特性に関する研究	高木 太郎
	オムニ・メカナムホイールを用いたロボットの製作	
	視覚フィードバックを用いた産業用ロボットの制御	
	マイコンを用いたジャイロカーの制御	平地 克也
	電流共振形昇圧チョッパ回路の動作解析	
	フライバックトランス方式 DC/DC コンバータの特性改善	
建設システム工学科	3D ソフトウェアによる浸水予測地域の可視化に関する研究ー福知山市を対象としてー	高谷 富也
	2000 年の建築基準法の改正に伴う木造 2 階建て住宅の耐震性に関する研究	
	伝統的木造建築物の観光資源としての活用に関する研究 ー宮津市旧三上家住宅を対象としてー	
	微動 H/V と微動アレイ観測による S 波速度構造の推定に関する研究	
	温泉観光地における道路と街並み景観に関する一考察 ーイメージスケールを用いた城崎温泉地区の景観評価についてー	

学科	題 目	指導教員
建設システム工学科	木造住宅群の火災延焼シミュレーションに関する研究 ー与謝野町ちりめん街道周辺地区を対象としてー	高谷 富也
	由良川における河口砂州の動態観測と制御	三輪 浩
	二粒径混合砂礫河床における砂の移動限界	
	覆砂による礫の移動と河床変動	
	メンテナンス工学のための教材開発	玉田 和也
	ウランバートル市の交通渋滞を緩和するための立体交差橋の設計	
	桁橋の振動特性による健全度診断の試行	
	小規模吊橋の振動特性と維持管理に関する基礎的研究	
	東舞鶴中心市街地エリアにおけるまちづくり調査及び拠点の提案	尾上 亮介 今村友里子
	地方都市における移住者促進住宅の提案 ー東舞鶴の古民家を題材としてー	
	市街地における空き家活用提案 ー西舞鶴の町屋改修を通してー	
	女子寮生増加に伴う舞鶴高専学寮 4 号館改修の提案	
	近現代建築の保存活用に関する研究 ～舞鶴市総合文化会館の改修を通して～	四蔵 茂雄
	京都府北部における光合成有効放射量の計測と評価	
	阿蘇海の水質特性 ー過去 30 年間のデータ解析ー	
	阿蘇海の植物プランクトンとクロロフィル調査	加登 文学
	含水状態に着目した盛土の耐震性に関する研究	
	地盤のダイレイタンス特性を考慮した地震時の上下動に関する考察	
	土地の人工改変に着目した舞鶴市の地盤リスクの評価	
	災害時の初動調査におけるドローンの有効活用	徳永 泰伸
	フローリング材の表面温度が床衝撃音の大きさに与える影響	
	道路交通騒音に対する主観評価に視覚情報が与える影響	
	等価な明るさ感に対する色温度と照度の影響	
	アンサンブル演奏を想定した舞台上の音環境評価に関する研究	
	音・映像の視聴環境が音に対する主観評価に与える影響	渡部 昌弘
	舞鶴市内の歴史的遺構の構法に関する調査研究 ー旧海軍第三火薬廠朝来工場砲煩谷 22 工場の歴史と現況ー	
	赤れんが倉庫旧需品庫 2 棟の内部木製フレームの構法に関する調査研究	
	左官モルタルの接着一体性評価試験法の開発	毛利 聡
	接着系あと施工アンカーの施工部が 鉄筋コンクリート部材の耐久性に及ぼす影響の評価	
	コンクリート工学教育のための教育ツールの検討	

専攻科特別研究題目(第2学年)

専攻：総合システム工学専攻

コース	題 目	指導教員
電気電子システム工学コース	エネルギーの概念を導入した蟻コロニー最適化手法に関する研究	伊藤 稔・室巻 孝郎 高木 太郎
	組み合わせ式直交変換に基づく画像圧縮方式の提案	芦澤 恵太・片山 英昭 船木 英岳
	有機半導体放射線検出器の開発と性能評価	石川 一平・清原 修二
	放射線教育のための危険性低減を目指したプラスチック飛跡検出器の改善	石川 一平・清原 修二
	機械学習による差分進化の改良および解析	伊藤 稔・高木 太郎 室巻 孝郎
	DC/DCコンバータのサージ電圧発生メカニズムの研究	平地 克也
	傾斜面に設置された太陽電池発電電力量推定装置の開発	平地 克也・中川 重康 内海 淳志
	畳み込みニューラルネットワークを用いた歩行者用信号機認識手法の改良	片山 英昭・芦澤 恵太 船木 英岳
	SEPIC+ZETA方式双方向チョッパ回路の絶縁方法の研究	平地 克也
	フライイングキャパシタ付き双方向チョッパの新しい制御方式の研究	平地 克也
	福祉支援機器の製作を通じた技術教育手法の開発	丹下 裕・片山 英昭 船木 英岳
機械制御システム工学コース	起立補助椅子の駆動方法に関する研究	川田 昌克・室巻 孝郎 高木 太郎
	非線形ロボットシステムの最適アンチワインドアップ制御	金森 満・川田 昌克 高木 太郎
	進化型計算に基づくロボティック照明の制御アルゴリズムに関する研究	川田 昌克・室巻 孝郎 高木 太郎
	逆円錐台まわりの膜沸騰熱伝達の予測	谷川 博哉・豊田 香
	空気抵抗の少ない新たな風レンズの開発	谷川 博哉
建設工学コース	戦時の工場建築物の構造的観点における現状把握	尾上 亮介・渡部 昌弘
	2016年熊本地震を踏まえた木造建物の地震被害予測に関する基礎的研究	高谷 富也
	あと施工アンカーの施工部が母材鉄筋コンクリートの中性化及び内部鉄筋腐食に及ぼす影響の評価	尾上 亮介・毛利 聡
	刺激の呈示に対する心拍変動の傾向と主観評価の関係	徳永 泰伸・尾上 亮介
	建築雑誌を用いた改修家屋の分類に関する研究	尾上 亮介・渡部 昌弘
	礫床河川への覆砂による砂礫の移動と河床変動に関する研究	三輪 浩

インターンシップ受入先(本科)

学科	受 入 先	人数	学科	受 入 先	人数
機械工学科	(株)イシダ	1	電気情報工学科	関西電力(株)	2
	(株)イズミフードマシナリ	1		(株)かんでんエンジニアリング	1
	一志(株)	1		京セラコミュニケーションシステム(株)	1
	ANAラインメンテナンステクニクス(株)	1		グローリー(株)	1
	(株)エクセディ	1		向洋電機(株)	1
	オムロン制御技術教育キャンプ	7		住友電設(株)	1
	(株)カネカ 滋賀工場	1		ダイキンエアテクノ(株)	1
	(株)カンセツ	1		東芝メディカルシステムズ(株)	1
	キヤノン(株)	1		豊橋技術科学大学	5
	キヤノンマシナリー(株)	1		日新電機(株)	1
	共栄樹脂(株)	1		ニチコン亀岡(株)	1
	(株)クボタ	1		日本電気硝子(株)	1
	熊本高専主催英語キャンプ	1		パナソニック(株)コネクティッドソリューションズ社	1
	グローリー(株)	1		(株)ビジュアルアートセンター	1
	KYB(株)	1		フリュー(株)	1
	三和ハイドロテック(株)	1		(株)堀場製作所	1
	(株)シーアールイー	1		(株)ミライト	1
	JX金属(株)	1		小 計	27
	JNCファイバーズ(株)	1	電子制御工学科	出光興産(株)	1
	島津プレジジョンテクノロジー(株)	1		(株)エフ・エー電子	1
	ジャパンマリンユナイテッド(株)舞鶴事業所	1		(株)NTTフィールドテクノ関西支店	1
	ダイキン工業(株)	1		オムロン(株)綾部工場	1
	大東精機(株)	2		オムロンフィールドエンジニアリング(株)	1
	(株)タンゴ技研	1		花王(株)	1
	(株)椿本チエイン	1		関西電力(株)	1
	東レ・カーボンマジック(株)	1		キヤノン(株)	1
	(株)日進製作所	1		向洋電機(株)	1
	日東精工(株)	2		島津メディカルシステムズ(株)	1
	日本電産テクノモータ(株)	1		ジャパンマリンユナイテッド(株)舞鶴事業所	1
	パナソニック(株)オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社	1		鈴鹿高専	2
	フルヤ工業(株)	1		武田薬品工業(株)	1
	(株)堀場製作所	1		東芝メディカルシステムズ(株)	1
	マルホ発條工業(株)	1		東レエンジニアリング(株)	1
	三菱重工業(株)総合研究所長崎	1		豊橋技術科学大学	7
	(株)村田製作所 八日市事業所	1		(株)日進製作所	1
	ヤンマーエネルギーシステム(株)	1		日本オーチスエレベータ(株)	1
	ヤンマー(株)エンジン事業本部	1		日本電気硝子(株)	1
	リコーインダストリアルソリューションズ(株)	1		日本電産テクノモータ(株)	1
	小 計	46		パナソニック(株)アプライアンス社	1
	池上通信機(株)	1		パナソニック(株)オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社	1
	(株)NTTフィールドテクノ関西支店	1		パナソニックホームエレベータ(株)	1
	オムロン(株)綾部工場	2		(株)堀場製作所	1
	花王(株)	1		ホソカワミクロン(株)	1

学科	受 入 先	人数	学科	受 入 先	人数
電子制御工学科	(株)マイスターエンジニアリング	1	建設システム工学科	京丹後市役所	1
	(株)前川製作所	1		(株)桑原組	1
	村田機械(株)	1		(株)鴻池組	1
	ムラテックCCS(株)	1		コクヨエンジニアリング&テクノロジー(株)	1
	(株)モリタ製作所	1		五洋建設(株)	1
	小 計	37		(株)ジェイアール西日本ビルト	1
建設システム工学科	(株)IHIインフラ建設	2		大鉄工業(株)	1
	ウイズダムデザイン	1		大日コンサルタント(株)	1
	NTTインフラネット(株)	1		丹波市役所	1
	(株)NTTファシリティーズ関西事業部	1		豊岡市役所	1
	大阪ガス(株)	1		豊橋技術科学大学	1
	(株)大阪防水建設社	1		内外エンジニアリング(株)	2
	(株)岡野組	1		中日本建設コンサルタント(株)	1
	(株)奥村組	1		西日本旅客鉄道(株)	2
	オリックス・ファシリティーズ(株)	1		光工業(株)	1
	亀岡市役所	1		舞鶴市役所	1
	川田工業(株)	1		安田建設(株)	1
	関西電力(株)	1		小 計	33
	キクチコンサルタント(株)	1		合 計	143

インターンシップ受入先(専攻科)

コース	受 入 先	人数
MS	九州工業大学	1
	小 計	1
ES	(株)荏原製作所	1
	(株)カシフジ	1
	島津メディカルシステムズ(株)	1
	DMG 森精機(株)	1
	東芝三菱電機産業システム(株)	1
	ニチコンワカサ(株)	1
	日新電機(株)	1
	Hitz 日立造船(株)	1
	(株)堀場エステック	1
	マルホ発條工業(株)	1
	小 計	10
CA	近畿地方整備局	1
	小 計	1
	合 計	12

ES：電気電子システム工学コース

MS：機械制御システム工学コース

CA：建設工学コース

課外活動成績

《体育系》	ベスト6（センター）	坂本龍哉
第54回近畿地区高等専門学校体育大会		
【団体戦】	平成29年度両丹高等学校バレーボール夏季大会	
女子バレーボール 3位	男子	優勝
【個人戦】		
[陸上競技]	平成29年度全日本高等学校バレーボール選手権大会両丹予選会	
男子1500m 2位	男子	2位
3位	ベスト6（レフト）	小川哲汰
男子5000m 1位	ベスト6（センター）	湯原義輝
3位		
女子100m 2位	平成29年度両丹高等学校バレーボール新人大会	
3位	男子ベスト6（レフト）	小川哲汰
[卓球]		
女子ダブルス 3位	森田結衣・川上春菜	
[バドミントン]	第46回舞鶴オープンテニストーナメント	
女子ダブルス 3位	男子ジュニアシングルス 準優勝	中村成志
[水泳]		
男子200mバタフライ 3位	第55回藤川杯クラブ対抗戦（テニス）	
男子400m自由形 3位	舞鶴高専Bチーム	Bクラス準優勝
800mリレー 3位		
（久保田龍祐・大浦真人・坪井一将・廣瀬仁一）	第14回協会長杯ダブルス選手権大会（テニス）	
[テニス]	男子Bクラス 優勝	松村友人・野間純也
女子ダブルス 3位	男子Cクラス 準優勝	田中大智・大野知晟
[柔道]		
男子初心者の部 3位	第61回舞鶴テニス選手権大会	
女子63kg以下級 1位	一般男子シングルス 優勝	松村友人
第18回若狭陸上記録会	第27回綾部オープン卓球選手権大会	
男子800m 1位	団体戦男子（高校生以下の部）	3位
女子円盤投 1位	個人戦男子（高校生以下の部）	3位 安藤 哉
第71回舞鶴市駅伝競争大会	第40回京都公立高等学校柔道大会	
一般男子の部 2位	女子個人戦 3位	河原未侑
舞鶴A		
（藤木勇成・岡健太郎・		
小林大輝・小濱孝佑）		
区間新記録	小松幹昂・小濱孝佑	
第40回近畿地区高等専門学校駅伝競走大会	平成29年度両丹高等学校柔道選手権大会	
男子の部 1位 舞鶴A	男子団体戦 3位	
久木元（区間3位）・小松（区間1位）・	男子66kg以下級 3位	川端 遼
谷口（区間1位）・小林・川本・岡（高）・		
岡（健）（区間3位）		
平成29年度両丹高等学校バレーボール春季大会		
男子 3位		
平成29年度両丹高等学校バレーボール選手権大会	第62回舞鶴市民剣道大会	
男子 3位	男子 ベスト8位	松本岳大
	第50回全国高等専門学校サッカー選手権大会近畿地区大会	
	優秀選手賞	岸本拓馬
	第6回舞Myチャレンジオープン大会（バドミントン）	
	下級女子ダブルス 1位	鈴木彩夏
	中高生の部下級女子シングルス 1位	橘 敦子

第22回近畿高等学校スポーツライミング大会
京都府予選
 個人戦男子 3位 吉岡祐明

第22回近畿高等学校スポーツライミング大会
 個人戦男子 3位 吉岡祐明

第72回国民体育大会 近畿ブロック大会
山岳競技団体戦男子 2位
 (京都府チーム) 吉岡祐明

第27回舞鶴市空手道選手権大会
 個人戦組手男子の部 優勝 小山拓人

第38回近畿地区高等専門学校空手道親善試合
 男子個人組手 3位 小山拓人

《文化系》
Hondaエコマイレッジチャレンジ2017
第31回鈴鹿大会
 グループⅢ 6位

第1級アマチュア無線技士国家試験合格
 富田将志

第3級アマチュア無線技士国家試験合格
 金子満雄・瀧井虹稀

全国高等専門学校第29回プログラミングコンテスト
 自由部門
 敢闘賞、企業賞(ブロードリーフ株式会社)

オムロン・高専機構 共同教育プロジェクト
平成29年度 PLC制御コンテスト
 ～学校内の困りごとを自動制御で解決しよう!!～
 第4位 (佐々木友真・平井大輝・渡邊紘矢・
 鍛次本翔真・藤田優也)

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2017近畿地区大会
 特別賞(ローム) Bチーム

華道 嵯峨御流 免状
 「初伝」取得 2名
 「中伝」取得 3名
 「奥伝」取得 1名

公益社団法人日本設計工学会 学会誌「設計工学」
2018年表紙デザインコンテスト
 最優秀賞 東 晃太郎

日本ナショナルインスツルメンツ株式会社 国立
高等専門学校機構共同教育プロジェクトチーム
「高専生向けNI myRIO組込システム開発コンテスト」
 優秀賞 (川本孝太郎・尾藤大喜・小山拓人・
 滝沢光稀・駒井太郎)

第14回全国高等専門学校デザインコンペティション
 創造デザイン部門 企業賞
 「健輪のムコウ」 木村悠希・田中 甫

第8回高校生の「建築甲子園」
地域のくらし-空き家を生かす-
 準優勝
 「空き家の価値よ、永遠に。～時代に寄り添う
 空き家のカタチ～」 高橋明也
 奨励賞
 「行こうよ!あきやのもり」
 長瀬朝暉・齊藤タクヤ・村上龍紀

課外活動に対する教員の活動状況**齋藤 福栄**

近畿地区高等専門学校体育連盟, 理事 (2017. 4～2018. 3)
全国高等専門学校連合会, 理事 (2016. 4～2018. 6)

吉永 進一

近畿地区高専英語プレゼンテーションコンテスト実行委員

荒川 吉孝

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会, 理事 (2017. 4～2018. 3)

畑 恵里子

特定非営利活動法人「日本語検定」委員会, 作問委員 (2007. 12～2018. 3)
華道嵯峨御流, 「皆伝」, 許状取得 (2017. 8)
華道嵯峨御流, 「師範」, 許状取得 (2017. 8)

藤田 憲司

近畿地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト, 実行委員 (2017. 4～2018. 3)

小野 伸一郎

近畿地区高等専門学校体育連盟, 競技種目 (陸上競技) 専門委員 (2017. 4～2018. 3)

上杉 智子

舞鶴市吹奏楽連盟, 理事 (2017. 4～2018. 3)
近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会, 理事 (2017. 4～2018. 3)

木村 健二

平成29年度近畿地区高等専門学校体育連盟専門委員会, 委員 (2017. 4～2018. 3)
第54回近畿地区高等専門学校体育大会役員, 大会委員 (2017. 4～2018. 3)

西山 等

舞鶴市吹奏楽連盟, 理事 (2017. 4～2018. 3)
近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会, 理事 (2017. 4～2018. 3)

山田耕一郎

平成29年度京都府高等学校体育連盟両丹支部バスケットボール部, 記録委員長 (2017. 4～2018. 3)

中川 重康

舞鶴市公共工事事故調査委員会, 委員 (2016. 4～2018. 3)
舞鶴こども発明クラブ, 指導員 (2017. 7～2018. 2)

片山 英昭

全国高等専門学校プログラミングコンテスト委員会, ブロック委員 (2017. 4～2018. 3)

船木 英岳

舞鶴市テニス協会, 理事 (2017. 4～2018. 3)

芦澤 恵太

京都府高等学校野球連盟, 理事 (2017. 4～2018. 3)

井上 泰仁

高専プログラミングコンテスト委員会，専門委員（2017.4～2018.3）

町田 秀和

NHK高専ロボコン2018年度A, B両チーム指導教員

Aチーム全国大会推薦出場(1回戦突破)，Bチーム近畿地区大会特別賞(ローム株式会社)

玉田 和也

全国高等専門学校デザインコンペティション実行委員会，専門部会専門委員

尾上 亮介

第8回建築甲子園 準優勝，奨励賞，監督（2018.2.7）

徳永 泰伸

舞鶴市吹奏楽連盟，理事（2017.4～2018.3）

近畿地区高専吹奏楽部合同演奏会理事会，理事（2017.4～2018.3）

研 究 活 動

研究業績	1 1 2
人文科学部門	1 1 2
自然科学部門	1 1 4
機械工学科	1 1 5
電気情報工学科	1 2 0
電子制御工学科	1 2 5
建設システム工学科	1 2 9
教育研究支援センター	1 3 3
学位取得状況	1 3 4
研究成果発表状況	1 3 4
外部研究費受入	1 3 5
科学研究費補助金	1 3 5
受託研究，共同研究	1 3 6
寄附金	1 3 7
学協会委員及び学会・研究会等の開催協力	1 3 9
教職員の活動状況	1 4 1

(注) 研究成果発表の分類については，以下のとおりとする。

1. 著書
2. 解説
3. 査読付論文
4. 国際会議
5. 学会発表
6. 特許
7. その他

人文科学部門

荒川 吉孝

その他

舞鶴市糸井文庫蔵『風流新版 竜宮曾我物語』翻刻・語釈・抄訳および英訳，舞鶴工業高等専門学校紀要，No. 53，pp. 50-56，(2018. 3)，畑恵里子，荒川吉孝，原豊二，西野由紀，園山千里，小室智子，吉野健一

畑 恵里子

学会発表

舞鶴市糸井文庫蔵浦島伝説関連資料の基礎的研究の経過報告，立命館大学アート・リサーチセンター文部科学省共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」研究拠点形成支援プログラム 研究プロジェクト2017年度成果発表会，(2018. 2)，畑恵里子

その他

日本学術振興会科学研究費，基盤研究（C），舞鶴市糸井文庫蔵浦島伝説関連資料の基礎的研究，研究課題・領域番号／17K02438，(2017. 4. 1～2020. 3)，畑恵里子（代表者），原豊二（分担者），西野由紀（分担者）

立命館大学アート・リサーチセンター，共同利用・共同研究拠点，日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点 2017年度 共同研究 【研究設備・資源活用型】，舞鶴市糸井文庫蔵浦島伝説関連資料の基礎的研究，(2017. 5～2018. 3)，畑恵里子（代表者），原豊二（分担者），西野由紀（分担者）

公益財団法人日本教育公務員弘済会，2017年度個人研究助成，(2017. 11)，畑恵里子

舞鶴市糸井文庫蔵『風流新版 竜宮曾我物語』翻刻・語釈・抄訳および英訳，舞鶴工業高等専門学校紀要，No. 53，(2018. 3)，畑恵里子，荒川吉孝，原豊二，西野由紀，園山千里，小室智子，吉野健一

藤田 憲司

学会発表

主権に潜む獣性 ― アレグザンダー・ポープ『ウィンザーフォレスト』，名古屋大学英文学会 第56回大会，(2017. 4. 15)

その他

Philip Connell: Secular Chains: Poetry and the Politics of Religion from Milton to Pope，名古屋大学英文学会『IVY』，第50巻，pp. 53-57，(2017. 11)

児玉 圭司

学会発表

明治日本の「監獄学」―その系統と論点の把握に向けて，法制史学会第447回近畿部会，(2017. 5. 20)，児玉圭司

「監獄学」成立期の人的な繋がりと思想的基盤について，法制史学会東京部会第268回，(2017. 10. 21)，

児玉圭司

その他

女性労働者の権利のために―赤松常子、人権のひろば, No. 116, pp. 18-21, (2017. 7), 児玉圭司

矯正資料館のあゆみとその所蔵資料, 刑政, Vol. 128, No. 10, pp. 58-63, (2017. 10), 児玉圭司

書評 新井勉著『大逆罪・内乱罪の研究』(批評社, 2016年), 法制史研究, No. 67, pp. 352-357, (2018. 3), 児玉圭司

牧野 雅司

その他

基調講演「「外国人と会った。どうしよう」を歴史学から考える」高専カンファレンスin舞鶴2 (於・舞鶴工業高等専門学校、2017. 7. 1)

講演「明治5 (1872) 年、加佐郡神崎村・作兵衛親子の漂流」第42回情報科学センター講演会 (於・舞鶴工業高等専門学校、2017. 11. 30)

論文「1872年、加佐郡神崎村・作兵衛親子の漂流」(『舞鶴工業高等専門学校紀要』第53号、2018)

山根 秀介

査読付論文

ウィリアム・ジェイムズにおける実在とその認識, 哲学, 68号, pp. 215-230, 2017. 4, 山根秀介

ウィリアム・ジェイムズにおける「自由意志」と「新しさ」について, 宗教学研究紀要, 14号, pp. 42-57, 2017. 12, 山根秀介

学会発表

ウィリアム・ジェイムズの改善論について, アメリカ哲学フォーラム第四回年次大会, 2017. 6. 23, 山根秀介

その他

(翻訳) マイケル・R・ケリー「生への注意―『物質と記憶』における道徳性の進化」, ベルクソン『物質と記憶』を診断する, pp. 326-355, 2017. 10, 山根秀介

(翻訳) エリー・デューリング「スーパータイムーヴィヴェイロス・デ・カストロの時間的パースペクティヴ主義の哲学的読解」, 思想, no. 1124, pp. 105-129, 米田翼, 山根秀介

自然科学部門

上杉 智子

学会発表

物理チャレンジ2017報告:Ⅲ. 第2チャレンジ理論問題, 日本物理学会2017年秋季大会, (2017. 9. 23), 東辻浩夫, 荒船次郎, 伊東敏雄, 上杉智子, 植田毅, 桂井誠, 川村清, 佐貫平二, 杉山忠男, 鈴木亨, 竹中達二, 波田野彰, 福田恵美子, 松澤通生, 三間園興, 大和地伸雄

第48回国際物理オリンピック報告: I 日本代表候補者の教育研修, 日本物理学会2017年秋季大会, (2017. 9. 23), 田中忠芳, 杉山忠男, 吉田弘幸, 荒船次郎, 上杉智子, 大原仁, 興治文子, 加藤岳生, 他30名

その他

校内模擬試験の実施と物理の学力定着について, 舞鶴高専情報科学センター年報, 第46号, (2017. 3), 上杉智子

機械工学科

生水 雅之

その他

超音波疲労試験機を用いたステンレス鋼SUS430薄板の曲げ疲労試験, 日東精工テクニカルレポートNo. 77, pp. 2-5 (2017. 7. 1), 生水雅之

CBN系ホーニング砥石の湿式摩擦摩耗特性に関する研究, 日進製作所/舞鶴高専共同研究成果発表会, (2018. 2. 23), 前田基稀, 生水雅之

Al-SiCねじの機械的特性に関する研究, 日東精工/舞鶴高専共同研究成果発表会, (2018. 2. 26), 瀬野葉月, 生水雅之

高強度鋼SCM435ボルトの遅れ破壊に関する研究, 日東精工/舞鶴高専共同研究成果発表会, (2018. 2. 26), 岡健太郎, 生水雅之

めっき処理を施したSCM435鋼の回転曲げ疲労強度に関する研究, (2018. 2. 26), 日東精工/舞鶴高専共同研究成果発表会, 岡高志, 生水雅之

西山 等

その他

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2017報告, 舞鶴高専情報科学センター年報, No. 46, pp. 47-53, (2018. 3), 井上雄斗, 中山拓海, 森田健太, 藤田徳享, 小谷文乃, 高村翔太郎, 西山 等, 町田秀和

谷川 博哉

査読付論文

On the effects of flow pulsation upon the performance of flow deflector for catalytic converter, Bulletin of the JSME Mechanical Engineering Journal, Vol. 4, No. 6, 16-00665, (2017. 12), Katsuya HIRATA, Shinya TANAKA, Masaya OTA, Taishi INOUE, Tomohiro OZAKI, Hirochika TANIGAWA

ドデカン用水蒸気改質器の諸性能因子について, 日本機械学会論文集, 84巻857号, 16-00252, (2018. 1), 篠木俊雄, 藤本泰貴, 神園正章, 前田毅, 片桐康誌, 久住真己, 谷川博哉, 舟木治郎, 平田勝哉

石油系高次炭化水素燃料の水蒸気改質, 日本機械学会論文集 84巻859号, 17-00384, (2018. 3), 平田勝哉, 神園正章, 片桐康誌, 久住真己, 武田康良, 篠木俊雄, 谷川博哉

Two-dimensional analysis of a simplified fluidic oscillator, Bulletin of the JSME Mechanical Engineering Journal, Vol. 5, No. 2, 17-00294, (2018. 3), Katsuya HIRATA, Naoki YABUKI, Kazuki UMEMURA, Tatsuya INOUE, Hirohisa WAKISAKA, Hirochika TANIGAWA

国際会議

Hydrogen production from various heavy hydrocarbons by steam reforming, International Conference on Power Engineering, ICOP-17, PowerEnergy2017-3455, (2017. 6), Yasuyoshi TAKEDA, Masaki KUSUMI, Masaaki KAMIZONO, Toshio SHINOKI, Hirochika TANIGAWA, Katsuya

Trident Convection in a Cube, 4th Symposium on Fluid-Structure-Sound Interactions and Control, FSSIC2017, A056, (2017.8), M. Kodama, M. Nobuhara, K. Tatsumoto, H. Tanigawa, K. Hirata

Field Observation and Flow Analysis of a Rotating Pipe in Flight, The Ninth JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference, TFEC9, TFEC9-1061, (2017.10), Kouhei Miyahara, Tatsuya Inoue, Hirochika Tanigawa, Masami Nakano, Katsuya Hirata

学会発表

立方体内の三叉対流, 第54回 日本伝熱シンポジウム, 講演番号A325, (2017.5), 児玉理人, 延原正起, 立元恵祐, 谷川博哉, 平田勝哉

ガソリンや灯油, 軽油などの水蒸気改質について, 第22回 動力・エネルギー技術シンポジウム, 講演番号D111, (2017.6), 武田康良, 久住真己, 神園正章, 谷川博哉, 篠木俊雄, 平田勝哉

極低レイノルズ数での基本的翼型の空力特性と流れの可視化に関する実験と計算, 第45回可視化情報シンポジウム, 講演番号E109, (2017.7), 高橋江梨香, 大西一希, 谷川博哉, 内田孝紀, 杉谷賢一郎, 平田勝哉

単純なフリップ・フロップ・ジェット・ノズルの二次元解析, 日本機械学会 第30回計算力学講演会 (CMD2017), 講演番号168, (2017.9), 太田裕之, 梅村一樹, 井上達哉, 谷川博哉, 平田勝哉

豊田 香

査読付論文

マイクロチューブ圧縮性流れの層流時の局所熱伝達率に関する研究, 舞鶴工業高等専門学校紀要第53号, (2018.3), 村上信太郎, 豊田香

国際会議

1. Some Consideration on the Edge Condition of a Finite-Size Horizontal Downward-Facing Plate in Subcooled Pool Film Boiling, Toyoda, K. and Murakami, S., Proceedings of the 25th International Conference on Nuclear Engineering (ICONE25), ICONE25-66765, 2017, CD-ROM

山田 耕一郎

その他

SCM435セルフタップねじの疲労試験に関する報告, 日東精工株式会社開発課研究報告会 (2018.2.26) 西村夏帆, 澤井瑛良, 山田耕一郎

粒子モデルを用いたシミュレーション例ー研磨屑粒子を含むCMPスラリーのSPH流動シミュレーションー, 砥粒加工学会 研磨の基礎科学とイノベーション専門委員会 第10回研究会, (2018.3.20), 山田耕一郎

小林 洋平

国際会議

EDUCATIONAL WIND TURBINE MODELS FOR SCHOOL CHILDREN, Proc. of ISATE2017, (2017.9), Yohei Kobayashi

学会発表

動揺する垂直軸風車の出力特性, 日本機械学会 第22回動力・エネルギー技術シンポジウム講演論文集, 小林洋平

学校教育を目的とした垂直軸風車に関する研究, 2017年度年次大会講演論文集, 小林洋平

野毛 宏文**国際会議**

Real-Time Non-Surfactant Emulsion Fuel Supply System (RTES) for Diesel Powered Road Transport, Wira Jazair Yahya, Ahmad Muhsin Ithnin, Muhammad Adib Bin Abdul Rashid, Dhani Avianto Sugeng, Nur Atiqah Ramian, Hasannuddin Abd Kadir, Mohamad Azrin Ahmad, Tsuyoshi Koga and Hirofumi Noge, The International Conference and Exhibitions on Inventions by Institutions of Higher Learning (PECIPTA 2017)

その他

平成29年度FD・ICT講演会, 演題: 「アクティブラーニング入門 ― 体験を通して」, 野毛宏文

村上 信太郎**国際会議**

Some Consideration on the Edge Condition of a Finite-Size Horizontal Downward-Facing Plate in Subcooled Pool Film Boiling, Proc. of 2017 The International Conference on Nuclear Engineering, ICONE25-66765, (2017.7), Kaoru Toyoda and Shintaro Murakami

その他

マイクロチューブ圧縮性流れの層流時の局所熱伝達率に関する研究, 舞鶴工業高等専門学校紀要第53号, (2018.3), 村上信太郎, 豊田 香

室巻 孝郎**国際会議**

A pilot study to investigate how the speed of flipping up a seat of assist chairs affects sit-to-stand, 39th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC'17), WeCT7-05.2, (2017.07.12), A. Suda, T. Suzuki, H. Onishi, T. Muromaki, N. Tyler.

Basic Design of a Powered Sit-to-stand Chair with Multi-link System, Hiro, The 4th International Conference on Design Engineering and Science (ICDES 2017), 224, (2017.09.18), Hiro ONISHI, Takao MUROMAKI, Atsushi SUDA, Nick TYLER, Tatsuto SUZUKI.

Experimental Evaluation of an Assist Chair for Sit-To-Stand (On Speed of flipping up a seat of chair), 2nd International Conference on Intelligent Informatics and BioMedical Sciences (ICIIBMS2017), 31-31-17-028-T2P, (2017.11.24), Tatsuto Suzuki, Atsushi Suda, Hiro Ohnishi, Takashi Watanabe, Takao Muromaki, Nick Tyler.

学会発表

起立動作を補助する椅子の設計開発, スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス2017講演論文集, A-13, (2017.11.10), 大西熙, 室巻孝郎, 須田敦, 川田昌克, 鈴木立人

地域創生に向けた新産業を牽引する人材育成教育－舞鶴高専におけるアグリバイオプロジェクト－，日本設計工学会関西支部平成29年度研究発表講演会，(2017. 11. 11)，須田敦，高木太郎，室巻孝郎，古林達哉，児玉圭司

跳躍動作を行う脚型ロボットの開発，日本設計工学会関西支部平成29年度研究発表講演会，(2017. 11. 11)，鰻田圭介，室巻孝郎，万象隆，浦久保孝光

3次元照明システムの設計及び製作，日本設計工学会関西支部平成29年度研究発表講演会，(2017. 11. 11)，辻優希，室巻孝郎，南裕樹，川田昌克

脚型ロボットにおける効率的跳躍動作に関する評価，平成29年度，第3ブロック専攻科研究フォーラム，P-057，(2018. 3. 2)，鰻田圭介，室巻孝郎，須田敦，万象隆，浦久保孝光

その他

三次元照明システムの製作と点灯制御，舞鶴工業高等専門学校紀要第53号，pp. 19-22，(2018. 3)，室巻孝郎，辻優希，南裕樹

3次元CAD教育の応用例，舞鶴高専情報科学センター年報，第46号，pp. 64-70，(2018. 03)，須田敦，室巻孝郎

須田 敦

国際会議

A pilot study to investigate how the speed of flipping up a seat of assist chairs affects sit-to-stand, 39th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC' 17), WeCT7-05.2, (2017. 07. 12), A. Suda, T. Suzuki, H. Onishi, T. Muromaki, N. Tyler

Basic Design of a Powered Sit-to-stand Chair with Multi-link System, The 4th International Conference on Design Engineering and Science (ICDES 2017), 224, (2017. 09. 18), Hiro ONISHI, Takao MUROMAKI, Atsushi SUDA, Nick TYLER, Tatsuto SUZUKI

Experimental Evaluation of an Assist Chair for Sit-To-Stand (On Speed of flipping up a seat of chair), 2nd International Conference on Intelligent Informatics and BioMedical Sciences (ICIIBMS2017), 31-31-17-028-T2P, (2017. 11. 24), Tatsuto Suzuki, Atsushi Suda, Hiro Ohnishi, Takashi Watanabe, Takao Muromaki, Nick Tyler

学会発表

撃心を利用した衝撃低減に関する研究，日本機械学会機械力学・計測制御部門講演会 Dynamics and Design Conference 2017 (D&D2017)，(2017. 08. 30)，321，田上将治，五百井清，須田敦

起立動作を補助する椅子の設計開発，スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス2017，A-13，(2017. 11. 10)，大西熙，室巻孝郎，須田敦，川田昌克，鈴木立人

低振動・衝撃を実現する能制御キャスターの性能検証－環境について－，日本設計工学会関西支部平成29年度研究発表講演会，A5，(2017. 11. 11)，須田敦，竹川朋貴，田上将治，五百井清

地域創生に向けた新産業を牽引する人材育成教育－舞鶴高専におけるアグリバイオプロジェクト－，日本設計工学会関西支部平成29年度研究発表講演会，A8，(2017. 11. 11)，須田敦，高木太郎，室巻孝郎，古林達哉，児玉圭司

脚型ロボットにおける効率的跳躍動作に関する評価，第3ブロック専攻科研究フォーラム，（2018. 03），
鰻田圭介，室巻孝郎，須田敦，万象隆，浦久保孝光

その他

モノづくり企業との産学連携の実例紹介，京都ビジネス交流フェア2018，（2018. 02. 15），須田敦

車いすの使用が人体に与える影響の一考察－乗車時の脳波の場合－，舞鶴工業高等専門学校紀要，第53号，（2018. 03），須田敦，石津憲人

3次元CAD教育の応用例，舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報，第46号，（2018. 03），須田敦，室巻孝郎

日本ナショナルインスツルメンツ・高専機構共同教育プロジェクト2016年度高専生向けNI myRIO組込システム開発コンテスト参加報告，舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報，第46号，（2018. 03），須田敦

日本ナショナルインスツルメンツ・高専機構共同教育プロジェクト2016年度高専生向けNI myRIO組込システム開発コンテスト～NI myRIOを用いた自転車の状態可視化システム～，舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報，第46号，（2018. 03），井口望，中西優斗，中野海，須田敦

日本ナショナルインスツルメンツ・高専機構共同教育プロジェクト2016年度高専生向けNI myRIO組込システム開発コンテスト～「さがルンです」センサで感知ー3つの〇〇ス『ルンです』ー～，舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報，第46号，（2018. 03），川合貴哉，小森創太，清水崇史，徳丸孝太，遊里道風人，須田敦

日本ナショナルインスツルメンツ・高専機構共同教育プロジェクト2016年度高専生向けNI myRIO組込システム開発コンテスト～myRImoCON車（赤外線リモコンで走るラジコン!!）～，舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報，第46号，（2018. 03），藤田恕誠，佛生智哉，益田智未，須田敦

オムロン・高専機構共同教育プロジェクト平成29年度制御技術教育キャンプ参加報告，舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報，第46号，（2018. 03），須田敦

オムロン・高専機構共同教育プロジェクト平成29年度PLC制御コンテスト～学校内の困りごとを自動制御で解決しよう～，舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報，第46号，（2018. 03），鍛次本翔真，渡邊紘矢，佐々木友真，平井大輝，藤田優也，須田敦

電気情報工学科

平地 克也

著書

DC/DCコンバータの基礎から応用まで，電気学会（オーム社），全247頁，（2018. 1），平地克也

査読付論文

新しい制御方式を用いた降圧型高力率コンバータ，パワーエレクトロニクス学会誌，Vol. 42, pp. 105-113, (2017. 4)，平地克也，飯田光浩

学会発表

SEPIC+ZETA方式双方向チョッパ回路の絶縁方法の研究，パワーエレクトロニクス学会誌，Vol. 42, JIPE-42-24, p. 143, (2017. 4)，村上達哉，平地克也

DC/DCコンバータのサージ電圧発生メカニズムの研究，パワーエレクトロニクス学会誌，Vol. 42, JIPE-42-45, p. 164, (2017. 4)，芝本宗一郎，平地克也

フライイングキャパシタ付き双方向チョッパの新しい制御方式の研究，パワーエレクトロニクス学会誌，Vol. 42, JIPE-42-46, p. 165, (2017. 4)，森脇誠斗，平地克也

フライイングキャパシタ付き双方向チョッパのサージ電流抑制方法，電気学会家電民生研究会資料，HCA-17-44, pp. 29-34, (2017. 8)，森脇誠斗，平地克也

マルチセル回路を応用したAC/DC変換回路技術の動向，平成29年電気学会産業応用部門大会，第1分冊，pp. 31-36, (2017. 8)，守屋，堀，西村，平地，枅川，米森，谷口

4相インターリーブ降圧チョッパの動作解析，パワーエレクトロニクス学会，第221回定例研究会，若手のための研究発表会講演予稿集，p. 16, (2017. 12)，曾我部祐貴，平地克也

各種双方向DC/DCコンバータの電流不連続動作によるソフトスイッチングの検討，パワーエレクトロニクス学会，第221回定例研究会，若手のための研究発表会講演予稿集，p. 37, (2017. 12)，中尾剛，平地克也

1石フォワード方式電圧共振型DC/DCコンバータのソフトスイッチング成立条件，パワーエレクトロニクス学会，第221回定例研究会，若手のための研究発表会講演予稿集，p. 35, (2017. 12)，三好勝久，平地克也

金山 光一

その他

第28回全国高専プログラミングコンテスト自由部門TRY聴音羽-聴覚障がい者会話支援システム-，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 46(2018. 3)，出水幹大，日下弦，江隅湖都，藤田優也，金山光一

中川 重康

国際会議

Study of High-Speed Response in I-V Characteristics Estimation Type of MPPT Method Using PV Module

Simulation, 2nd STI-Gigaku 2017, STI-7-6, (2017. 10. 5), Masato TAKAHIRO, Seiji SAKAI, Kento IIDA, Yasunori BANDO, Katsuya HIRACHI, Atsushi UTSUMI, Shigeyasu NAKAGAWA

New method for high-efficiency FF type MPPT based on Equivalent Circuit Models of PV modules, 2nd STI-Gigaku 2017, STI-7-1, (2017. 10. 5), Kento IIDA, Yasunori BANDO, Shigeyasu NAKAGAWA

学会発表

I-V特性推定型MPPTシミュレーションによるミスマッチ損失の評価, 第9回高専パワエレフォーラム, (2018. 3. 13), 高廣真人, 坂東康紀, 飯田健登, 中川重康, 内海淳志, 平地克也

高速なI-V特性推定型MPPTの昇降圧チョッパ制御への対応, 第9回高専パワエレフォーラム, (2018. 3. 13), 山本謙太, 中川重康

I-V特性推定型MPPTシミュレーションによるMPP更新間隔の評価, 平成30年電気学会全国大会講演論文集, 1306-A3, (2018. 3. 14), 高廣真人, 坂東康紀, 飯田健登, 中川重康, 内海淳志, 平地克也

片山 英昭

国際会議

Obstacle Recognition using a Convolution Neural Network In Support of Persons with a Visual Impairment, Proc. Of The 6th IIAE International Conference on Industrial Application Engineering, pp. 14-19, (2018. 3), Tomotaka Fujii, Hideaki Katayama

学会発表

魚眼画像入力に対するSSDを用いた人物検出の評価, 第23回高専シンポジウム, PJ-004, (2018. 1), 田中健大, 片山英昭

モバイルネットワークにおける分散型台帳技術による電子決済モデル開発, 平成29年度高専卒業研究発表会, pp. 39-40, (2018. 3), 沈 嘉秋, 片山英昭

分散型台帳技術を用いたモバイル決済のモデル開発, 情報処理学会第80回全国大会講演論文集, 2ZC-06, (2018. 3), 沈 嘉秋, 片山英昭

魚眼画像入力に対するSSDを用いた人物検出の評価, 第3ブロック専攻科研究フォーラム, P-021, (2018. 3), 田中健大, 片山英昭

竹澤 智樹

国際会議

Adhesion of oxide layer to metal-doped aluminum hydride surface: Density functional calculations, AIP Conference Proceedings 1865, 020011 (2017. 07)

学会発表

「NIRSによる脳機能測定」を異分野の共通課題とする分野横断的教育, 平成29年度全国高専フォーラム, PG26 (2017. 08. 22), 丹下 裕, 竹澤智樹, 中川重康

船木 英岳

学会発表

複数のARマーカを用いた漢字学習ソフトウェアの開発, 第42回教育システム情報学会全国大会講演論文集, pp.153-254, (2017.8), 舩木英岳, 藤本雄生, 丹下 裕

出前授業を通じた特別支援学校教員への技術教育と意識改革への取り組み, 第42回教育システム情報学会全国大会講演論文集, pp.406-407, (2017.8), 舩木英岳, 丹下 裕, 福井繁雄, 畑 亮次, 木下博美

特別支援学校教員を対象とした技術教育システムの構築, 第65回工学教育研究講演会講演論文集, pp.592-593, (2017.8), 丹下 裕, 舩木英岳, 木下博美, 福井繁雄, 畑 亮次, 金森克浩

AR技術を用いた漢字学習教材の開発, Japan ATフォーラム2017 in 函館, PS-11, pp.21-22, (2017.9), 下新祥汰, 藤本雄生, 舩木英岳, 丹下 裕

特別支援学校教員が出前授業で製作したスイッチ等と実践例の紹介, Assistive Technology & Augmentative Communication Conference 2017(ATAC2017), (2017.12), 舩木英岳, 丹下 裕, 福井繁雄, 畑 亮次, 梶田 勲, 平井慎一, 金森克浩

福祉支援機器の製作を通じた技術教育手法の開発, 第23回高専シンポジウム講演要旨集, PG-006, (2018.1), 吉富友輝, 丹下 裕, 舩木英岳

その他

機器運用部門報告, 舞鶴高専情報科学センター年報, No.46, (2018.3), 能勢嘉朗, 舩木英岳

全国高専第28回プログラミングコンテスト 競技部門, 舞鶴高専情報科学センター年報, No.46, (2018.3), 中井隆智, 久万颯一郎, 河原未侑, 舩木英岳

内海 淳志**学会発表**

半導体教育のためのショットキーバリアダイオード作製実験の実施, 第78回応用物理学会秋季学術講演会予稿集, 6a-PA1-15, (2017.9), 江湖俊仁, 内海淳志

シリコン太陽電池教材の改良, 第23回高専シンポジウム in 神戸 講演要旨集, PI-37, (2018.1), 水口公陽, 江湖俊仁, 内海淳志

ショットキー型フォトダイオードの金属電極膜厚の検討, 第23回高専シンポジウム in 神戸 講演要旨集 PI-36, (2018.1), 松平 颯, 江湖俊仁, 池山拓斗, 内海淳志

学生実験用シリコン太陽電池教材の改良, 第65回応用物理学会春季学術講演会予稿集, 18a-P1-34, (2018.3), 水口公陽, 江湖俊仁, 内海淳志

表面プラズモンフィルタを付加したショットキー型フォトダイオードの評価, 第65回応用物理学会春季学術講演会予稿集, 18p-P9-19, (2018.3), 江湖俊仁, 池山拓斗, 内海淳志

芦澤 恵太**国際会議**

A Lapped Directional Wavelet Transform Based On B-Splines, 14th Int. Conf. on Wavelet Anal. and Patt. Recog., pp.43-47, (2017.7), Kensuke Fujinoki and Keita Ashizawa

学会発表

ハール変換における変換係数予測法の高精細画像圧縮への展開（招待講演、60分）、大阪教育大学・数学アドバンスイノベーションプラットフォーム 共催ワークショップ「ウェブレット理論と工学への応用」（2017.11）、芦澤恵太

丹下 裕

国際会議

Improvement of Walking Support System for Visually Impaired Person, Proceedings of the 6th IIAE International Conference on Industrial Application Engineering 2018, pp.72-75, (2018.3), K.Hatano, Y.Tange and H.Katayama

学会発表

視覚障害者の歩行支援を目的とした障害物検出システムの開発とその可能性, 第26回視覚障害リハビリテーション研究発表大会抄録集, p. 50, (2017.6), 丹下 裕, 波多野克信, 渡部翔太

「NIRSによる脳機能測定」を異分野の共通課題とする分野横断的教育, 平成29年度全国高専教育フォーラム, PG-26, (2017.8), 丹下 裕, 竹澤智樹, 中川重康

産学官連携型「技術者としての地域貢献」を実施する教育モデルの構築, 平成29年度全国高専教育フォーラム, PB-1, (2017.8), 片山英昭, 丹下 裕, 竹澤智樹, 中川重康, 内海淳志

複数のARマーカを用いた漢字学習ソフトウェアの開発, 第42回教育システム情報学会全国大会講演論文集, pp.153-154, (2017.8), 舩木英岳, 藤本雄生, 丹下 裕

出前授業を通じた特別支援学校教員への技術教育と意識改革への取り組み, 第42回教育システム情報学会全国大会講演論文集, pp. 406-407, (2017.8), 舩木英岳, 丹下 裕, 福井繁雄, 畑 亮次, 木下博美

特別支援学校教員を対象とした技術教育システムの構築, 第65回工学教育研究講演会講演論文集, pp. 592-593, (2017.8), 丹下 裕, 舩木英岳, 木下博美, 福井繁雄, 畑 亮次, 金森克浩

AR技術を用いた漢字学習教材の開発, Japan ATフォーラム2017 in 函館, PS-11, pp.21-22, (2017.9), 下新祥汰, 藤本雄生, 舩木英岳, 丹下裕

人の重心移動によって操作する電動車椅子の操作部の開発, Japan ATフォーラム2017 in 函館, PS-15, pp. 29-30, (2017.9), 尾内亮太, 丹下 裕, 福井繁雄, 片山英昭, 竹澤智樹

特別支援学校教員が出前授業で製作したスイッチ等と実践例の紹介, Assistive Technology & Augmentative Communication Conference 2017(ATAC2017), (2017.12), 舩木英岳, 丹下 裕, 福井繁雄, 畑 亮次, 梶田 勲, 平井慎一, 金森克浩

福祉支援機器の製作を通じた技術教育手法の開発, 第23回高専シンポジウム講演要旨集, PG-006, (2018.1), 吉富友輝, 丹下 裕, 舩木英岳

電動車椅子の操作を目的としたALS患者のための入力装置の開発, 第23回高専シンポジウム講演要旨集, PI-001, (2018.1), 福田裕輝, 丹下 裕

電子マップを利用した障害物事前通知システムの改良, 第23回高専シンポジウム講演要旨集, PJ-020, (2018.1), 中口卓弥, 丹下 裕, 片山英昭

深部がんの加温を目指したがん温熱治療用空洞共振器の電磁界解析，第23回高専シンポジウム講演要旨集，PI-039，(2018. 1)，神谷昌明，丹下 裕

人の重心移動を利用した電動車いすの操作装置の開発，第23回高専シンポジウム講演要旨集，PI-010，(2018. 1)，尾内亮太，丹下 裕，福井繁雄，竹澤智樹，片山英昭

視覚障害者の単独歩行を支援する静止障害物検出システムの改良，2018年総合大会講演論文集，p. 217，(2018. 3)，波多野克信・丹下 裕・片山英昭

井上 泰仁

査読付論文

高専プログラミングコンテスト参加による実践的プログラミング教育，日本計算工学会論文集，2018巻，1号，p. 20181002，寺元貴幸，小保方幸次，井上泰仁，川田重夫

国際会議

Prediction of GPCR-G Protein Coupling Specificity Based on Transmembrane Topologies，16th International Conference on Bioinformatics，(2017. 9)，Riku Ashida and Yasuhito Inoue

学会発表

シルエットパズル型ゲームへの参加による実践的プログラミング教育，計算工学講演会論文集，22巻，p. 4，(2017. 5)，寺元貴幸，小保方幸次，井上泰仁，出江幸重，江崎修央，田添丈博，奥田遼介，川田重夫

高専プロコン競技部門「おいでませ，ホントの魅力へ」のシステム構築，第23回高専シンポジウム2017，(2018. 3)，井上泰仁，橘理恵，小保方幸次，松野良信，黒木祥光，小嶋徹也，出江幸重，奥田遼介，佐藤秀一，寺元貴幸

その他

「プログラミング教室」の開催，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 46，pp. 62-63，(2018. 3)，井上泰仁

電子制御工学科

金森 満

国際会議

Optimization of anti-windup for on-linear systems with actuator saturation, Proceedings of the 20th IFAC World Congress, pp.770-775, (2017.7), Mitsuru Kanamori and Takuma Saga

Optimization of dynamic anti-windup for planner robot systems with actuator saturation, Proceedings of the 23rd IEEE International Conference on Automation and Computing, (2017.9), Mitsuru Kanamori, Takuho Kurahashi and Masato Noguchi

Experimental study on anti-windup optimization for non-linear systems with actuator saturation, Proceedings of the 21st International Conference on System Theory, Control and Computing, pp.796-801, (2017.10), Mitsuru Kanamori and Takuma Saga

Optimization of dynamic anti-windup for non-linear robot systems with actuator saturation, Proceedings of the IEEE International Automatic Control Conference, Taiwan, (2017.11), Mitsuru Kanamori, Takuho Kurahashi and Masato Noguchi

学会発表

2自由度平面駆動ロボットにおける動的アンチ・ワインドアップ制御の最適化, 第60回自動制御連合講演会, (2017.11), 倉橋拓歩, 野口真聖, 金森 満

受動性に基づく非線形システムのアンチ・ワインドアップ制御(Keynote招待講演), 第18回 計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会, pp.127-132, (2017.12), 金森 満

非線形システムにおける静的アンチ・ワインドアップ制御の最適化, 第18回 計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会, pp.133-138, (2017.12), 嵯峨拓真, 金森 満

野間 正泰

学会発表

簡易風洞装置による身近な物体まわりの流れの可視化と理科教育への適用, 関西潤滑懇談会7月例会 (2017.7.21), 岡本瞭太郎, 尾松来基, 迫田光太郎, 野間正泰

水素気泡法による移動物体まわりの流れの可視化と理科教育への適用, 関西潤滑懇談会7月例会 (2017.7.21), 植田祐未, 植村多可志, 金井峻輔, 野間正泰

移動物体まわりの流れの可視化と理科教育への適用, 日本理科教育学会近畿支部大会(滋賀大会) 発表論文集, p.19, (2017.11), 植村多可志, 金井峻輔, 野間正泰

トライボロジー実験の導入, 日本理科教育学会近畿支部大会(滋賀大会) 発表論文集, p.20, (2017.11), 植田祐未, 野間正泰

身近な物体まわりの流れの可視化と理科教育への適用, 日本理科教育学会近畿支部大会(滋賀大会) 発表論文集, p.21, (2017.11), 岡本瞭太郎, 尾松来基, 迫田光太郎, 野間正泰

舞鶴工業高等専門学校におけるトライボロジー実験の導入, 日本トライボロジー学会・”超”を目指す

軸受技術研究会第54回研究会, (2017. 12. 16), 植田祐未, 野間正泰

身近な物体まわりの流れの可視化と小学校での実践, 日本トライボロジー学会・”超”を目指す軸受技術研究会第54回研究会(2017. 12. 16), 岡本瞭太郎, 植村多可志, 植田祐未, 野間正泰

その他

身近な流れと摩擦の可視化, 兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科・高等専門学校第4回研究交流会 (2018. 3. 26), 野間正泰, 植田祐未, 植村多可志, 岡本瞭太郎

奥村 幸彦

査読付論文

Dispersion State of Catalytic Metal Supported on Bio-Char Elucidated Using Energy Dispersive X-ray Spectroscopy: Effects of Catalyst Type and Heating Process, Journal of the Japan Institute of Energy, Vol. 96, pp. 73-85, DOI:http://doi.org/10.3775/jie.96.73, (2017. 4), Toshiaki HANAOKA, Yukihiro OKUMURA

国際学会

Effect of Gasifying Agents on the Gasification Rate of Biomass-Derived Char, Proc. The Ninth JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference, Session:T14 Recent Development of Biomass Conversion Technology-1, paper-TFEC9-1010, 5pages, (2017.10), Yukihiro Okumura, Shuhei Ohtani

学会発表

触媒担持によるバイオマスチャーのガス化速度向上機構に関する研究, 第27回環境工学総合シンポジウム2017講演論文集(日本機械学会主催), 講演No. 210, pp. 179-182, (2017. 7), 奥村幸彦

ガス化の進行に伴うバイオマスチャー細孔の発達機構, 第26回日本エネルギー学会大会講演論文集(日本エネルギー学会主催), 講演No. 3-7-2, pp. 110-111, (2017. 8), 奥村幸彦, 大谷周平, 田中裕也

Fe 触媒担持下におけるチャーのガス化機構、第54回石炭科学会議論文集(日本エネルギー学会主催), Session:ガス化・燃焼(3), 講演No. 2-5, pp. 62-63, (2017. 10), 奥村幸彦

水素保安を利用したアンモニアバーナーの開発, 第55回燃焼シンポジウム講演論文集(日本燃焼学会主催), Session:D33新燃焼法Ⅱ, 講演番号No. D332, USB-Proc, pp. 502-503, (2017. 11), 奥村幸彦

川田 昌克

査読付論文

差分進化に基づく2軸ヘリコプタのPID制御系設計と実機実験による検証, システム制御情報学会論文誌, Vol. 30, No. 11, pp. 411-419(2017. 11), 吉川友真, 川田昌克

学会発表

LEGO MINDSTORMS を利用した教育用倒立振子の開発, 第5回制御部門マルチシンポジウム(第46回制御理論シンポジウム), 全8頁, (2018. 3), 川田昌克, 青木紘海

町田秀和

学会発表

2重PLLモーション制御における位相同期外れ防止に関する研究, 2017年度第60回自動制御連合講演会論文集, SuI2-6, (2017. 11), 町田秀和, 井上基, 竹端直暉(以上舞鶴工業高等専門学校), 神原道信(エフエー電子:受託研究先)

その他

IoTハンズオンセミナーin舞鶴の報告, 舞鶴高専情報科学センター年報, (2018. 3), 町田秀和, 富田将志(4S)

清原 修二

査読付論文

Fabrication of Nitrogen-Containing DLC Film by Filtered Arc Deposition as Conductive Hard-Coating Film, Jpn. J. Appl. Phys., Vol. 57, No. 1S, p. 01AE07. (2017), Yushi Iijima, Toru Harigai, Ryo Isono, Takahiro Imai, Yoshiyuki Suda, Hirofumi Takikawa, Masao Kamiya, Makoto Taki, Yushi Hasegawa, Nobuhiro Tsuji, Satoru Kaneko, Shinsuke Kunitsugu, Hitoe Habuchi, Shuji Kiyohara, Mikio Ito, Sam Yick, Avi Bendavid, and Phil Martin

学会発表

液滴室温リバーサルマイクロコンタクトプリントによるDLCドットアレイの作製, 2017年度精密工学会関西地方定期学術講演会講演論文集, pp. 66-67, (2017. 6), 吉田圭汰, 清原修二, 石川一平, 針谷達, 谷本壮, 滝川浩史, 倉島優一

放射線教育プラスチック検出器のエッチング特性改善の試み, 第23回高専シンポジウム講演予稿集, p. PF-044, (2018. 01), 石川一平, 植田涼介, 清原修二

有機半導体放射線検出器の開発と性能評価, 第23回高専シンポジウム講演予稿集, p. PI-035, (2018. 01), 井之上樹, 石川一平, 清原修二

UV-PDMSモールドを用いた液滴室温リバーサルマイクロコンタクトプリントによるDLCドットアレイの作製, 平成29年度電気学会関西支部高専卒業研究発表会講演論文集, pp. 17-18, (2018. 3), 筒井舜平, 清原修二, 石川一平, 吉田圭汰, 針谷達, 谷本壮, 滝川浩史, 倉島優一

その他

液滴室温リバーサルマイクロコンタクトプリントによるDLCドットアレイの作製, 平成29年度先進技術に関するシンポジウム, 高専連携教育研究プロジェクト進捗状況報告会, p. 33, (2017. 12), 吉田圭汰, 清原修二, 筒井舜平, 橘高雅史, 針谷達, 谷本壮, 滝川浩史

PDMSモールドを用いた液滴室温リバーサルマイクロコンタクトプリントリソグラフィによるDLCドットアレイの作製, SEAJ Journal, No. 160, pp. 32-36. (2018. 2) 清原修二, 吉田圭汰, 筒井舜平, 橘高雅史, 岩佐青熙

伊藤 稔

国際会議

Parameter Optimization of Simple Adaptive Control via Differential Evolution, 2017 6th International Symposium on Advanced Control of Industrial Process (AdCONIP), Taipei, 2017, pp. 318-323 (2017. 3), T. Takagi, M. Ito, I. Mizumoto

石川 一平

学会発表

液滴室温リバーサルマイクロコンタクトプリントによるDLCドットアレイの作製, 2017年度精密工学会関西地方定期学術講演会講演論文集, pp. 66-67, (2017. 6), 吉田圭汰, 清原修二, 石川一平, 筒井舜平, 針谷達, 谷本壮, 滝川浩史, 倉島優一

放射線教育プラスチック検出器のエッチング特性改善の試み, 第23回高専シンポジウム講演予稿集, p. PF-044, (2018. 1), 石川一平, 植田涼介, 清原修二

有機半導体放射線検出器の開発と性能評価, 第23回高専シンポジウム講演予稿集, p. PI-035, (2018. 1), 井之上樹, 石川一平, 清原修二

UV-PDMSモールドを用いた液滴室温リバーサルマイクロコンタクトプリントによるDLCドットアレイの作製, 平成29年度電気学会関西支部高専卒業研究発表会講演論文集, pp. 17-18, (2018. 3), 筒井舜平, 清原修二, 石川一平, 吉田圭汰, 針谷達, 谷本壮, 滝川浩史, 倉島優一

高木 太郎

査読付論文

SACと適応PFCを用いた適応制御系のツインロータヘリコプタに対する一構成法とその検証, システム制御情報学会論文誌, Vol. 30, No. 10, pp. 379-385, (2017. 10), 高木太郎, 藤田健汰, 水本郁朗:

国際学会

Parameter Optimization of Simple Adaptive Control via Differential Evolution, Proc. of 6th International Symposium on Advanced Control of Industrial Processes (AdCONIP), pp. 318-323 (2017. 5), Taro Takagi, Minoru Ito and Ikuro Mizumoto

Parameter Optimization with Input/Output Data via DE for Adaptive Control System with Neural Network, The 2018 International Conference on Artificial ALife and Robotics (ICAROB 2018), pp. 338-341, (2018. 2), Taro Takagi, Ikuro Mizumoto

学会発表

適応PFCを用いたSACのツインロータヘリコプタによる実証実験, 平成29年電気学会電子・情報・システム部門大会講演論文集, pp. 20-26, (2017. 9), 高木太郎, 藤田健汰, 水本郁朗

地域創生に向けた新産業を牽引する人材育成教育－舞鶴高専におけるアグリバイオプロジェクター, 日本設計工学会関西支部平成29年度研究発表講演会, A8, (2017. 11. 11), 須田敦, 高木太郎, 室巻孝郎, 古林達哉, 児玉圭司

その他

入出力データを用いた適応並列フィードフォワード補償器と単純適応制御, 電気学会技術報告 データに基づく性能指向型制御システム設計, 第1411号, 9章分担 pp. 34-37, (2017. 11), データに基づく性能指向型制御システム調査専門委員会編 高木太郎 (他19名, 順不同)

建設システム工学科

高谷 富也

査読付論文

Seismic Damage Evaluation of Wooden House Against Consecutive Strong Earthquake Motions, Journal of Civil Engineering and Construction (ISSN: 2051-7769), (2018.3), Tomiya Takatani, Hayato Nishikawa

国際会議

Seismic Performance of Japanese-Style Two-Story Wooden House Against The 2016 Kumamoto Earthquake, Proceedings of the 2017 World Congress on Advances in Structural Engineering and Mechanics (ASEM17), Ilan(Seoul), Korea, (2017.8), Tomiya Takatani and Hayato Nishikawa

Directivity Effect of The 2016 Kumamoto Earthquake on Both the Ground Motion and the Damage of Wooden House, Proceedings of the 2017 World Congress on Advances in Structural Engineering and Mechanics (ASEM17), Ilan(Seoul), Korea, (2017.8), Hayato Nishikawa and Tomiya Takatani

Seismic Damage Evaluation of Wooden House With or Without Metal Joint Between Timber Members, Proceedings of the Fifteenth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering & Construction (EASEC15), Xi'an, China, (2017.10), Hayato Nishikawa and Tomiya Takatani

学会発表

福井県小浜市の伝統的木造建築物の振動特性評価, 2017年（平成29年度）日本建築学会大会（中国）大会学術講演概要集, pp.561-562, 平野竜一朗, 高谷富也, 西川隼人

その他

マルチエージェント・シミュレーションを用いた津波浸水避難について-舞鶴市小橋・三浜地区を対象として-, 舞鶴高専情報科学センター年報, No. 46, pp. 1-11, (2018.3), 井上愛之, 高谷富也

原子力災害に伴う住民避難シミュレーションについて-マルチエージェント・システムの適用-, 舞鶴高専情報科学センター年報, No. 46, pp. 12-21, (2018.3), 太田宇叶, 高谷富也

伝統的木造建築物の保存と活用を目指した3次元可視化モデル作成について-舞鶴市聚幸庵を対象として-, 舞鶴高専情報科学センター年報, No. 46, pp. 22-35, (2018.3), 中西航, 高谷富也

木造2階建て建築物の耐震性評価について-綾部市志賀郷公民館の起振器実験-, 舞鶴高専紀要, 第53号, pp. 33-40, (2018.3), 高谷富也, 西川隼人, 西村良平, 清水嵩史

四蔵 茂雄

学会発表

平成29年度土木学会関西支部学術講演会, 山口恵太, 四蔵茂雄

その他

海水試料を対象とした全窒素分析法の検討-臭化物イオン補正法の提案-, 舞鶴高専情報科学センター年報, (2018.3), 四蔵茂雄

三輪 浩**査読付論文**

2粒径条件下の掃流砂輸送に関する実験的研究, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.74, No.4, pp. I_1063-I_1068, (2018.2), 原田守啓, 大橋一弘, 井上公斗, 三輪 浩

Effects of sand content on initial gravel motion in gravel-bed rivers, Earth Surface Processes and Landforms, Vol.42, Issue 9, pp.1355-1364, (2017.7), Hiroshi Miwa and Gary Parker

国際会議

Gravel motion and channel evolution due to sand supply to gravel-beds: preliminary results, Proceedings of the 10th Symposium on River, Coastal and Estuarine Morphodynamics, p.44, (2017.9).Hiroshi Miwa and Keitaro Yamada

学会発表

礫床河川への覆砂による砂礫の移動と流路変動, 平成29年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集(CD-ROM), II-8, (2017.5), 山田啓太郎, 横江佳人, 三輪 浩

二粒径混合砂礫床における砂の移動限界と基盤構造の影響, 平成29年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集(CD-ROM), II-7, (2017.5). 玉木 光, 北中知佑, 山田啓太郎, 三輪 浩

覆砂による礫床河川の土砂移動と流路変動への効果, 第72回土木学会年次学術講演会講演概要集II, pp. 317-318, (2017.9), 山田啓太郎, 三輪 浩, 横江佳人

混合砂礫河床における砂の移動限界と基盤構造の効果, 第72回土木学会年次学術講演会講演概要集II, pp. 309-310, (2017.9), 玉木 光, 山田啓太郎, 三輪 浩

由良川河口域における波浪による砂州の動態に関する実験的研究, 神戸高専地域協働研究センター産学金学官技術フォーラム'17 講演論文集, p. 55, (2017.11), 光長俊一郎, 垣尾勇樹, 上原直也, 神田佳一, 三輪 浩

波浪による由良川河口砂州の発達特性に関する実験的研究, 第23回高専シンポジウム講演要旨集, D-23, (2018.1), 垣尾勇樹, 光長俊一郎, 上原直也, 神田佳一, 三輪 浩

玉田 和也**解説**

地元インフラを地元で守り次世代へと継承する建設技術者育成, 土木施工, pp. 68-69, (2017.7), 玉田 和也

橋梁点検について, 神戸市測量設計協力会「測量・設計」, pp. 12-14, (2017.12), 玉田和也

学会発表

構造力学及び鋼構造学のための教材開発, 土木学会第72回年次学術講演会, CS-006, pp. 11-12, 玉田和也

固有振動数測定のため低減に向けて, 土木学会第72回年次学術講演会, I-361, pp. 721-722, 富岡昭浩, 玉田和也, 宮下剛, 有馬直秀, 黒木孝司

尾上 亮介**その他**

「商店街巡礼」、舞鶴市民新聞連載（2010.1～）、尾上亮介

舞鶴総合文化会館長寿命化に伴う外装デザイン（2017.12）、尾上研究室

舞鶴市UIターン者のためのお試し住宅 内装設計・監修（2018.3）尾上研究室

加登 文学**査読付論文**

2つの地震観測地点での大加速度記録に関する地盤の弾塑性論的考察，日本地震工学会論文集，Vol.17(2017)，No.10，pp.4_30-4_49，(2017.8)，森尾敏，加登文学，藤井照久

学会発表

ディレクティビティ効果に着目した平成28年熊本地震による強震動の距離減衰特性，平成29年度土木学会関西支部年次学術講演会概要集，I-29，(2017.5)，前田翼，加登文学

砂質土の繰返し一面せん断挙動に与える上下動の影響，第23回高専シンポジウムin KOBE講演要旨集，D-028，(2018.1)，前田翼，加登文学

災害時の初動調査におけるドローンの活用について，第23回高専シンポジウムin KOBE講演要旨集，PD-011，(2018.1)，加登文学，藤原涼，前田翼

徳永 泰伸**査読付論文**

室内音場の主観的印象に対する視覚情報の影響及び視聴覚間の違和感との関連性，日本建築学会環境系論文集，pp.257-265，vol.84，No.745，(2018.3)，石川あゆみ，寺島貴根，徳永泰伸

国際会議

A relation between the surface temperature of a polyvinyl chloride flooring material and an impact sound generated therefrom, InterNoise 2017, Hong Kong(2017.8), pp.5077-5081, Y.Tokunaga and T.Terashima

An experimental result of influence of visual presentation method on subjective evaluation of moving boat noise, InterNoise 2017, Hong Kong (2017.8), pp.6915-6921, K. Muto, S.Hosono, Y.Tokunaga

学会発表

視聴覚刺激提示による心拍変動と主観評価の関係，日本建築学会2017年度大会，D-1，pp.27-28，(2017.9)，松下千穂，徳永泰伸，寺島貴根

タスク・アンビエント照明方式を用いた光色の対比・同化効果に関する研究，第23回高専シンポジウム，D-06，(2018.1)，古田響，徳永泰伸

音楽受聴時の視覚情報の有無による主観評価の差異，第23回高専シンポジウム，D-07，(2018.1)，藤川大輝，徳永泰伸

毛利 聡

学会発表

金属系あと施工アンカーの施工部が母材コンクリートの中性化に及ぼす影響の評価，日本建築学会大会
学術講演梗概集，pp. 761-762，（2017. 8），福德真奈美，毛利聡

今村友里子

学会発表

イサム・ノグチのgardenにおける景観論的研究VI チェイス・マンハッタン銀行広場の庭園と龍安寺，日
本建築学会学術講演梗概集. F-2，建築歴史・意匠2017，pp. 779-780，（2017. 7. 20），今村友里子，熊澤栄
二

その他

イサム・ノグチのランドスケープ制作，第42回情報科学センター講演会 講師，（2017. 11. 30），今村友
里子

教育研究支援センター

能勢 嘉朗

その他

機器運用部門報告，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 46，pp. 117-118，（2018. 3），能勢嘉朗，舩木英岳

平成29年度国立高等専門学校機構情報担当者研修会報告，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 46，pp. 125-126，（2018. 3），能勢嘉朗，片山英昭，中川清光

高専統一ネットワークシステムの導入について，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 46，pp. 121-123，（2018. 3），能勢嘉朗，片山英昭

平成29年度近畿地区高等専門学校情報処理教育連絡協議会報告，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 46，pp. 119-120，（2018. 3），片山英昭，能勢嘉朗

西川 隼人

査読付論文

鳥取県鹿野地域の地盤構造および地盤震動特性，土木学会論文集A1（構造・地震工学），第73巻，第4号，pp. I_894-I_906，（2017. 9），野口竜也，上野太士，西川隼人，吉田昌平，香川敬生

学会発表

大きな材料減衰を有する地盤の複素剛性の減衰効果に関する基礎的考察，2017年度日本建築学会大会，構造Ⅱ，講演番号21183，pp. 365-366，（2017. 9），安井譲，高野真一郎，西川隼人，前田寿朗

福井県小浜市の伝統的木造建築物の振動特性評価，2017年度日本建築学大会，構造Ⅱ，講演番号22281，pp. 561-562，（2017. 9），平野竜一郎，高谷富也，西川隼人

2016年鳥取県中部の地震における非線形地盤応答，土木学会第37回地震工学研究発表会，演番号C21-1114，pp. 1-6，（2017. 10），野口竜也，西川隼人，香川敬生，吉田昌平

眞柄賢一

著書

いまからはじめるNC工作第2版，オーム社，全283頁，（2017. 11），眞柄賢一

西村 良平

その他

木造2階建て 2階建て 建築物 の耐震性評価について-綾部市志賀郷公民館の起振器実-，舞鶴高専紀要，第53号，pp. 33-40，（2018. 3），高谷富也，西川隼人，西村良平，清水嵩史

平成29年度教育研究支援センター公開講座「おしゃれ行燈をつくろう」，舞鶴高専情報科学センター年報，第46号，pp. 55-58，（2018. 3），西村良平，西川隼人，植田邦明，桝田 勲，櫻井一樹

学位取得状況

学位	校長	人文	自然	機械	電気	制御	建設	計
博士		3	6	11	10	10	10	50
修士		6	3					9
学士	1	1	1					3
合計	1	10	10	11	10	10	10	62

研究成果発表状況

区 分	著 書	解 説	査読論文	国際会議	学会発表	特 許	その他	計
校 長								0
人文学部			2		5		14	21
自然科学部					2		1	3
機械工学科			5	11	16		21	53
電気情報工学科	1		2	7	45		4	59
電子制御工学科			4	8	26		5	43
建設システム工学科		2	5	6	18		9	40
教育研究支援センター	1		1		3		6	11
合 計	2	2	19	32	115	0	60	230

外部研究費受入

科学研究費助成事業

研究 種目等	研究課題名	研究代表者	配分額 (千円)
基盤研究 (C)	「NIRSによる脳機能測定」を異分野の共通課題とする高等 専門学校の分野横断的教育	竹澤 智樹 (電気情報工学科)	520
基盤研究 (C)	石炭燃焼に伴う微量有害金属の PM2.5 への濃縮・凝縮機 構の解明	奥村 幸彦 (電子制御工学科)	845
基盤研究 (C)	難解な制御工学を実体験により学び直すことができる実 験教材の開発	川田 昌克 (電子制御工学科)	780
基盤研究 (C)	障害物情報を配信する電子マップと連動した視覚障害者 の歩行を支援する超音波白杖	丹下 裕 (電気情報工学科)	910
基盤研究 (C)	特別支援学校教員の技術力向上のために高専の実践教育 を取り入れた教育システムの構築	舩木 英岳 (電気情報工学科)	325
基盤研究 (C)	「技術者としての地域貢献」を舞鶴市と連携して実施する 教育モデルの構築	片山 英昭 (電気情報工学科)	390
基盤研究 (C)	礫床河川への覆砂による土砂移動機構と流路の再変動化 に関する研究	三輪 浩 (建設システム工学科)	1,170
基盤研究 (C)	舞鶴から日本のエネルギーを変える：浮体式洋上風車発 電量予測手法の確立	小林 洋平 (機械工学科)	1,300
若手研究 (B)	廃藩置県をめぐる日朝双方の対応を軸に読み解く近代日 朝関係の成立	牧野 雅司 (人文科学部門)	910
若手研究 (B)	監獄学（刑事政策学）継受過程の再検討-「日本の特質」 をめぐる言説に着目して	児玉 圭司 (人文科学部門)	650
基盤研究 (C)	雑誌メディアによる戦後日本の秘教運動の宗教史的研究 -「日本神学」の変遷を追って	吉永 進一 (人文科学部門)	260
基盤研究 (C)	舞鶴市糸井文庫蔵浦島伝説関連資料の基礎的研究	畑 恵里子 (人文科学部門)	845
基盤研究 (C)	学習到達度への影響を含む物理的学習環境評価手法の政 策形成過程での活用に関する研究	齊藤 福栄 (校長)	1,690
若手研究 (B)	放射線教育プラスチック検出器のエッチング特性改善に よる危険性の低減	石川 一平 (電子制御工学科)	1,430
若手研究 (B)	シリコン太陽電池教材を用いた教育プログラムの開発	内海 淳志 (電気情報工学科)	1,430
若手研究 (B)	超音波液中プラズマ制御によるパーム酸油の低温流動性 改善と NOX 低減機構の解明	野毛 宏文 (機械工学科)	3,510
若手研究 (B)	能動制御キャスターの体系的制御手法の提案と複数制御 による低振動・低衝撃台車の実現	須田 敦 (機械工学科)	1,690
計	17 件		18,655

※間接経費を含む。学外分担者への送金分は含まない。

受託事業

研究題目	研究担当者	相手先	受入額 (千円)
京都府北部地域におけるアクティブ・ラーニングを基軸と したインフラメンテナンス技術者育成のための教育プロ グラムの開発	玉田 和也 (建設システム工学科)	文部科学省	16,594
計		1 件	16,594

受託研究

研 究 題 目	研究担当者	相手先	受入額 (千円)
舞鶴市イルミネーション設置事業（東舞鶴駅周辺）に関する研究	中川 重康 (電気情報工学科)	舞鶴市	1,500
舞鶴市総合文化会館外装改修における外観デザインの研究・提案	尾上 亮介 (建設システム工学科)	舞鶴市	432
橋梁長寿命化修繕計画実施における課題の検討及び調査研究	玉田 和也 (建設システム工学科)	舞鶴市	486
巻取機械制御器におけるデジタルフィルタの活用に関する研究	町田 秀和 (電子制御工学科)	株式会社 エフ・エー電子	300
巻取機械制御器における微分要素の活用に関する研究	町田 秀和 (電子制御工学科)	株式会社 エフ・エー電子	300
公共施設構造体健全性評価の研究	毛利 聡 (建設システム工学科)	舞鶴市	162
組み立て式簡易室における室内環境の測定および改良	徳永 泰伸 (建設システム工学科)	西田製函 株式会社	100
空き家を活用したお試し住宅の設置に係る建物改修業務に関する研究	尾上 亮介 (建設システム工学科)	舞鶴市	100
計		8 件	3,380

※間接経費を含む。

共同研究

研 究 題 目	研究担当者	相手先	受入額 (千円)
DCDC コンバータの小型化	平地 克也 (電気情報工学科)	富士通テン株式会社 (愛知県豊橋市)	178
砥石評価技術確立の為の共同研究	生水 雅之 (機械工学科) 山田 耕一郎 (機械工学科)	株式会社日進製作所 (京丹後市)	400
太陽電池における FF 型 MPPT 手法の応答速度に関する研究	中川 重康 (電気情報工学科)	長岡技術科学大学 (新潟県長岡市)	500
液滴室温リバーサルマイクロコンタクトインプリントリソグラフィによる DLC エミッタの開発	清原 修二 (電子制御工学科)	豊橋技術科学大学 (愛知県豊橋市)	266
工場の自動化に関する研究	須田 敦 (機械工学科) 室巻 孝郎 (機械工学科)	株式会社ダイゾー エアゾール事業部 京都工場 (京都市)	1,000
計		5 件	2,344

※間接経費を含む。

寄附金

件 名	研究担当者	受入額 (千円)
iMec 寄附金 (アーバンクリエイティブ株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (菅根測量株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (扇コンサルタンツ株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	80
浪速技研コンサルタン寄附金 (株式会社浪速技研コンサルタント)	高谷 富也 (建設システム工学科)	200
iMec 寄附金 (株式会社グラン・ソラリス)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (株式会社計測リサーチコンサルタント)	玉田 和也 (建設システム工学科)	80
iMec 寄附金 (大日コンサルタント株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	240
iMec 寄附金 (株式会社アーク設計)	玉田 和也 (建設システム工学科)	10
iMec 寄附金 (阪神測建株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	10
iMec 寄附金 (株式会社河南測量設計)	玉田 和也 (建設システム工学科)	20
iMec 寄附金 (株式会社京都イングス)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (オリエンタル白石株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	300
iMec 寄附金 (株式会社山本設計)	玉田 和也 (建設システム工学科)	10
iMec 寄附金 (有限会社足立設計)	玉田 和也 (建設システム工学科)	10
iMec 寄附金 (株式会社アイム)	玉田 和也 (建設システム工学科)	20
iMec 寄附金 (株式会社西播設計)	玉田 和也 (建設システム工学科)	20
iMec 寄附金 (株式会社ユーズ)	玉田 和也 (建設システム工学科)	30
iMec 寄附金 (金下建設株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	110
iMec 寄附金 (有限会社丸重屋)	玉田 和也 (建設システム工学科)	160
教育研究等奨励助成金 (舞鶴工業高等専門学校後援会 3件)	教 職 員	3,000
iMec 寄附金 (有限会社フィースト)	玉田 和也 (建設システム工学科)	10
iMec 寄附金 (株式会社仁木総合建設)	玉田 和也 (建設システム工学科)	20
iMec 寄附金 (株式会社ジオテクノ関西)	玉田 和也 (建設システム工学科)	10
iMec 寄附金 (東海産商株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	10

件 名	研究担当者	受入額 (千円)
iMec 寄附金 (株式会社リペル)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (一般社団法人 兵庫県測量設計業協会)	玉田 和也 (建設システム工学科)	720
iMec 寄附金 (株式会社メイセイコンサルタント 2 件)	玉田 和也 (建設システム工学科)	50
iMec 寄附金 (株式会社原田測量設計)	玉田 和也 (建設システム工学科)	20
iMec 寄附金 (株式会社松村組 2 件)	玉田 和也 (建設システム工学科)	120
iMec 寄附金 (日本ミクニヤ株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
オムロンアミューズメント助成金 (オムロンアミューズメント株式会社)	平地克也 (電気情報工学科)	300
谷川熱技術振興基金助成金 (公益財団法人 谷川熱技術振興基金)	奥村幸彦 (電子制御工学科)	1,200
iMec 寄附金 (株式会社エコクリーン)	玉田 和也 (建設システム工学科)	500
iMec 寄附金 (株式会社アーバンパイオニア設計)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (株式会社オルサム)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (太平建設株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
セントラルコンサルタント寄附金 (セントラルコンサルタント株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	300
矢崎総業助成金 (矢崎総業株式会社)	平地克也 (電気情報工学科)	300
ダイゾー寄附金 (ダイゾーエアゾール事業部京都工場)	須田 敦 (機械工学科)	2,500
ダイゾー寄附金 (ダイゾーエアゾール事業部京都工場)	室巻 孝郎 (機械工学科)	4,500
堀場製作所助成金 (株式会社堀場製作所)	清原修二 (電子制御工学科)	300
吉岡功貴教育研究支援基金 (京都プラント工業株式会社)	教 職 員	10,000
吉岡功貴教育研究支援基金 (吉岡 徳子)	教 職 員	5,000
日進製作所寄附金 (株式会社日進製作所)	校 長	500
内田産業寄附金 (内田産業株式会社)	須田 敦 (機械工学科)	4,900
内田産業寄附金 (内田産業株式会社)	室巻 孝郎 (機械工学科)	4,900
内田産業 産学官連携支援寄附金 (内田産業株式会社)	地域共同テクノセンター	100
計 51 件		40,920

学協会委員及び学会・研究会等の開催協力

校長

齋藤 福栄	国立教育政策研究所, フェロー(2017.4~2018.3)
	国立教育政策研究所, アクティブ・ラーニングの視点に立った学習空間に関する調査研究, 協力者(2017.4~2019.3)
	関西工学教育協会高専部会, 部会長(2016.4~2018.3)

人文科学部門

吉永 進一	日本宗教学会理事
	近代仏教史研究会運営委員
	Japanese Religions誌(NCC宗教研究所)編集長
	Japanese Network for the Academic Study of Esotericism コーディネーター
畑 恵里子	全国大学国語国文学会, 委員(2013.7.1~2018.3.31)
	日本文学協会, 委員(2015.12.1~2018.3.31)

自然科学部門

上杉 智子	特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会, 物理チャレンジ実行委員会 理論問題部会, 委員(2017.4~2018.3)
	特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会, 国際物理オリンピック派遣委員会 理論研修部会, 委員(2017.4~2018.3)

機械工学科

篠原 正浩	先端材料技術協会(SAMPE Japan) コンポジット委員会, 事務局, (2017年度)
	日本材料学会複合材料部門委員会, 委員(2017年度)
	第9回自動車用途コンポジットシンポジウム実行委員(2017.11.17)
	関西工学教育協会高専部会, 幹事(2017年度)
豊田 香	Proceedings of the 25th International Conference on Nuclear Engineering(ICONE25), (2017), Session 8-14 LOCA Thermalhydraulics Session Co-Chair(2017.7.4)
小林 洋平	2017年度 日本機械学会年次大会 再生可能エネルギー(2)、座長、日本機械学会、埼玉大学
野毛 宏文	Associate Member, Vehicle System Engineering, Malaysia-Japan International Institute of Technology, Universiti Teknologi Malaysia International Campus(2012.4~present)
	The Ninth International Conference on Modeling and Diagnostics for Advanced Engine Systems (COMODIA 2017) 査読委員(2017.4~2017.6)
室巻 孝郎	日本機械学会関西学生会2017年度 副顧問
	第9回高専技術教育研究発表会in舞鶴, 第2会場, 座長(2018.3.13)
須田 敦	公益社団法人日本設計工学会, 関西支部商議員, (2017.4~)
	公益社団法人日本設計工学会関西支部平成29年度研究発表講演会, 第3室第1セッション座長, (2017.11.11)

電気情報工学科

平地 克也	電子情報通信学会ソサイエティ論文誌編集委員会査読委員, (2014.6~2018.3)
	電気学会, 論文委員会(D1グループ)委員(2009.12~2018.3)
	パワーエレクトロニクス学会, 査読委員(2012.6~2018.3)

	電気学会エネルギー利用の高度化に対応する最新の高周波電力変換技術調査専門委員会，委員（2015.5～2017.9）
井上 泰仁	情報処理学会高専教育委員会，委員（2017.4.1～2018.3.31）
	特定非営利活動法人プレアヴィヒアものつくりの会，理事（2016.11～）

電子制御工学科

野間 正泰	日本トライボロジー学会・”超”を目指す軸受技術研究会，幹事（2017.4.1～2018.3.31）
	関西潤滑懇談会，理事（2017.4.1～2018.3.31）
奥村 幸彦	日本燃焼学会 平成29年度先進的燃焼技術の調査研究委員会（固体燃焼小委員会），委員（2017.9.2-2018.3.31）
	第54回石炭科学会議，セッション名：ガス化・燃焼（5），座長（2017.10.19）
	第55回燃焼シンポジウム（日本燃焼学会），セッション：新燃焼法Ⅰ，座長（2017.11.15）
	日本エネルギー学会大会，奨励賞評価委員（2017.8.）
	第26回日本エネルギー学会大会，セッションNo.3-8「バイオマス8」，座長（2017.8.2）
	American Chemical Society，Registered member of publication assistance for Energy & Fuels（2017.4-）.
川田 昌克	第5回制御部門マルチシンポジウム（第46回制御理論シンポジウム），制御支援・制御系設計支援，座長（2018.3.9）
高木 太郎	電気学会，データ駆動制御とモデルベース制御の相互強化とその応用展開調査専門委員会，幹事（2016.10.1～2018.3.31）

建設システム工学科

三輪 浩	砂防学会関西支部運営委員（2017）
	土木学会 水工学論文集編集小委員会委員（2017.10.1～）
	土木学会西部支部主催第9回土砂災害に関するシンポジウム実行委員（2017.10.2～）
	土木学会西部支部主催第9回土砂災害に関するシンポジウム論文集編集委員会幹事（2017.10.2～）
	土木学会 第62回水工学講演会，河床形態・流路形態（1），座長（2018.3.7）
	土木学会 水工学論文奨励賞審査員（2018.2.15～2018.3.30）
	平成29年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会「奈良大会」実行委員会メンバー（2016.8.27～2017.5.31）
毛利 聡	コンクリート工学年次大会2018（神戸）実行委員会委員（2017.6～2018.7）
	2017年度日本建築学会大会（中国）学術講演会，部門：材料施工，セッション：腐食・防食，汚れ・美観・解体，司会（2017.9.3）
今村友里子	第9回 高専技術教育研究発表会 in 舞鶴，第3会場 座長（2018.3.13）

教育研究支援センター

西川 隼人	日本地震工学会論文集編集委員（2017.4.1～2018.3.31）
	日本地震工学会論文集査読委員（2017.4.1～2018.3.31）

教 職 員 の 活 動 状 況

受 賞

機械工学科	准教授	野毛 宏文	Gold Award, The International Conference and Exhibitions on Inventions by Institutions of Higher Learning (PECIPTA 2017)
電気情報工学科	教授	片山 英昭	第3ブロック専攻科研究フォーラム 優秀ポスター賞, 第3ブロック研究推進ボード主査校, (2018. 3)
電気情報工学科	教授	片山 英昭	Best Student Paper Award, The 6th IIAE International Conference on Industrial Application Engineering, (2018. 3)
電子制御工学科	准教授	清原 修二	THE 高専@SEMICON Japan 2017, プレゼン大会敢闘賞, 清原修二, 吉田圭汰, 筒井舜平, 橘高雅史, 岩佐青熙 (2015. 12. 16-18)
建設システム工学科	教授 教授 講師	玉田 和也 加登 文学 毛利 聡	国土交通省(他5省)主催 第1回インフラメンテナンス大賞 メンテナンスを支える活動部門・国土交通省優秀賞 (2017. 7. 24)
建設システム工学科	助教	今村友里子	2017年度日本建築学会大会(中国)学術講演会 建築歴史・意匠部門 若手優秀発表賞, 一般社団法人日本建築学会 建築歴史・意匠委員会, (2017. 12. 4), 今村友里子

地域・社会活動

地域・社会業績	1 4 4
公開講座	1 4 4
出前授業	1 4 8
産学連携事業.....	1 5 0
学外講演，講習，展示	1 5 1
地域共同テクノセンター技術相談	1 5 5
地域委員	1 5 8

地域・社会業績

公開講座

講座名	講師名	開講期日	開講時間	受講対象者	募集人数	受講者数
社会基盤メンテナンス教育センター e+iMec講習会 【基礎編（橋梁点検）】 （2日間）	玉田 和也 嶋田 知子 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 平本 美緒	年間9回	(1日目) 10:30～17:15 (2日目) 9:00～16:00	行政機関技術 職員及び民間 企業技術者	各8名	延べ 63名
福知山市立川口中学校公開講座 電子回路を作って健康診断をしよう!? ～光で計る脈拍計～	内海 淳志 金山 光一 中川 重康 竹澤 智樹 井上 泰仁	H29. 5. 12	10:00～11:00	福知山市立 川口中学校 1年生	27名	27名
社会基盤メンテナンス教育センター 准橋梁点検技術者切替講習会 （1日間×2回）	玉田 和也 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 平本 美緒	H29. 5. 29 H29. 8. 21	9:00～15:00	平成27年度以 前のiMec講習 会（基礎編） 修了証者	20名	20名
商店街ラボよろず「夜の市」出展 まちを作ろう 1	尾上 亮介	H29. 7. 1	18:00～21:00	小学生	随時	50名
商店街ラボよろず「夜の市」出展 ダンボールであそんで防災について 学ぼう	加登 文学	H29. 7. 1	18:00～21:00	小中学生およ び一般市民	随時	36名
商店街ラボよろず「夜の市」出展 光であそぼう～光の性質を知ろう～	上杉 智子 内海 淳志	H29. 7. 8	18:00～21:00	小中学生およ び一般市民	随時	102名
商店街ラボよろず「夜の市」出展 まちを作ろう 2	尾上 亮介	H29. 7. 15	18:00～21:00	小学生	随時	50名
商店街ラボよろず「夜の市」出展 光であそぼう～万華鏡を作ろう～	石川 一平	H29. 7. 15	18:00～21:00	小中学生およ び一般市民	100名	88名
滋賀メンテナンス技術者養成講座 e+iMec講習会 【基礎編（橋梁点検）】 （3日間×3回）	玉田 和也 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 平本 美緒	H29. 7. 15 ～7. 17 H29. 8. 18 ～8. 20 H30. 2. 10 ～2. 12	(1日目) 9:30～18:00 (2日目) 9:00～16:40 (3日目) 9:30～12:00	滋賀メンテナ ンス技術者養 成協議会会員	各8名	延べ 24名
商店街ラボよろず「夜の市」出展 光であそぼう ～振動でコマを回そう～	金山 光一	H29. 7. 22	18:00～21:00	小中学生およ び一般市民	随時	89名
第1回ナノテクノロジー体験教室 空気のない世界、鏡の中の世界 （小学生対象）	内海 淳志 石川 一平	H29. 7. 23	10:00～12:00	小学校 3～6年生	10名	10名
第1回ナノテクノロジー体験教室 小さな加工の世界、小さなモノの世界 （中学生対象）	清原 修二 小林 洋平	H29. 7. 23	13:30～15:30	中学生	10名	13名
動く！ のりもの型ウッドクラフトを作ろう	櫻井 一樹 栴田 勲 石井 貴弘 西川 隼人 西村 良平	H29. 7. 30	13:00～16:00	小学校4年生 ～中学生	20名	19名

講座名	講師名	開講期日	開講時間	受講対象者	募集人数	受講者数
電子制御工学科公開講座 6足歩行ロボットをつくろう！（小学生の部・ロボット組み立て講習会）	野間 正泰 川田 昌克 石川 一平 高木 太郎 畑 亮次	H29. 8. 20	10:00～16:00	小学校 4年生以上	20名	20名
電子制御工学科公開講座 リモコンロボットをつくろう！（中学生の部・ロボット組み立て講習会）	奥村 幸彦 町田 秀和 伊藤 稔	H29. 8. 20	10:00～15:00	中学生	20名	20名
夏休み親子工作教室 （舞鶴市大浦会館）	内海 淳志 井上 泰仁 福井 繁雄	H29. 8. 26	9:30～11:30	小学生および 保護者	16名	16名
社会基盤メンテナンス教育センター e+iMec講習会 【応用編（橋梁点検）】 （3日間×2回）	玉田 和也 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 平本 美緒	H29. 8. 28 ～8. 30 H29. 9. 1 ～9. 3	(1日目) 13:00～17:15 (2日目) 9:00～17:15 (3日目) 9:00～17:15	行政機関技術 職員及び民間 企業技術者	各8名	延べ 12名
第6回舞鶴高専パワーエレクトロニクス公開講座 フルブリッジ型DC/DCコンバータの基礎から応用まで	平地 克也	H29. 9. 2	14:00～17:00	企業技術者	40名	32名
機械工学科公開講座 考えて動かそう！ きみにもできるロボットづくり	室巻 孝郎 須田 敦 高木 太郎	H29. 9. 3	12:30～17:00	小中学生	10名	4名
社会基盤メンテナンス教育センター e+iMec講習会 【コンクリートの品質管理】 （4日間×2回）	毛利 聡 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 平本 美緒	H29. 9. 9, 10, 22, 10. 2 H29. 10. 28, 29, 11. 2, 11	(1日目) 10:00～17:00 (2日目) 9:00～16:00 (3日目) 9:00～14:30 (4日目) 13:00～15:00	行政機関 技術職員	各8名	延べ 10名
社会基盤メンテナンス教育センター e+iMec講習会 【応用編（橋梁点検）】 （3日間×2回）	玉田 和也 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 平本 美緒	H29. 9. 15 ～9. 17 H29. 9. 19 ～9. 21	(1日目) 13:00～17:15 (2日目) 9:00～17:15 (3日目) 9:00～17:15	行政機関技術 職員及び民間 企業技術者	各8名	延べ 11名
出張！公開講座in滋賀 LEGOロボット製作と iPadを利用したプログラミング	川田 昌克 伊藤 稔	H29. 9. 24	13:00～14:30	中学生	30名	26名
出張！公開講座in豊岡 ミニフライス盤を利用して木製のネームプレートや時計を作ろう！	山田耕一郎 児玉 圭司	H29. 10. 8	13:00～14:30	中学生	20名	2名
京都進学峰山教室にて実施 光であそぼう ～紫外線の効果～	内海 淳志	H29. 10. 21	14:00～15:30	小学生および 保護者	20名	17名

講座名	講師名	開講期日	開講時間	受講対象者	募集人数	受講者数
赤れんがフェスタin舞鶴2017出展 本校学生の作品を用いた 電気情報分野の体験と理解	片山 英昭 竹澤 智樹 丹下 裕 福井 繁雄 古林 達哉	H29. 10. 21 H29. 10. 22	9:30～17:30	一般来場者	随時	多数
赤れんがフェスタin舞鶴2017出展 ものづくり体験コースの実施 ①MDF材のネームプレートを作ろう！ ②ペーパークラフト ③モーターでLEDを点灯させよう！ ④建築クラフト	山田耕一郎 芦澤 恵太 室巻 孝郎 加登 文学 毛利 聡	H29. 10. 21 H29. 10. 22	9:30～17:30	一般来場者	随時	200名
空気抵抗の小さな 浮子とルアーを作ってみよう	小林 洋平	H29. 10. 28 H29. 11. 11	10:00～12:00	小中高校生	各30名	延べ 11名
3Dプリンターを用いたクリスマスオ ブジェの製作	片山 英昭 丹下 裕 福井 繁雄	H29. 10. 29	13:00～17:00	小学校 4～6年生	30名	12名
電子制御工学科公開講座 6足歩行ロボットをつくろう！ (小学生の部・ロボット競技会)	石川 一平 野間 正泰 清原 修二 高木 太郎 畑 亮次	H29. 11. 4	10:00～15:00	ロボット組み 立て講習会 参加者	20名	19名
舞鶴高専 高専祭内実施 防災について学ぼう	上杉 智子 金山 光一 加登 文学	H29. 11. 4	9:00～16:00	小中学生およ び一般市民	随時	169名
電子制御工学科公開講座 リモコンロボットをつくろう！ (中学生の部・ロボット競技会)	石川 一平 奥村 幸彦 町田 秀和 伊藤 稔 高木 太郎	H29. 11. 5	10:00～15:00	ロボット組み 立て講習会 参加者	20名	18名
舞鶴高専 高専祭内実施 光であそぼう	上杉 智子 内海 淳志 金山 光一	H29. 11. 5	9:00～16:00	小中学生およ び一般市民	随時	188名
京都ものづくりフェア2017出展 ロボット操作を体験しよう	西山 等	H29. 11. 11	10:00～17:00	京都ものづく りフェア 来場者	随時	297名
第22回青少年のための科学の祭典 プログラミング教室	井上 泰仁	H29. 11. 11	10:00～16:00	科学の祭典 来場者	50名	100名
第22回青少年のための科学の祭典 ノギスの仕組みを知ろう	山田耕一郎	H29. 11. 12	9:00～17:00	科学の祭典 来場者	随時	100名
社会基盤メンテナンス教育センター e+iMec講習会 【地盤と斜面】 (2日間)	玉田 和也 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 平本 美緒	H29. 11. 16 ～11. 17	(1日目) 9:00～17:15 (2日目) 9:00～17:15	行政機関 技術職員	8名	11名
社会基盤メンテナンス教育センター e+iMec講習会 【鋼構造物の非破壊検査】 (1日間×2回)	玉田 和也 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 平本 美緒	H29. 11. 24 H29. 11. 25	9:00～17:15	行政機関技術 職員及び民間 企業技術者	各8名	延べ 10名

講座名	講師名	開講期日	開講時間	受講対象者	募集人数	受講者数
おしゃれ行燈をつくろう	梶田 勲 植田 邦明 西川 隼人 西村 良平	H29. 12. 3	13:00～16:00	小学校3年生 ～中学生	10名	9名
電気情報工学科公開講座 聖夜を彩るクリスマスリース	竹澤 智樹 内海 淳志 福井 繁雄	H29. 12. 3	13:00～16:00	小学生4年生 ～中学生	12名	15名
3Dプリンターを用いたクリスマスオブジェの製作 フルカラーLEDで七色に光るクリスマスオブジェを作ろう!!	片山 英昭 丹下 裕 福井 繁雄	H29. 12. 9	13:00～17:00	10/29「3Dプリンターを用いたクリスマスオブジェの製作」参加者	30名	12名
LEGOロボット製作と iPadを利用したプログラミング	川田 昌克	H29. 12. 9	10:00～11:30	中学生	20名	21名
第2回ナノテクノロジー体験教室 空気の無い世界、鏡の中の世界 (小学生対象)	内海 淳志 石川 一平	H30. 1. 14	10:00～12:00	小学校 3～6年生	10名	10名
第2回ナノテクノロジー体験教室 小さな加工の世界、小さなモノの世界 (中学生対象)	清原 修二 小林 洋平	H30. 1. 14	13:30～15:30	中学生	10名	4名
空気抵抗の小さな 浮子とルアーを作ってみよう	小林 洋平	H30. 1. 27 H30. 2. 10	10:00～12:00	小中高校生	各30名	延べ 17名
科博連サイエンスフェスティバル 高専ハンドスピナーを作ろう	村上信太郎 谷川 博哉	H30. 2. 4	10:00～16:00	サイエンスフェスティバル 来場者	80名	80名
科博連サイエンスフェスティバル レーザーカットした材料で 乗り物を作ろう	豊田 香 生水 雅之	H30. 2. 4	10:00～16:00	サイエンスフェスティバル 来場者	80名	80名
社会基盤メンテナンス教育センター etiMec講習会 【舗装と防水層】 (1日間×2回)	玉田 和也 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 平本 美緒	H30. 2. 19 H30. 3. 9	9:00～16:50	行政機関技術 職員及び民間 企業技術者	各8名	延べ 12名
社会基盤メンテナンス教育センター etiMec講習会 【地盤と斜面】 (2日間)	玉田 和也 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 前川 潤美 今野ゆり子	H30. 2. 22 ～2. 23	(1日目) 9:00～17:15 (2日目) 9:00～16:30	行政機関 技術職員	8名	11名
デジタルファブ리케이션入門! デジタル工作機械を使ってみよう	須田 敦 室巻 孝郎	H30. 3. 10	13:00～17:00	小学校6年生 ～ 中学校2年生	5名	9名
第7回舞鶴高専パワーエレクトロニクス公開講座 LLCコンバータの基礎から応用まで	平地 克也	H30. 3. 24	14:00～17:00	企業技術者	40名	40名
ヒコーキをつくろう	小林 洋平	H30. 3. 24	9:00～17:00	中学校 1～2年生	6名	5名

出前授業

授 業 名	講 師 名	実施期日	実施場所等	対象者
綾部市立吉美小学校出前授業 歯車を作り、それを使って動く玩具を作ろう	野毛 宏文 豊田 香 生水 雅之	H29. 6. 17	綾部市立 吉美小学校	4年生
若浦中学校出前授業 ①LEGOロボット製作とiPadによるプログラミング ②光の力と化学反応を使ってメカニカルガジェットを作ってみよう ③iPadを用いたプログラミング講座 ④カラーサンドとペットボトルで液状化実験	野毛 宏文 川田 昌克 井上 泰仁 芦澤 恵太 加登 文学 山田耕一郎	H29. 6. 22	若浦中学校	3年生
志楽ダイヤモンド協議会出前授業 高専のロボットたちがやって来る2017	西山 等 野毛 宏文	H29. 6. 24	志楽小学校 体育館	志楽地域の幼稚園・保育園児、小学生等
京都市立音羽中学校出前授業 LEGOロボット製作と iPadを利用したプログラミング	川田 昌克 高木 太郎	H29. 7. 5	京都市立 音羽中学校	3年生
京都市立嵯峨中学校出前授業 角材でつくる空間 -木造の空間と構造の成り立ち-	渡部 昌弘	H29. 7. 7	京都市立 嵯峨中学校	3年生
京都市立太秦中学校出前授業 機械に関する授業ってどんなこと？	山田耕一郎 谷川 博哉	H29. 7. 7	京都市立 太秦中学校	3年生
城南中学校出前授業 由良川と防災	三輪 浩	H29. 7. 11	城南中学校	3年生
城南中学校出前授業 エジソン電球と真空の学習	内海 淳志	H29. 7. 11	城南中学校	3年生
三笠小学校出前授業 マーブリングをしてみよう！（1年生） 身近な物体まわりの流れを見てみよう！（6年生）	野間 正泰 畑 亮次	H29. 7. 13	三笠小学校	1年生 6年生
京都府立舞鶴支援学校行永分校出前授業 タブレット端末タッチスイッチの製作実習	船木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次 桝田 勲	H29. 7. 24	京都府立 舞鶴支援学校 教職員	京都府立舞鶴支援学校及び 近隣支援学校の教員
京丹後市立網野南小学校PTA 親子ふれあい教室出前授業 スキャニメーションの製作	丹下 裕 福井 繁雄	H29. 7. 29	京丹後市立 網野南小学校	1～6年生
京丹後市立網野南小学校PTA 親子ふれあい教室出前授業 電子ピアノ の製作	畑 亮次	H29. 7. 29	京丹後市立 網野南小学校	1～6年生
京都府立舞鶴支援学校出前授業 支援機器やタブレット端末の活用事例の交流、 支援機器「物体通過を検知するスイッチの製作」、 「iPadのためのスイッチインターフェースの製作」の作成実習	船木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次 桝田 勲	H29. 8. 8	京都府立 舞鶴支援学校	京都府立舞鶴支援学校及び 近隣支援学校の教員
志楽小学校放課後児童クラブ出前授業 振動で動くおもちゃの製作	丹下 裕 福井 繁雄	H29. 8. 18	志楽小学校	1～6年生

授 業 名	講 師 名	実施期日	実施場所等	対象者
和田中学校出前授業 LEGOロボット製作と iPadを利用したプログラミング	川田 昌克	H29. 9. 12 H29. 9. 13	和田中学校	2年生
城南中学校出前授業 住まいの設計	尾上 亮介 加登 文学 徳永 泰伸 渡部 昌弘 毛利 聡 今村友里子 西村 良平	H29. 10. 17 H29. 10. 18	城南中学校	2年生
志楽子育て支援協議会出前授業 振動で動くおもちゃの製作	丹下 裕 福井 繁雄	H29. 10. 21	志楽小学校	1～6年生
朝来小学校出前授業 振動で動くおもちゃの製作	丹下 裕 福井 繁雄	H29. 10. 24 H29. 10. 31	朝来小学校	1～6年生
与保呂小学校科学クラブ出前授業 UVレジンの説明とそれを使った簡単な工作	内海 淳志	H29. 11. 10	与保呂小学校	4～6年生
日新中学校出前授業 ペットボトル掃除機を作ってみよう	村上信太郎 生水 雅之	H29. 11. 17	日新中学校	2年生
朝来小学校地域ふれあいクラブ出前授業 水の流れをマッピングしてみよう！ 身近な物体まわりの流れを見てみよう！	野間 正泰 畑 亮次	H29. 11. 18	朝来小学校	4～6年生
京都市立京都工学院高等学校出前授業 道路橋のメンテナンスに関する講義と実習	玉田 和也	H29. 11. 23	京都市立 京都工学院 高等学校	1～2年生
京都市立桂中学校出前授業 3DCADの体験	室巻 孝郎 須田 敦	H29. 11. 29	京都市立 桂中学校	2年生
若狭湾クラフトマルシェ出前授業 光の力を利用して 液体から歯車キーホルダーを作ろう	野毛 宏文	H29. 12. 10	国立若狭湾 青少年自然の家	幼児、小学生等 を含む家族等
八幡市立橋本小学校出前授業 ウィンターシーズンLEDジオラマの作成	山田耕一郎 室巻 孝郎 須田 敦	H29. 12. 14	八幡市立 橋本小学校	5年生、保護者、 教員
京都府立舞鶴支援学校出前授業 支援機器やタブレット端末の活用事例の交流、 支援機器「各種スイッチの製作」の作成実習、 スイッチや支援機器の活用や作成についての 個別相談	舩木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次 梶田 勲	H29. 12. 26	京都府立 舞鶴支援学校	京都府立舞鶴 支援学校及び 近隣支援学校 の教員
白糸中学校出前授業 住まいの設計	尾上 亮介 加登 文学 徳永 泰伸 渡部 昌弘 毛利 聡 今村友里子 西村 良平	H30. 1. 30 H30. 1. 31 H30. 2. 1	白糸中学校	2年生

授 業 名	講 師 名	実施期日	実施場所等	対象者
青葉中学校出前授業 住まいの設計	尾上 亮介 加登 文学 徳永 泰伸 渡部 昌弘 毛利 聡 今村友里子 西村 良平	H30. 2. 8 H30. 2. 9	青葉中学校	2年生
与保呂小学校科学クラブ出前授業 小学校理科「光で遊ぼう～光の三原色～」	内海 淳志	H30. 2. 9	与保呂小学校	4～6年生 科学クラブ員
京都府立舞鶴支援学校行永分校出前授業 フィードバック付きタイマーの製作	丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次 栴田 勲	H30. 3. 22	京都府立 舞鶴支援学校 行永分校	京都府立 舞鶴支援学校 教職員
京都府立舞鶴支援学校出前授業 フィードバック付きタイマーの製作	舩木 英岳 福井 繁雄 畑 亮次 栴田 勲	H30. 3. 27	京都府立 舞鶴支援学校	京都府立舞鶴 支援学校及び 近隣支援学校 の教員

産学連携事業

連携事業名称	連携先	実施期間	指導者
専攻科エンジニアリングデザイン演習	株式会社堀場製作所 株式会社日進製作所 加美電機株式会社	H29. 10 ～H30. 1	篠原 正浩 豊田 香 舩木 英岳 竹澤 智樹 野間 正泰 奥村 幸彦
教育コーディネーターを活用した「工作, 材料, 機械設計」の質的保障の推進とそれらの各種ね じの加工, 表面改質への応用	日東精工株式会社	H29. 4 ～H30. 3	山田耕一郎 生水 雅之
機械設計開発のための最新の電気電子材料の 適用事例の学習	株式会社村田製作所	H29. 11	野毛 宏文
地域企業との連携による地域を担う機械技術 者の育成	オムロン株式会社 綾部工場	H29. 11	豊田 香 山田耕一郎 室巻 孝郎

連携事業名称	連携先	実施期間	指導者
地域企業との連携による地域を担う機械技術者の育成	椿本チェーン株式会社	H29. 12	豊田 香 山田耕一郎 室巻 孝郎
地域企業との連携による地域を担うメカトロ技術者の育成	オムロン株式会社 綾部工場	H29. 11. 13 H30. 2. 23	仲川 力 町田秀和

学外講演，講習，展示

人文科学部門

児玉 圭司	明治から150年—法と刑罰にみる“近代化”—，講師，舞鶴高専地域テクノアカデミア講演会，京丹後市，（H29. 11. 1）
牧野 雅司	講演「明治中期における丹後の海と朝鮮半島」（京都府立大学地域貢献型特別研究成果報告会 in 舞鶴、於・舞鶴市政記念館、H30. 3. 18）
	パネルディスカッション「海とともに生きる舞鶴 丹後の海再考」、パネラー（京都府立大学地域貢献型特別研究成果報告会 in 舞鶴、於・舞鶴市政記念館、H30. 3. 18）
	講演「明倫館のその後と近代の舞鶴」（第16回全国藩校サミット舞鶴大会プレイベント、於・舞鶴西公民館、H30. 3. 25）

自然科学部門

小野伸一郎	講演「健康寿命と運動」，第50回京都府スポーツ推進委員研究大会，綾部市，（H29. 6. 18）
	講演「呼吸筋体操の理論と実践」，平成29年度舞鶴市運動指導員研修会，舞鶴市，（H30. 3. 5）
上杉 智子	公開講座「光であそぼう」，講師，はまっこ夜の市，商店街ラボ「よろず」，舞鶴市，（H29. 7. 8）
	公開講座「防災について学ぼう」，講師，高専祭，本館B403室，舞鶴市，（H29. 11. 5）
	公開講座「光であそぼう」，講師，高専祭，本館B403室，舞鶴市，（H29. 11. 4）

機械工学科

生水 雅之	超音波疲労試験機を用いた薄板鋼の曲げ疲労試験，平成29年度金属疲労研究会，京都府中小企業技術センター/中丹技術支援室，綾部市，（H29. 11. 7）
西山 等	ロボット展示，高専のロボットたちがやってくる2017，志楽ダイヤモンド協議会，舞鶴市，（H29. 6. 24）
	ロボット操作体験，京都ものづくりフェア2017，京都ものづくりフェア実行委員会，京都市，（H29. 11. 11）
小林 洋平	公開講座「空気抵抗の小さい浮子とルアーを作ろう」，舞鶴高専，（H29. 10. 28、H29. 11. 11、H30. 1. 27、H30. 2. 10）
	公開講座「ヒコークをつくろう」，舞鶴高専，（H30. 3. 24）
山田耕一郎	中高連携授業，京都市立太秦中学校，京都市，（H29. 7. 7）
	公開講座，但馬地場産業振興センター，豊岡市，（H29. 10. 8）
	赤レンガフェスタ出展，赤レンガ倉庫，舞鶴市，（H29. 11. 21. 22）
	科学の祭典出展，京都市青少年科学センター，京都市，（H29. 11. 12）
	出前授業，八幡市立橋本小学校，八幡市，（H29. 12. 14）

村上信太郎	出前授業，ペットボトル掃除機を作ってみよう， 福知山市立日新中学校，（H29.11.17）
	公開講座「高専ハンドスピナーを作ろう」出展，第12回科博連サイエンスフェスティバル，京都市青少年科学センター，（H30.2.4）
室巻 孝郎	公開講座「デジタルファブリケーション入門！デジタル工作機械を使ってみよう」，舞鶴高専，（H30.3.10）
	公開講座「考えて動かそう！きみにもできるロボットづくり」，舞鶴高専，（H29.9.3）
須田 敦	公開講座「考えて動かそう！きみにもできるロボットづくり」，舞鶴高専機械工学科，舞鶴高専，（H29.09.03）
	出前授業「3D-CADを使ってみよう！パソコンで3Dモデル組立て」，京都市立桂中学校2年進路指導，京都市立桂中学校，（H29.11.29）
	出前授業「雪だるまwith LEDをつくる」，八幡市立橋本小学校4年PTC，八幡市立橋本小学校，（H29.12.14）
	公開講座「レーザーカットした材料で乗り物を作ろう」，科博連サイエンスフェスティバル，京都市青少年科学センター，（H30.02.04）
	展示会「京都ビジネス交流フェアH30」，京都産業21，京都パルスプラザ，（H30.02.15）
	公開講座「デジタルファブリケーション入門！デジタル工作機械を使ってみよう」，舞鶴高専機械工学科，舞鶴高専，（H30.3.10）

電気情報工学科

平地 克也	第6回舞鶴高専パワーエレクトロニクス公開講座，講師，メルパルク京都，（H29.9.2）
	第7回舞鶴高専パワーエレクトロニクス公開講座，講師，メルパルク京都，（H30.3.24）
金山 光一	公開講座「光であそぼう～振動でコマを回そう～」，八島商店街 商店街ラボ「よろず」，舞鶴市，（H29.7.22）
	公開講座「防災について学ぼう」，高専祭，舞鶴高専B403室，舞鶴市，（H29.11.4）
	公開講座「光で遊ぼう～光の性質を知ろう～」，高専祭，舞鶴高専B403室，舞鶴市，（H29.11.5）
船木 英岳	タブレット端末タッチスイッチの製作実習，出前授業，京都府立舞鶴支援学校行永分校，（H29.7）
	物体通過を検知するスイッチの製作，iPad用スイッチインターフェイスの製作，出前授業，京都府立舞鶴支援学校，舞鶴市，（H29.8）
	フィードバック付きタイマーの製作，出前授業，京都府立舞鶴支援学校，舞鶴市，（H30.3）
内海 淳志	公開講座，電子回路を作って健康診断をしよう！，舞鶴高専，舞鶴市，（H29.5.12）
	公開講座，光であそぼう，商店街ラボ「よろず」，舞鶴市，（H29.7.8）
	公開講座，第1回 ナノテクノロジー体験教室，舞鶴高専地域共同テクノセンター，舞鶴市，（H29.7.23）
	公開講座，夏休み親子工作教室～作って学ぶリニアモーター～，舞鶴市大浦会館，舞鶴市，（H29.8.26）
	公開講座，光で遊ぼう ～紫外線の効果～，京都進学セミナー，京丹後市，（H29.10.21）
	公開講座，光で遊ぼう ～光の性質を知ろう～，舞鶴高専，舞鶴市，（H29.11.5）
	出前授業，レジンアクセサリを作ろう，与保呂小学校，舞鶴市，（H29.11.10）
	イルミネーション展示，舞鶴市イルミネーション設置事業，東舞鶴駅，舞鶴市，（H29.11.20～H30.2.20）
	公開講座，聖夜を彩るクリスマスリース，舞鶴高専，舞鶴市，（H29.12.3）
	公開講座，第2回ナノテクノロジー体験教室，舞鶴高専地域共同テクノセンター，舞鶴市，（H30.1.14）
丹下 裕	出前授業，光で遊ぼう ～光の三原色～，与保呂小学校，舞鶴市，（H30.2.9）
	スキヤニメーションの製作，出前授業，網野南小学校親子ふれあい教室，舞鶴市，（H29.7）

	タブレット端末タッチスイッチの製作実習，出前授業，京都府立舞鶴支援学校行永分校，(H29. 7)
	物体通過を検知するスイッチの製作，iPad用スイッチインターフェイスの製作，出前授業，京都府立舞鶴支援学校，舞鶴市，(H29. 8)
	振動で動くおもちゃの製作，出前授業，舞鶴市立朝来小学校理科クラブ，舞鶴市，(H29. 10)
	振動で動くおもちゃの製作，出前授業，舞鶴市立志楽小学校，舞鶴市，(H29. 8)
	振動で動くおもちゃの製作，出前授業，志楽子育て支援協議会，舞鶴市，(H29. 10)
	クリスマス気分を盛り上げるフルカラーLEDを用いたオブジェの製作，公開講座，(H29. 10，H29. 12)
	握りスイッチとマウスの改造，出前授業，京都府立舞鶴支援学校，舞鶴市，(H29. 12)
	フィードバック付きタイマーの製作，出前授業，京都府立舞鶴支援学校行永分校，舞鶴市，(H30. 3)
井上 泰仁	出前授業，iPadを利用したプログラミング教室，若浦中学校，舞鶴市，(H29. 6. 23)
	公開講座，プログラミング教室，青少年のための科学の祭典京都大会，青少年科学センター，京都市，(H29. 11. 11)
	Lecturer, ICT Application in Teaching and Academic Management, Southeast Asian Ministers of Education Organization Regional Training Center, Ho Chi Minh City, Vietnam, (H30. 3. 28-30)

電子制御工学科

野間 正泰	COC事業・出前授業「マープリングをしてみよう！(1年生)」，「身近な物体まわりの流れを見てみよう！(6年生)」，舞鶴市立三笠小学校，1年生27名，2年生37名，舞鶴市，(H29. 7. 13)
	COC事業・出前授業「マープリングをしてみよう！」，「身近な物体まわりの流れを見てみよう！」，舞鶴市立朝来小学校，4年生3名，5年生7名，6年生4名，舞鶴市，(H29. 11. 18)
川田 昌克	制御実験で学ぶ PID 制御の基礎とモデルベース設計による制御性能向上のポイント，講師，日本テクノセンター，大阪市，(H29. 7. 14)
	LEGO MINDSTORMS を利用した制御工学教育の事例紹介，Robotics Education Day 2017，講師，アフレル，東京，(H29. 7. 16)
	制御実験で学ぶ PID 制御の基礎とモデルベース設計による制御性能向上のポイント，講師，日本テクノセンター，大阪市，(H30. 2. 23)
清原 修二	公開講座「第1回ナノテクノロジー体験教室」，舞鶴高専地域共同テクノセンター，舞鶴市，(H29. 7. 23)
	第3回産学交流セミナー「室温硬化ナノインプリント法によるDLCの微細加工技術」，北部産業技術支援センター・綾部，綾部市，(H29. 9. 13)
	ポスターおよび研究装置展示，パネラー，THE 高専@SEMICON Japan H29，東京ビックサイト，東京都江東区，(H29. 12. 13-15)
	公開講座「第2回ナノテクノロジー体験教室」，舞鶴高専地域共同テクノセンター，舞鶴市，(H30. 1. 14)
石川 一平	公開講座「光であそぼう」，はまっこ夜の市，商店街ラボ「よろず」，舞鶴市，(H29. 7. 15)
	公開講座「第1回ナノテクノロジー体験教室」，舞鶴高専地域共同テクノセンター，舞鶴市，(H29. 7. 23)
	公開講座「第2回ナノテクノロジー体験教室」，舞鶴高専地域共同テクノセンター，舞鶴市，(H30. 1. 14)

建設システム工学科

四蔵 茂雄	平成29年度ネイチャーガイド養成講座講師（平成29年10月17日）
三輪 浩	土木技術向上講座「河川・海岸技術」，水嶋CG安全衛生協力会主催CPDS講習会，舞鶴市，(H30. 2. 3)

玉田 和也	京都府北部・橋りょう維持管理研修会, 講師, 京都府及び8市町, 第1回舞鶴市 (H29. 5. 11), 第2回綾部市 (H29. 6. 6), 第3回京丹後市 (H29. 7. 27), 第4回綾部市 (H29. 8. 9), 第5回綾部市 (H29. 9. 14), 第6回福知山市 (H29. 11. 15), 第7回京都市 (H29. 12. 14), 第8回綾部市 (H30. 3. 6)
	地方自治体の技術者向け学び直し講座, 京都府, 第1回 (H29. 8. 9), 第2回 (H29. 9. 14)
	iMec講習会, 講師, 4. 22, 5. 13, 6. 3, 6. 15, 6. 29, 7. 8, 7. 15, 8. 18, 9. 4, 9. 30, 10. 19, 2. 3, 2. 10, 2. 24 基礎編14回, 8. 28, 9. 1, 9. 15, 9. 19 応用編4回, 非破壊検査2回, 地盤と斜面2回, 舗装と防水層2回
	橋梁上部工の設計, 維持管理 (鋼橋), 講師, 愛媛大学ME要請講座, 松山市, (H29. 10. 23)
	舞鶴高専での技術者教育・取り組みについて, 講師, 関西道路研究会コンクリート構造調査研究委員会「第1回講演会」, 大阪市, (H29. 5. 9)
	社会基盤を支えるメンテナンス技術者養成による地域創生への貢献, 講師, 関西工学教育協会, 大阪市, (H29. 12. 1)
尾上 亮介	公開講座「いえをつくろう1・2」よろず 商店街・まちづくり研究所, 舞鶴市 (H29. 7)
	宮津景観シンポジウム、パネラー, 宮津市 (H29. 11)
	出前授業「住まいの設計」, 舞鶴市立城南中学校, 舞鶴市, (H29. 10. 17-18)
	出前授業「住まいの設計」, 舞鶴市立白糸中学校, 舞鶴市, (H30. 1. 30-2. 1)
	出前授業「住まいの設計」, 舞鶴市立青葉中学校, 舞鶴市, (H30. 2. 8-9)
加登 文学	宮津文化的景観フォーラム, 講演者, 宮津市 (H30. 3)
	出前授業「カラーサンドとペットボトルで液化状実験」, 若浦中学校, 舞鶴市, (H29. 6. 22)
	公開講座「ダンボールであそんで防災について学ぼう (COC+)」, 八島商店街商店街ラボ「よろず」, 舞鶴市, (H29. 7. 1)
	出前授業「住まいの設計」, 舞鶴市立城南中学校, 舞鶴市, (H29. 10. 17-18)
	「わかりやすい地盤工学基礎シリーズ講習会」, 講師, 地盤工学会, 東京 (H30. 1. 11)
	出前授業「住まいの設計」, 舞鶴市立白糸中学校, 舞鶴市, (H30. 1. 30-2. 1)
徳永 泰伸	出前授業「住まいの設計」, 舞鶴市立青葉中学校, 舞鶴市, (H30. 2. 8-9)
	出前授業「住まいの設計」, 舞鶴市立城南中学校, 舞鶴市, (H29. 10. 17-18)
	出前授業「住まいの設計」, 舞鶴市立白糸中学校, 舞鶴市, (H30. 1. 30-2. 1)
毛利 聡	出前授業「住まいの設計」, 舞鶴市立青葉中学校, 舞鶴市, (H30. 2. 8-9)
	iMec講習会「コンクリートの品質管理」, 講師, (H29. 9. 9, 9. 10, 9. 23, 10. 2, 10. 28, 10. 29, 11. 2, 11. 11)
	出前授業「住まいの設計」, 舞鶴市立城南中学校, 舞鶴市, (H29. 10. 17-18)
	出前授業「住まいの設計」, 舞鶴市立白糸中学校, 舞鶴市, (H30. 1. 30-2. 1)
今村友里子	出前授業「住まいの設計」, 舞鶴市立青葉中学校, 舞鶴市, (H30. 2. 8-9)
	出前授業「住まいの設計」, 舞鶴市立城南中学校, 舞鶴市, (H29. 10. 17-18)
	出前授業「住まいの設計」, 舞鶴市立白糸中学校, 舞鶴市, (H30. 1. 30-2. 1)

教育研究支援センター

眞柄 賢一	平成29年度全国中学生創造アイデアロボットコンテスト福井県大会に向けた技術指導, 高浜中学校, 福井県大飯郡高浜町, (H29. 8~H29. 11)
-------	---

地域共同テクノセンター技術相談

	相 談 内 容	対応教員	備考
1	福祉、及び、医療を支えるPepperのアプリ開発について	井上・中川	○
2	平地研究室技術メモの間違い指摘とコメント	平地克也	○
3	平地研究室技術メモの連系INVの説明の不足点を質問	平地克也	○
4	LLCの定電流制御について	平地克也	○
5	プレアヴィヒア州における教育とIT支援について	井上泰仁	○
6	除草ロボットの開発について協力要請	平地克也	○
7	高力率コンバータのリプル電流抑制回路の動作原理	平地克也	○
8	位相シフトフルブリッジ方式のサージ電流抑制方法	平地克也	○
9	支援機器の製作について	船木・丹下	○
10	伝統産業で用いられている自動織機の改良について	金山光一	○
11	漏れインダクタンスによる損失の考え方	平地克也	○
12	漏れインダクタンスの作り方	平地克也	○
13	LLC方式DC/DCコンバータの設計方法	平地克也	○
14	LLC方式DC/DCコンバータの変圧器の磁気飽和の考え方	平地克也	○
15	非接触給電のコイル駆動回路の設計方法	平地克也	○
16	公共施設の健全性評価手法策定に関する相談	毛利 聡	○
17	旧日本海軍遺構の健全性評価および利活用に関する相談	毛利・渡部 須田・牧野	○
18	プラスチック段ボールの遮音性に関する相談	徳永泰伸	○
19	舞鶴東地域のまちづくりの意識調査を実施したい	尾上亮介	○
20	西浄化センターの景観を改善したい	尾上亮介	○
21	舞鶴市総合文化会館の外装改修についてのデザイン検討をしたい	尾上亮介	○
22	舞鶴市へのU I J ターン者のためのお試し住宅を市内に作りたい	尾上亮介	○
23	空き屋である歴史的町家をまちづくりに活用してほしい	尾上亮介	○
24	水道管（鋼管）の余寿命の考え方について	玉田和也	○
25	八雲橋の補修・補強工事について	玉田和也	○
26	吊橋の鋼線に対する非破壊検査手法について	玉田和也	○
27	松島橋の床版補修工事について	玉田和也	○
28	歴史的橋梁（石橋）の健全度評価について	玉田和也	○
29	福知山・綾部の工業用水道施設の維持管理計画について	玉田和也	○
30	由良川大橋の防錆処理の継続調査	玉田和也	○
31	万代橋の長寿表彰に関する小学生への説明会について	玉田和也	○
32	明治期の刑事施設「仮留監」の読みを確認したい	児玉圭司	○
33	明治4年に出された一法令の原文を確認したい	児玉圭司	○
34	鈴木大拙から杉村楚人冠にあてられた書簡について	吉永進一	○
35	舞鶴市民から提供された史料の鑑定	畑恵里子	○
36	戦後の舞鶴について書かれている史料『日本海時報』の概要と利用について質問	牧野雅司	○
37	市内で開催予定の講演会における講演者について	牧野・児玉	○
38	市民提供の皇族関係史料に関係して、その当時の舞鶴と皇族の関係について質問	牧野雅司	○
39	村松橋の工事用特殊車両走行に関する耐荷性能の検討	玉田和也	○
40	インフラ維持管理人材の確保・育成について	玉田和也	○
41	ドローンによる斜面崩壊調査について	加登文学	○

	相 談 内 容	対応教員	備考
42	西舞鶴道路現場見学に関する中学生への説明会について	加登文学	○
43	PID 制御に関する技術セミナーの講師を務めてほしい	川田昌克	○
44	LEGO MINDSTORMS EV3 を活用した教育現場での取り組みについての紹介事例の講演およびデモ展示をしてほしい	川田昌克	○
45	PID 制御に関する技術セミナーの講師を務めてほしい	川田昌克	○
46	DLCの用途開発について協賛企業を紹介したい	清原修二	○
47	巻取機械制御器における微分要素の活用に関する研究	町田秀和	○
48	巻取機械制御器におけるディジタルフィルタの活用に関する研究	町田秀和	○
49	ねじ締結用ブラシレスモータの低速制御に関する相談	町田秀和	○
50	ロボコン用モータドライバ回路に関する相談	町田秀和	○
51	高松宮自筆の聞き取り	畑恵里子	○
52	由良川水運に関する史料と書籍について質問	牧野雅司	○
53	市内で発見された明治期の日朝関係史料について質問	牧野雅司	○
54	英文証明書の内容確認および添削	荒川吉孝	○
55	交流負荷装置の位相調整について	平地克也	○
56	DAB方式の漏れインダクタンスの飽和について	平地克也	○
57	偏磁防止コンデンサを使用せずに偏磁を防止する方法	平地克也	○
58	位相シフトフルブリッジ型DC/DCコンバータの偏磁現象について	平地克也	○
59	位相シフトフルブリッジ型DC/DCコンバータの環流電流の減衰制御について	平地克也	○
60	自動偏磁抑制機能の論文の要求	平地克也	○
61	変圧器の漏れインダクタンスを使用するときの注意点について	平地克也	○
62	伝統産業で用いられている自動織機の改良について	金山光一	○
63	LLC方式の特許調査について	平地克也	○
64	支援機器の製作アドバイス・相談	船木・丹下	○
65	各種連携について	須田 敦	○
66	産学連携・農業について	須田 敦	○
67	各種連携について	須田 敦	○
68	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
69	センサについて、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
70	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
71	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
72	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
73	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
74	求人について、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
75	求人について、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
76	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
77	産学連携・求人について、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
78	産学連携・求人について、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
79	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
80	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
81	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
82	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
83	産学連携・求人について、「京都ビジネス交流フェア2017」にて	須田 敦	○
84	産学連携・農業について	須田 敦	○
85	産学連携・農業について	須田 敦	○
86	各種連携について	須田 敦	○

	相 談 内 容	対応教員	備考
87	除草ロボットについて	須田 敦	○
88	工場の自動化について	須田・室巻	○
89	トンネルの利活用について	須田 敦	○
90	VR・玩具・竹について	須田・室巻	○
91	国有地の利活用について	須田 敦	○
92	証明書の内容確認および添削	谷川博哉	○
93	工場の自動化について	須田・室巻	○
94	鳥獣被害対策について	須田 敦	○
95	膜沸騰の開始について	豊田 香	○
96	膜沸騰の実験について	豊田 香	○
97	膜沸騰の解析結果と現象の比較について	豊田 香	○
98	鍛造装置の振動を利用した発電方法に関する相談	生水・谷川 豊田	○
99	試作品開発結果についての感想	室巻・須田	○
100	起立補助椅子の設計開発に関する打ち合わせ	豊田 香	○
101	膜沸騰解析結果の検証について	室巻・須田	○

備 考：○印……本校で対応した相談

■印……他の機関に紹介した相談

地 域 委 員

校長

齋藤 福栄	舞鶴市総合計画審議会, 委員長, (2017. 11～2019. 3)
	舞鶴市公共交通ネットワーク会議, 委員, (2015. 10～2019. 10)
	舞鶴市みらい戦略推進会議, 委員, (2015. 7～2020. 3)

人文科学部門

荒川 吉孝	中部日本海高専国際化推進委員会, 委員, (2017. 4～2018. 3)
垂谷 茂弘	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター・倫理委員会, 委員, (2017. 11～2018. 3)
畑 恵里子	舞鶴市教育委員会, 舞鶴市文化財保護委員, (2015. 1～2018. 3)
児玉 圭司	舞鶴市情報公開・個人情報保護審査会, 委員, (2010. 6～2018. 5 (予定))
	舞鶴市情報公開・個人情報保護審議会, 委員, (2013. 1～2019. 1 (予定))
	舞鶴市行政不服審査会, 委員, (2016. 6～2018. 5 (予定))
	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター・倫理委員会, 委員, (2017. 11～2018. 3)
	綾部市行政不服審査会, 委員, (2016. 12～2018. 12 (予定))
	舞鶴市特定空家対策会議, 委員, (2017. 6～2018. 1)
牧野 雅司	第16回全国藩校サミット舞鶴大会実行委員会, 実行委員 (2016～17年)

自然科学部門

奥村 昌司	舞鶴市吹奏楽連盟, 理事, (2017. 4～2018. 3)
	近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会, 理事, (2017. 4～2018. 3)

機械工学科

西山 等	舞鶴工業高等専門学校同窓会, 理事, (2017. 4～2018. 3)
	きのくにロボットフェスティバル2017, 全日本小・中学生ロボット選手権・きのくに高校生ロボットコンテスト, 特別賞審査員, 和歌山県他, 御坊市, (2017. 12. 17)
豊田 香	京都府流域下水道共同研究技術審査委員会, アドバイザー, (2016. 12～2017. 12)
小林 洋平	廃炉創造ロボコン, 実行委員, (2017. 4～2018. 3)

電気情報工学科

平地 克也	舞鶴高専地域テクノアカデミア, 幹事, (2014. 3～2018. 3)
-------	---------------------------------------

電子制御工学科

石川 一平	舞鶴工業高等専門学校同窓会, 理事長, (2017. 4～2018. 3)
-------	---------------------------------------

建設システム工学科

高谷 富也	舞鶴市公共工事事務対策会議, 委員長 (2017. 4～2018. 3)
	ACMブレース研究会, 幹事会員 (2017. 4～2018. 3)
四蔵 茂雄	舞鶴市上下水道審議会委員
三輪 浩	由良川水系・二級水系河川整備計画検討委員会, 招聘委員, (2017. 8～2018. 3)

三輪 浩	出前授業「由良川の歴史と環境，河川の土砂災害と防災（天然ダムのミニ実験）」，舞鶴市立城南中学校，舞鶴市，（2017. 7. 11）
玉田 和也	舞鶴市入札監視委員会，委員，（2017. 4～2018. 3）
	舞鶴市地域公共交通会議，委員，（2017. 4～2018. 3）
	府民公募型安心・安全整備事業審査委員会（中丹広域振興局），座長，（2017. 8～2018. 3）
	国土交通省近畿地方整備局，橋梁ドクター，（2017. 4～2018. 3）
	国土交通省近畿地方整備局，近畿地方整備局新技術活用評価会議，委員，（2017. 7～2018. 3）
尾上 亮介	舞鶴市都市計画審議会，委員（2016. 4～）
	宮津市都市計画審議会，会長（2016. 4～）
	宮津市景観審議会，委員，会長職務代理（2016. 11～）
	宮津市文化的景観検討委員会，委員（2008. 11～）
	綾部市都市計画審議会，会長（2016. 4～）
徳永 泰伸	舞鶴市都市計画マスタープラン検討会委員（2017. 4～2018. 3）

教育研究支援センター

能勢 嘉朗	福井県おおい町学校ICT活用アドバイザー，（2015. 7～2018. 3）
-------	--

報 道 記 事

報道記事一覧	1 6 2
--------------	-------

報道記事一覧

見 出 し	掲載紙(誌)	掲載年月日
【市内学校めぐり第8回 海上保安学校】 舞鶴市出身の先輩からのメッセージ 舞鶴高専出身 平井翔伍さん	広報まいづる	H29. 4月号
まちの交通を支える万代橋 新舞鶴小児童が見学 (講師に玉田教授)	広報まいづる	H29. 4月号
舞鶴高専建設システム工学科 デザコン部 部活はフラットな関係で下克上も	日刊 建設工業新聞	H29. 4. 19 (水)
【高専訪問記：舞鶴工業高等専門学校】 テクノロジーで地域に貢献！日本を未来を担う若者たちの今。	さくらの ナレッジ	H29. 4. 24 (月)
【高専に任せろ 第1部 高い職業意識・下】 自由な学び舎 今も昔も 前例なき起業 黙認 (舞鶴高専卒業生 さくらインターネット社長 田中邦裕氏)	日経産業新聞	H29. 4. 28 (金)
議員定数「維持」か「削減」か 京都・舞鶴市議会が市民と議論「定数より議員の質」の指摘も (舞鶴高専などから選出された市民16人が参加)	産経ニュース	H29. 4. 30 (日)
雇用・働く場 舞鶴 若もん「ワーク&ライフ」 舞鶴で働く「若もん」の声 (舞鶴高専出身 舞鶴市役所下水道整備課勤務 菅野綾夏さん)	広報まいづる	H29. 5月号
舞鶴市議会 定数見直し、 市民と議論 性急な動き、疑問の声も (舞鶴高専など8団体から選ばれた市民16人が意見)	毎 日 新 聞	H29. 5. 1 (月)
【商店街巡礼71】 高知「はりまや橋商店街」 (尾上教授)	舞鶴市民新聞	H29. 5. 9 (火)
舞鶴高専iMec インフラメンテ大賞で優秀賞 地域ニーズに応えた技術者育成	日刊 建設工業新聞	H29. 5. 10 (水)
夏休み、親子で歩こう 運動習慣の定着へ 舞鶴市、参加者募集 (平成28年度には舞鶴高専と連携して 「舞鶴いきいき健康まちづくり推進事業」を実施)	産経ニュース	H29. 5. 24 (水)
【高専に任せろ 第2部 社会につながる・中】 若い力がインフラ守る 舞鶴高専 構造物の劣化点検 実地に学ぶ 市も頼る眼力	日経産業新聞	H29. 5. 26 (金)
【商店街巡礼72】 京都宇治「平等院表参道」 (尾上教授)	舞鶴市民新聞	H29. 6. 2 (金)
関西初 コラボ出前授業 模擬選挙と租税教室 (舞鶴高専で「主権者として納税の意義を考える～税の役割と財政について～」)	舞鶴市民新聞	H29. 6. 2 (金)
滋賀県建設業協会 大津市でメンテ技術者養成協議会の 設立総会開く 7月に講座開設 (iMecの教育プログラムを活用)	日刊 建設工業新聞	H29. 6. 14 (水)
駅利用の高専生 住民とごみ収集 JR松尾寺駅周辺	京 都 新 聞	H29. 6. 18 (日)
7月1日、2日 公開シンポジウム 「巡礼と聖地 その伝統と現代」 (COC+事業「巡礼まなびのプログラム」)	舞鶴市民新聞	H29. 6. 23 (金)
ロボット操作「楽しい」 志楽小で催し 舞鶴高専生手作り	京 都 新 聞	H29. 6. 25 (日)
「すごい」を糧に、いざ大会へ 志楽小児童ら技術に触れる 高専生がロボット講義	舞鶴市民新聞	H29. 6. 27 (火)
7月8日から京都大会開幕 甲子園めざす地元4校 舞鶴高専 タイプの違う投手揃う 好球必打でつなぐ野球	舞鶴市民新聞	H29. 6. 30 (金)

見 出 し	掲載紙(誌)	掲載年月日
2017はまっこ夜の市 (舞鶴高専商店街ラボ「よろず」で) 7/1「ダンボールであそんで防災についてまなぼう」 7/8「光であそぼう」光の万華鏡と紫外線チェッカー作製 7/15「光であそぼう」アルミ板の万華鏡 7/22「光であそぼう」振動でまわるコマ	折り込み チラシ	H29. 6. 30 (金)
舞鶴市がクールチョイス 温暖化対策 国民運動に登録 (まいづる環境市民会議 会長・尾上教授)	京 都 新 聞	H29. 6. 30 (金)
石炭火電の現場を学ぶ 舞鶴高専生ら サイロや発電機見学	京 都 新 聞	H29. 7. 5 (水)
川崎汽船 石炭輸送の重要性講義 (舞鶴高専機械工学科3年生39人対象に)	日本海事新聞 電子版	H29. 7. 6 (木)
【募集】舞鶴高専公開講座 (7/23) ①第1回小学生のためのナノテクノロジー体験教室 「空気のない世界／鏡の中の世界」 ②第1回中学生のためのナノテクノロジー体験教室 「小さな加工の世界／小さなモノの世界」	舞鶴市民新聞	H29. 7. 7 (金)
COOL CHOICE 官民一体で温暖化対策を (まいづる環境市民会議 会長・尾上教授)	舞鶴市民新聞	H29. 7. 7 (金)
ナノテクにびっくり 舞鶴高専で体験教室	京 都 新 聞	H29. 7. 24 (月)
IT使い獣害対策 綾部・古屋でプロジェクト センサーで行動監視 出没地点を予測、駆除 (舞鶴高専 古林技術職員がシステム作りを担当)	京 都 新 聞	H29. 8. 6 (日)
ロボット作り操作 舞鶴高専で講座 小中生ら一苦労	京 都 新 聞	H29. 8. 21 (月)
親子 リニア作り挑戦 舞鶴で工作教室 (舞鶴市大浦会館で 内海准教授)	京 都 新 聞	H29. 9. 4 (月)
魚ドリル 英文を学ぼう 幼児向けカルタ続編 舞鶴・鷺田さんが高専生らと合作 単語だけでなく“尾頭付き”	毎 日 新 聞	H29. 9. 12 (月)
英文法 漫画で楽しく 舞鶴の英会話塾の女性がドリル作成 市内の小学校に提供 高専生ら協力	京 都 新 聞	H29. 9. 20 (水)
【商店街巡礼74】 広島繁华街「本通商店街」 (尾上教授)	舞鶴市民新聞	H29. 9. 29 (金)
舞鶴高専 ロボコンに燃える 来月、舞鶴で近畿地区大会開催 製作追い込み	朝 日 新 聞	H29. 9. 30 (土)
松尾ゴボウ でっかいぞ 舞鶴、市民ら育て収穫 (舞鶴高専学生ら参加)	京 都 新 聞	H29. 10. 17 (火)
第16回全国藩校サミット舞鶴大会 3月25日 (日)「明倫館のその後と近代の舞鶴」 (牧野准教授)	折り込み チラシ	H29. 10. 20 (金)
第61回舞鶴テニス選手権大会シングルス シングルス男子・一般の部 優勝 松村友人 (1年)	舞鶴市民新聞	H29. 10. 24 (火)
京都で高専ロボコン近畿地区大会 奈良高専Aが優勝 全国へ	電 波 新 聞	H29. 10. 26 (木)
地域住民ら松尾寺駅清掃 美しい駅舎 いつまでも (舞鶴高専学生ら参加)	舞鶴市民新聞	H29. 10. 27 (金)
3Dプリンターで雪だるま 舞鶴高専 子らプログラムに挑戦 (電気情報工学科 公開講座)	京 都 新 聞	H29. 10. 30 (月)

見 出 し	掲載紙(誌)	掲載年月日
プロコンで舞鶴高専チーム 初の企業賞 聴覚障害者の会話支援システム「TRY聴音羽」 (プログラマーズコミュニティ部)	舞鶴市民新聞	H29. 10. 31 (火)
【市政情報BOX】JR東・西舞鶴駅前ロータリーのイルミネーション JR東舞鶴駅(北口)…舞鶴工業高等専門学校の学生が製作、設置、 点灯まで全てを担当	広報まいづる	H29. 11月号
【全国大会出場おめでとう】 国民体育大会山岳競技 吉岡祐明 (3年)	広報まいづる	H29. 11月号
舞鶴高専祭 動く恐竜の絵に驚き イベントにぎわう きょうまで	毎日新聞	H29. 11. 5 (日)
東西駅を彩るイルミネーション 20日から (東舞鶴駅北口で舞鶴高専学生らが点灯式)	舞鶴市民新聞	H29. 11. 14 (火)
若手技術者ら ICT活用 最新の建設現場見学 工事中西舞鶴道路で (舞鶴高専の学生や府、市の若手技術者らが参加)	舞鶴市民新聞	H29. 11. 17 (金)
技術に触れる一日 舞鶴高専で公開講座 (電気情報工学科「3Dプリンターを用いたクリスマスオブジェの製作」)	舞鶴市民新聞	H29. 11. 17 (金)
学生イルミ 玄関口彩る 舞鶴高専・ポリテク制作 (JR東舞鶴、西舞鶴駅前)	京都新聞	H29. 11. 21 (火)
【催し】第42回情報科学センター講演会 (11/30) 【募集】公開講座「LEGOロボット製作とiPadを利用したプログラミング」(12/9)	舞鶴市民新聞	H29. 11. 28 (火)
まち活性化へ 初の意見交換 舞鶴市の次期総合計画へ審議会 (委員長に齋藤校長)	京都新聞	H29. 11. 29 (水)
【アジア大会出場おめでとう】 アジアペタンク選手権大会 堅田琴美 (2年) (12/8～11 タイ・バンコク)	広報まいづる	H29. 12月号
まいづる環境市民会議のロゴマークが決定 最優秀賞 榊原由起 (2年)、優秀賞 織田尚隆 (1年)	広報まいづる	H29. 12月号
【商店街巡礼75】 博覧会の跡地、京都「岡崎界限」 (尾上教授)	舞鶴市民新聞	H29. 12. 8 (金)
舞鶴高専生ら廃炉技術競う「廃炉創造ロボコン」 (12/16 福島県楢葉町)	京都新聞	H29. 12. 17 (日)
夜を彩るイルミネーション 光の演出 まち華やぐ 住民、学生ら工夫凝らす (JR東舞鶴駅)	京都新聞	H29. 12. 24 (日)
次の時代のまちづくりに向けて (舞鶴市) 総合計画審議会を開催 (委員長に齋藤校長)	広報まいづる	H30. 1月号
【1月のお知らせ・催し】 JR東舞鶴駅(北口) 舞鶴高専の学生が製作、設置、点灯まで 全てを担当	広報まいづる	H30. 1月号
舞鶴移住「お試しあれ」 空き家貸し出しへ 高専生が改修案	京都新聞	H30. 1. 5 (金)
【モノづくりの達人 (33)】 生産設備組み立てー 日東精工生産技術部係長・廣兼靖彦さん(舞鶴高専出身)	日刊工業新聞	H30. 1. 10 (水)
2017年 第8回「高校生の建築甲子園」 (準優勝に、舞鶴高専「空き家の価値よ、永遠に～時代に寄り添う 空き家のカタチ～」)	建設通信新聞	H30. 1. 15 (月)

見 出 し	掲載紙(誌)	掲載年月日
「お試し住宅」事業紹介 官民連携で移住促進 (舞鶴高専の学生による改修プラン発表)	舞鶴市民新聞	H30. 1. 16 (火)
【舞鶴新聞】舞鶴高専・ポリテク京都 ものづくりの芽 育成着々 公開講座・地域盛り上げ…	朝 日 新 聞	H30. 1. 26 (金)
移住者と地域をつなげたい 舞鶴のまちなかを体験 お試し住宅 (12/14高専生によるワークショップ開催)	広報まいづる	H30. 2月号
【全国大会等出場おめでとう】 全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会 吉岡祐明 (3年)、小林侑司 (2年) (12/23～24 埼玉県)	広報まいづる	H30. 2月号
【2月のお知らせ・催し】 まいづる土木・建築フォーラム (2/23赤れんが4号棟) 舞鶴高専建設システム工学科5年生の卒業研究を発表。	広報まいづる	H30. 2月号
舞鶴高専、倍率2.0倍 (一般入試の志願状況を発表)	京 都 新 聞	H30. 2. 10 (土)
舞鶴高専3年・高橋明也さん 建築甲子園で準優勝 空き家の活用法提案	朝 日 新 聞	H30. 2. 10 (土)
舞鶴高専・高橋さん「建築甲子園」で準優勝 空き家改修のゆとり提案	京 都 新 聞	H30. 2. 15 (木)
どこでもギャラリー 主催：京都府・舞鶴高専 (八島商店街)	折り込み チラシ	H30. 2. 16 (金)
空き家テーマに 学生アイデア 舞鶴高専 建築甲子園で快挙	舞鶴市民新聞	H30. 2. 23 (金)
「舞スタグラム」優秀作品決定 舞鶴のよいところみつけた！ (優秀賞に舞鶴高専「おしゃれ舞スター」)	舞鶴市民新聞	H30. 2. 23 (金)
舞鶴市優秀スポーツ賞・文化賞 健闘たたえ20人を表彰 (優秀スポーツ賞に2年堅田琴美、優秀文化賞に3年高橋明也)	京 都 新 聞	H30. 2. 28 (水)
【シリーズ市政の今 特別編】次期総合計画策定に向けて② ～審議会委員・市民ワークショップ参加者に聞く～ 総合計画審議会委員長 舞鶴高専・齋藤校長	広報まいづる	H30. 3月号
【催し】COC+フォーラム2018in舞鶴 (3/20赤れんが2号棟)	広報まいづる	H30. 3月号
北部振興をテーマに 舞鶴高専など主催 20日にフォーラム	京 都 新 聞	H30. 3. 2 (金)
優秀スポーツ賞・文化賞 20人が受賞 (優秀スポーツ賞に2年堅田琴美、優秀文化賞に3年高橋明也)	舞鶴市民新聞	H30. 3. 6 (火)
日本設計工学会 学会誌表紙コンテスト 舞鶴高専 東さん作品、最優秀賞 (5年東晃太郎)	京 都 新 聞	H30. 3. 9 (金)
舞鶴高専に火薬廠 遺構発見 動力施設か	朝 日 新 聞	H30. 3. 9 (金)
産官学連携で新製品を 舞鶴でフォーラム 若者定住など議論 (COC+フォーラム2018in舞鶴)	京 都 新 聞	H30. 3. 23 (金)
【まちかど】明倫館歴史教室 (3/25西総合会館) (牧野准教授 講演「明倫館のその後と近代の舞鶴」)	京 都 新 聞	H30. 3. 24 (土)
【商店街巡礼76】 アニメの聖地「出町枳形商店街」 (尾上教授)	舞鶴市民新聞	H30. 3. 30 (金)

編集後記

今年 6 月、トヨタのワークスチーム TOYOTA GAZOO Racing の TS050 HYBRID がル・マン 24 時間レースで総合優勝しました。モータースポーツに詳しくなければ今ひとつ素晴らしさが分かりづらいですが、1923 年のル・マン初開催から日本の自動車会社による総合優勝は、1991 年にマツダ（シャシーはロータリーエンジンを搭載したマツダ・787B で、ゴール時のドライバーはジョニー・ハーバート）が総合優勝して以来 2 回目です。今年のル・マンは、トヨタ以外のポルシェ、アウディなどのワークスチームが昨年までで撤退しライバル不在の中での総合優勝となりましたが、2 年前にゴールまで残り数分でのトラブルで総合優勝を逃し涙したチーム関係者にとって喜びも一入でしょう。

さて、そのような状況の中、皆様からのご協力をいただき、今年も無事に舞鶴高専年報を発行できることになりました。舞鶴高専の 1 年間の歩みを記録したこの年報が、皆様のこれからの 1 年をより良いものにする一助となることを期待しています。

(M. I)

舞鶴高専年報－2017 年度の教育・研究活動－(第 15 号)

平成 30 年 7 月 31 日 発行

発行 舞鶴工業高等専門学校広報委員会

〒625－8511

舞鶴市字白屋 234 番地

TEL 0773－62－5600

FAX 0773－62－5558

編集 舞鶴工業高等専門学校

広報委員会「年報」WG

座長 伊藤 稔

委員 宮崎 昭仁

Annual Report 2017

– Education and Research Activities–



National Institute of Technology, Maizuru College

No.15 April 2018